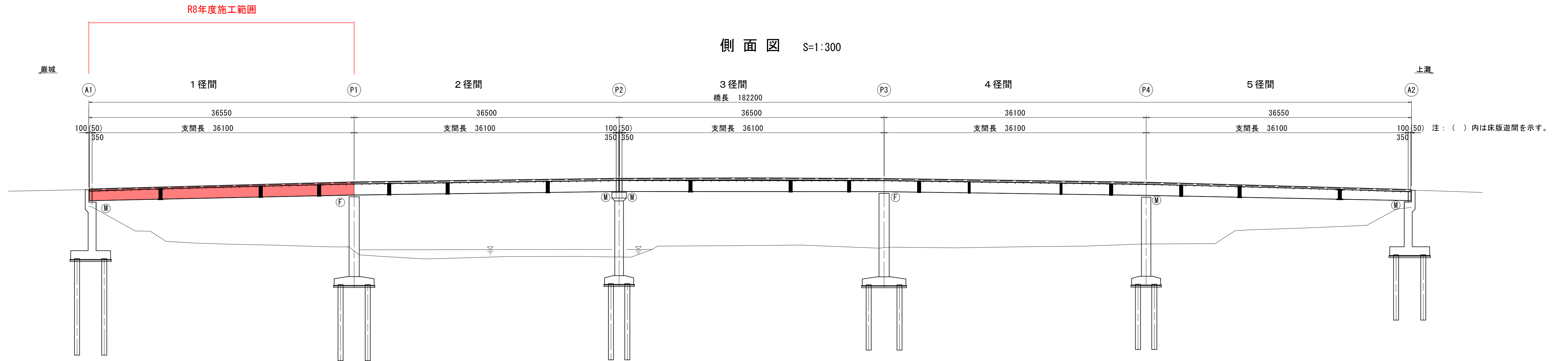


図 面

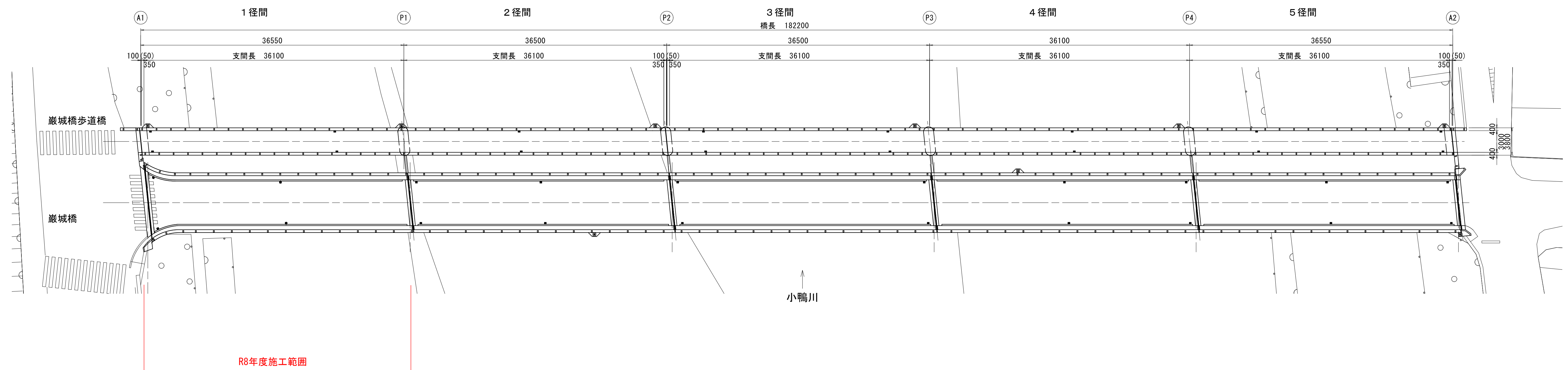
※A1図面をA3に縮小しています

橋梁一般図

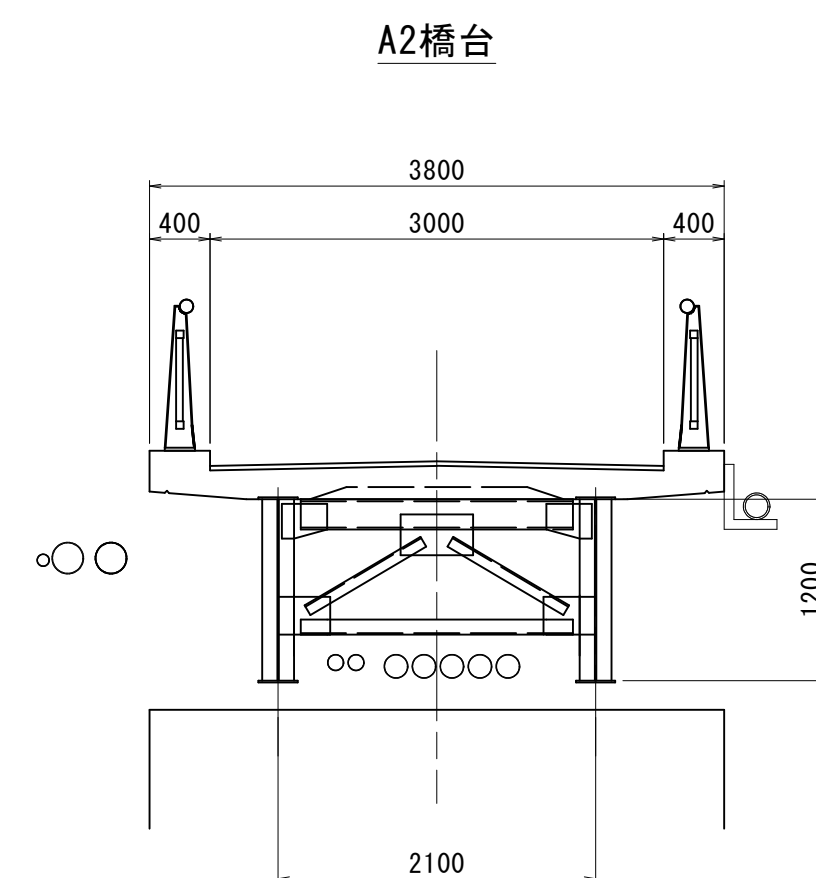
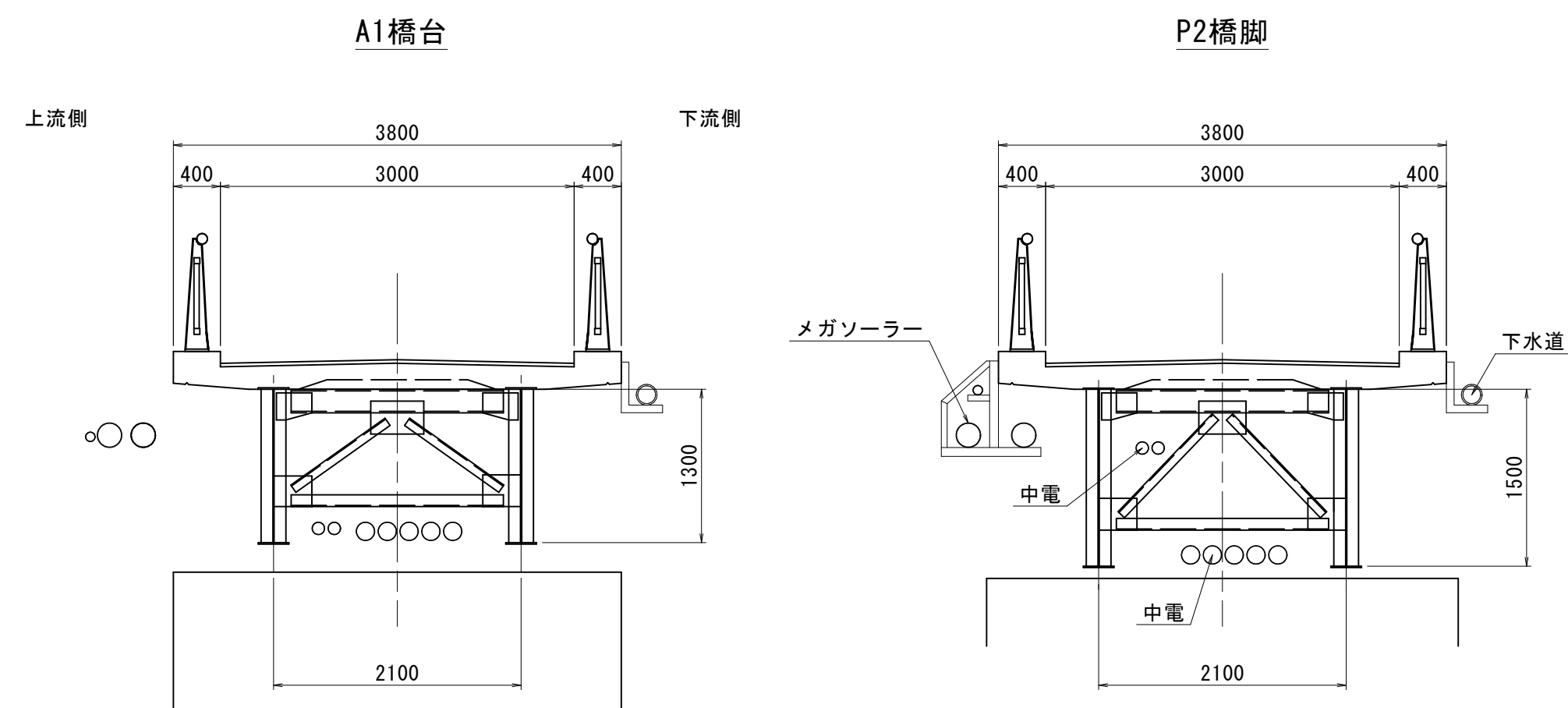
側面図 S=1:300



平面图 S=1:300



断面図 S=1:50

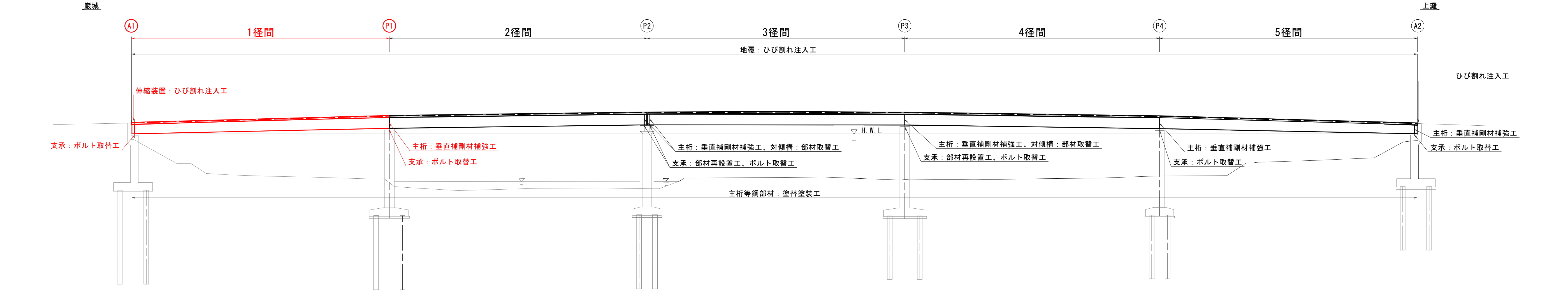


⑧ ⑧ 実施設計

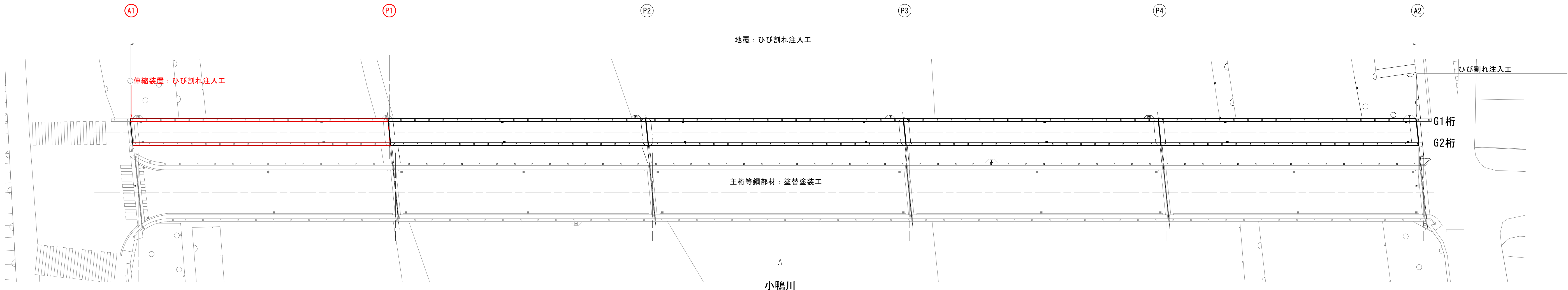
巖城橋 歩道橋 1径間			
路 線 名	一般県道 巖城上瀬線		
工 事 名	県道巖城上瀬線(巖城町境付近)外橋梁修繕工事 ⑦工区 (補助)		
図 名	橋梁一般図		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	图示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 1		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所土塁整備局			

補修一般図

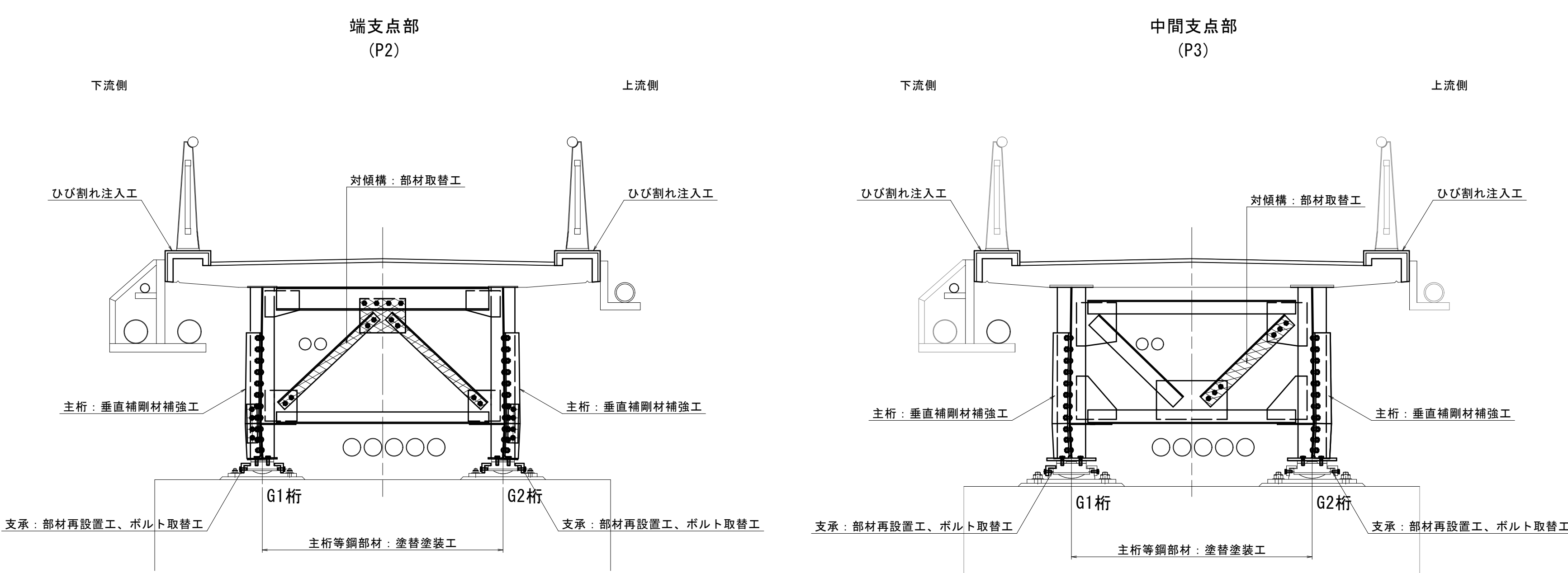
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:30



凡 例
歩道橋 1径間

08 公 実施設計

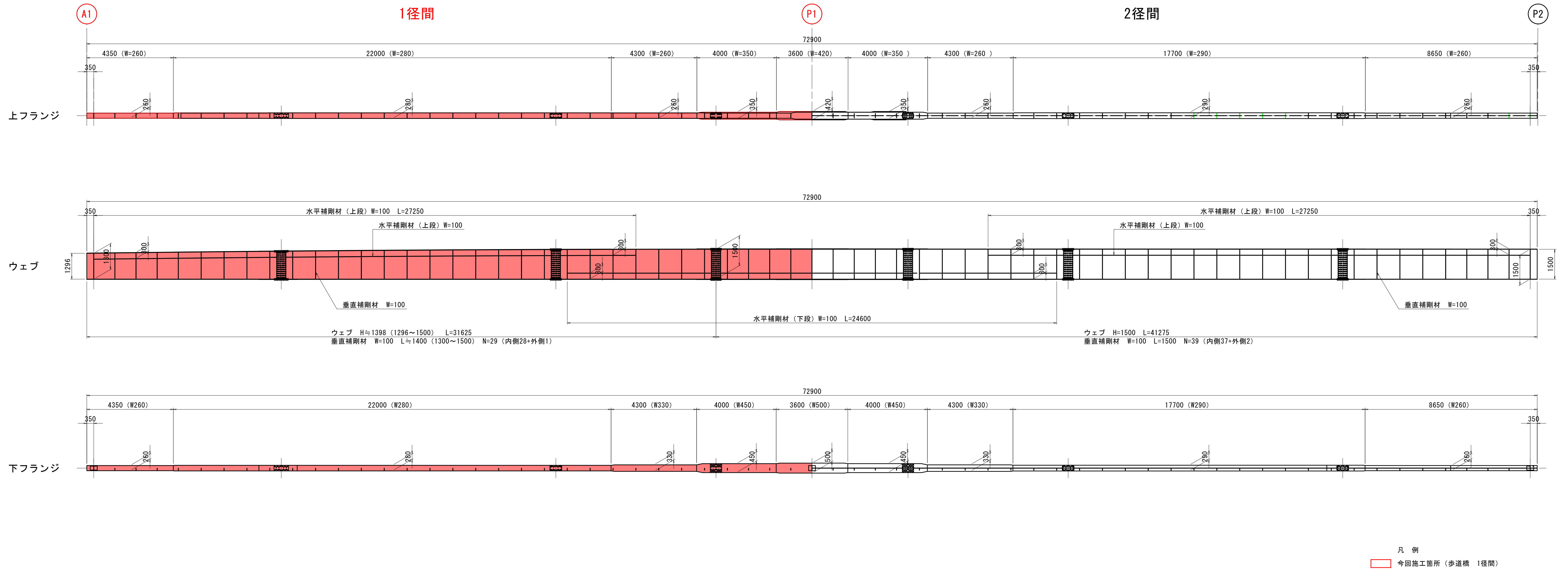
巖城橋 歩道橋 1径間				
路 線 名		一般県道 巖城上灘線		
工 事 名		県道巖城上灘線 (巖城橋歩道橋) 外構修繕工事 2工区 (補助)		
図 名		補修一般図		
位 置		倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺		図示	単 位	MM
図 号		全 22 葉中の内 2		
令和 8 年度施行				鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局				

鋼材塗装図 (1/3)

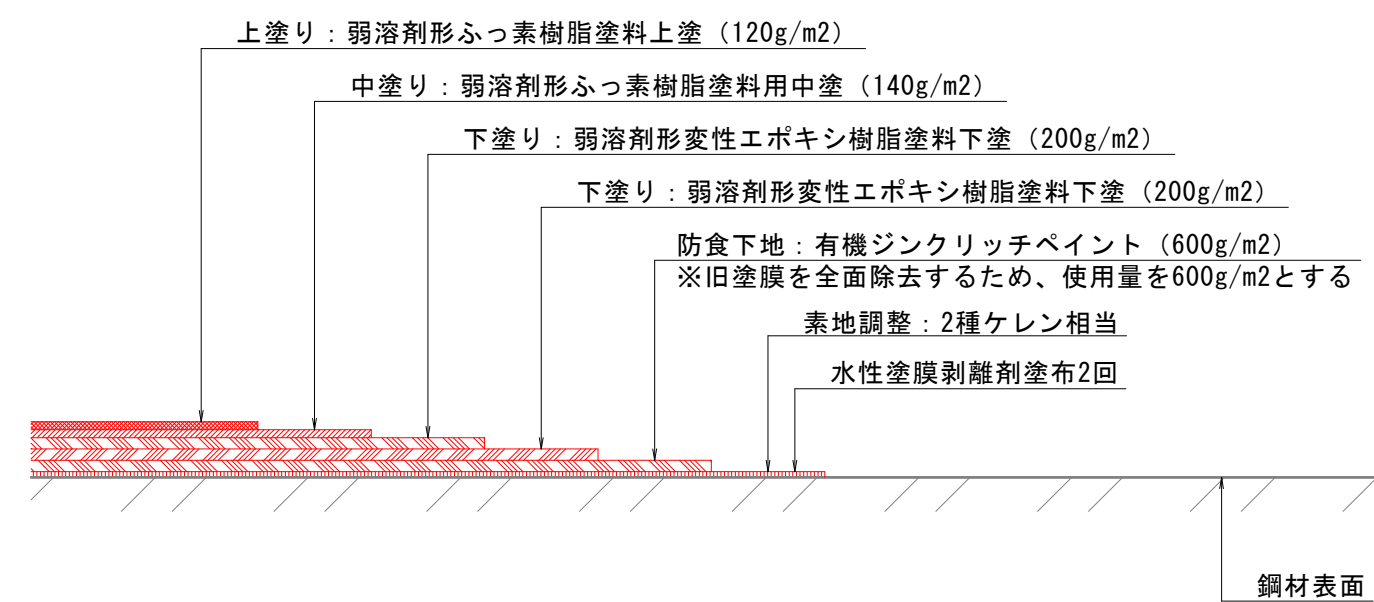
塗替塗装工

主桁塗装図 S=1:100

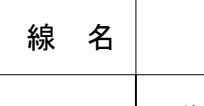
G1, G2共通 (A1~P2)



塗替塗装工(参考図) nonScale
(Rc-Ⅱ 塗装系)



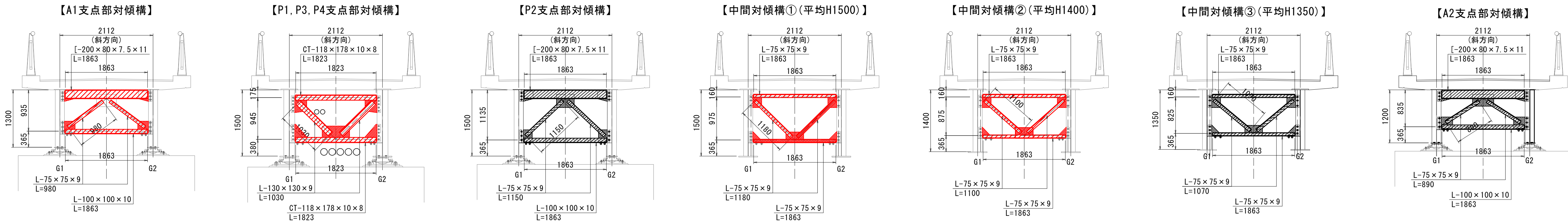
08 公共 実施設計

			
路線名	一般県道 蔵城上瀬線		
工事名	県道蔵城上瀬線(蔵城町)道路橋(外高野)修繕工事 (Ⅱ工区) (補助)		
図名	鋼材塗装図 (1/3)		
位置	倉吉市蔵城～倉吉市見日町		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 22 葉中の内 3		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所土塁整備課			

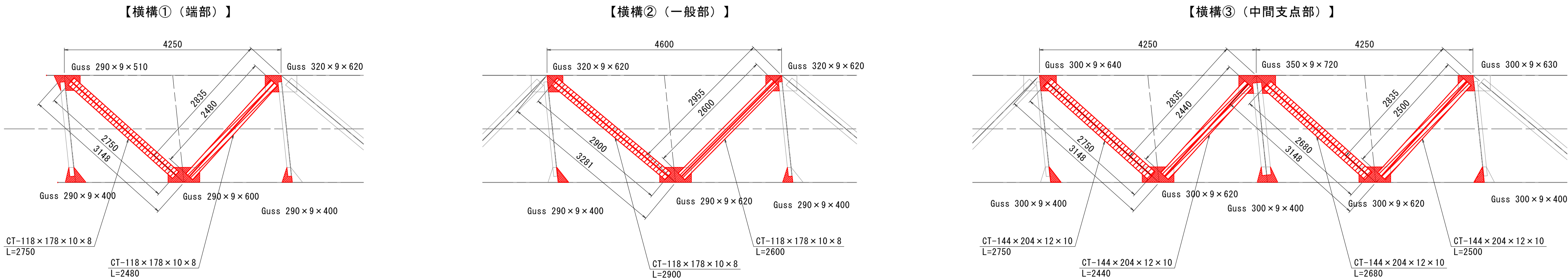
鋼材塗装図 (3/3)

塗替塗装工

対傾構 正面図 S=1:50

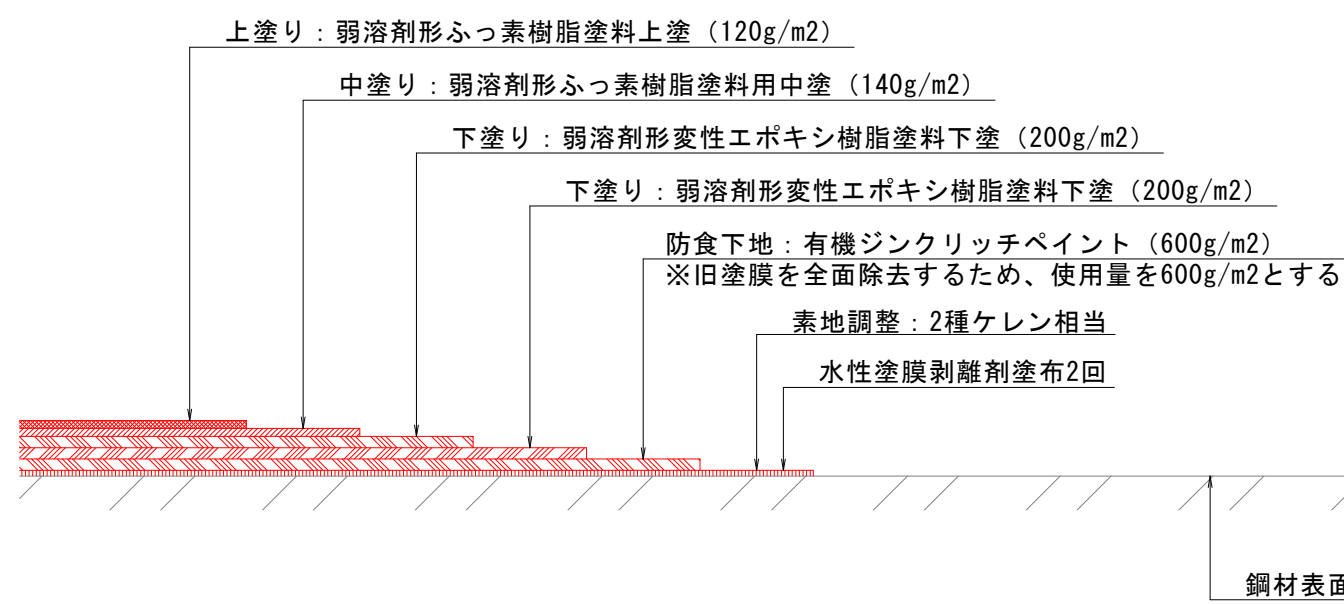


横構 平面図 S=1:50



塗替塗装工(参考図)

(Rc-II 塗装系)

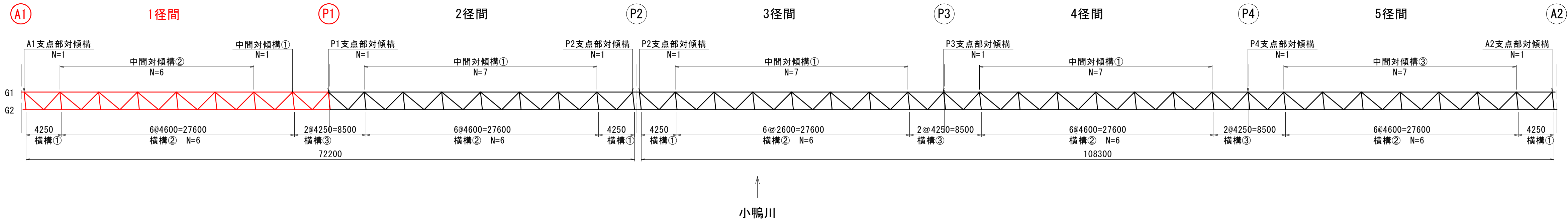


凡 例	
表 示	種 別
	塗替塗装工 (Rc-II 塗装系) 1径間

凡 例

今回施工箇所 (歩道橋 1径間)

補修位置図



08 公共 実施設計

巖城橋歩道橋			
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城橋歩道橋）外柵修繕工事 （Ⅱ工区）（補助）		
図 名	鋼材塗装図（3/3）		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 4		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

主桁補修図(2/2)

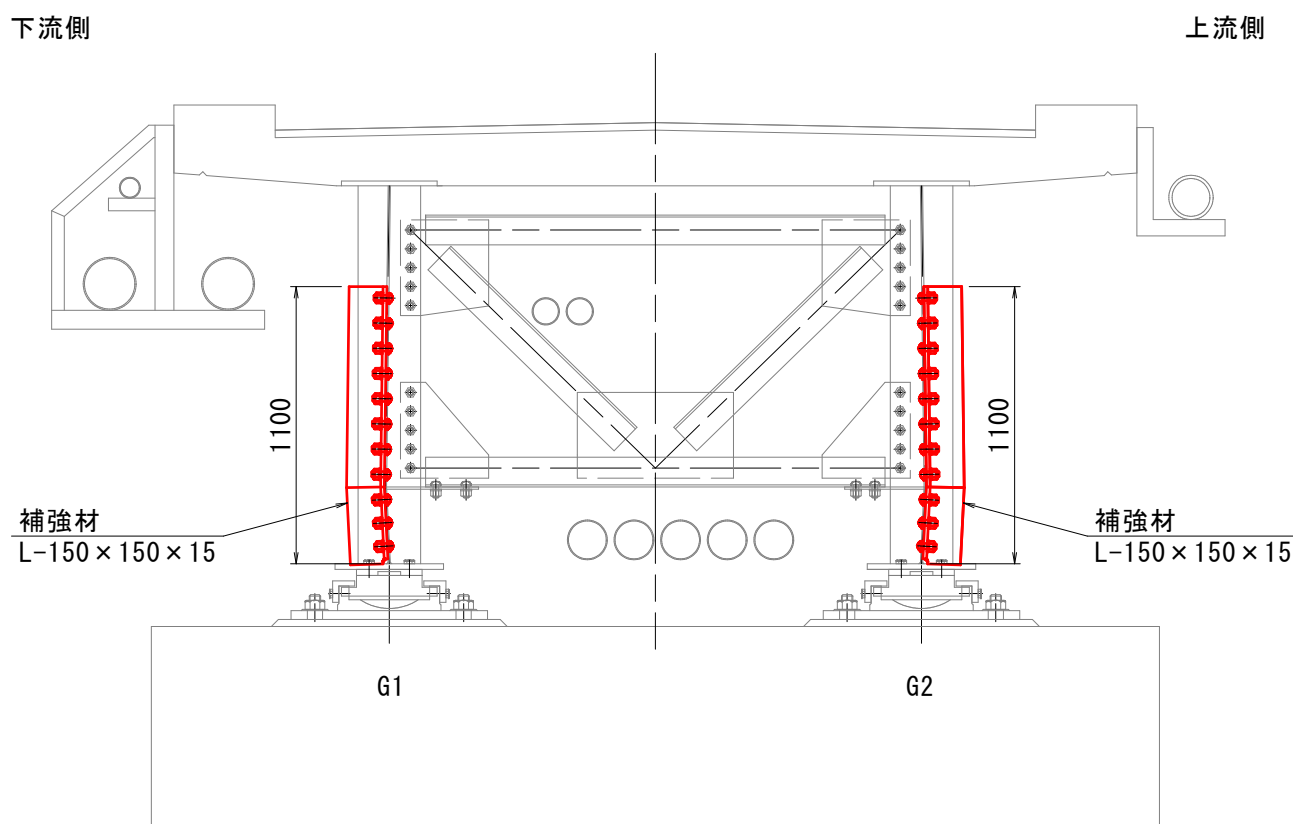
垂直補剛材補強工

中間支点部 垂直補剛材補強工

P1・P3・P4橋脚

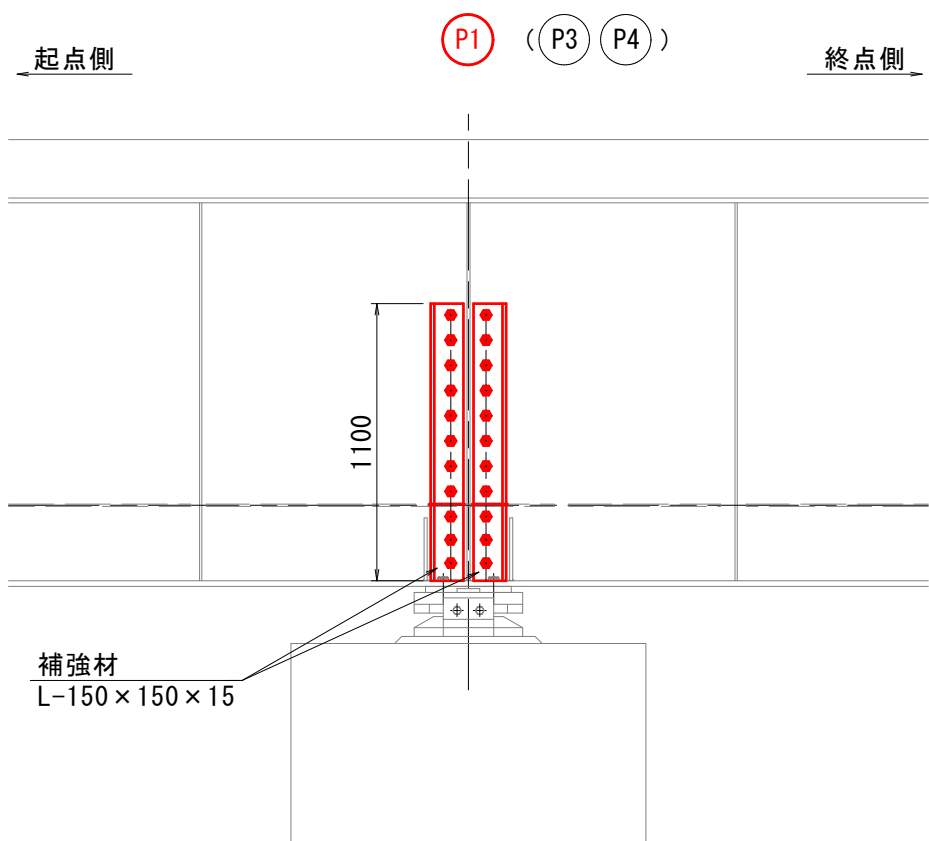
断面図

S=1:30



側面図

S=1:30



補強材詳細図

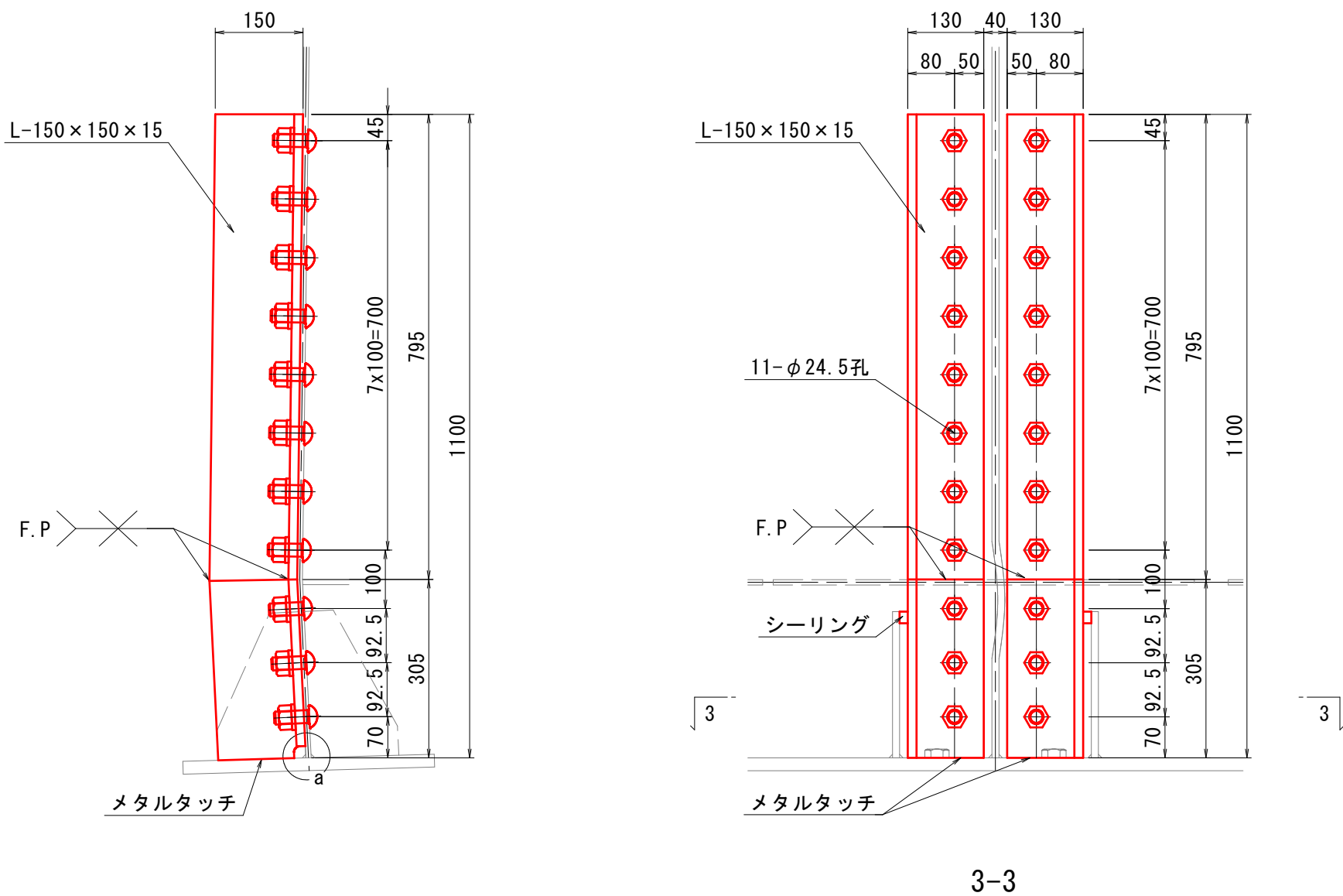
S=1:10

1-1

2-2

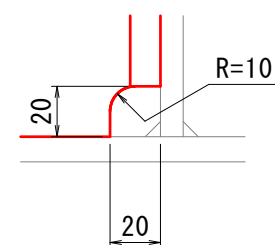
平面図

S=1:30



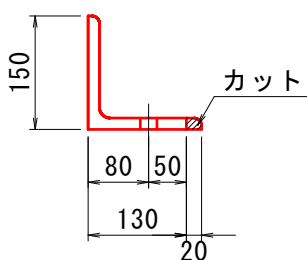
a部詳細

S=1:3



補強材加工図

断面図



注)

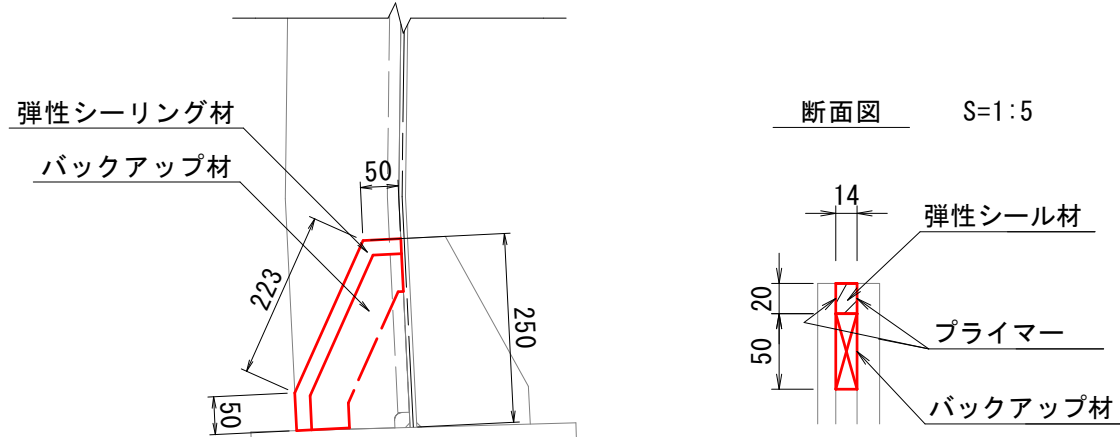
- 補強材は主桁ウェブの現況形状に合う形状とするため、分割した等辺山形鋼を溶接接合して製作すること。
- 部材製作前に現地を計測し、寸法を確認、調整すること。
- 現地計測の結果、主桁ウェブの変形が僅かで直線状の部材が使用可能な場合は、分割および溶接は不要とする。
- 等辺山形鋼は加工図の通り部分的にカットすること。

シーリング詳細図

P1・P3橋脚

4-4

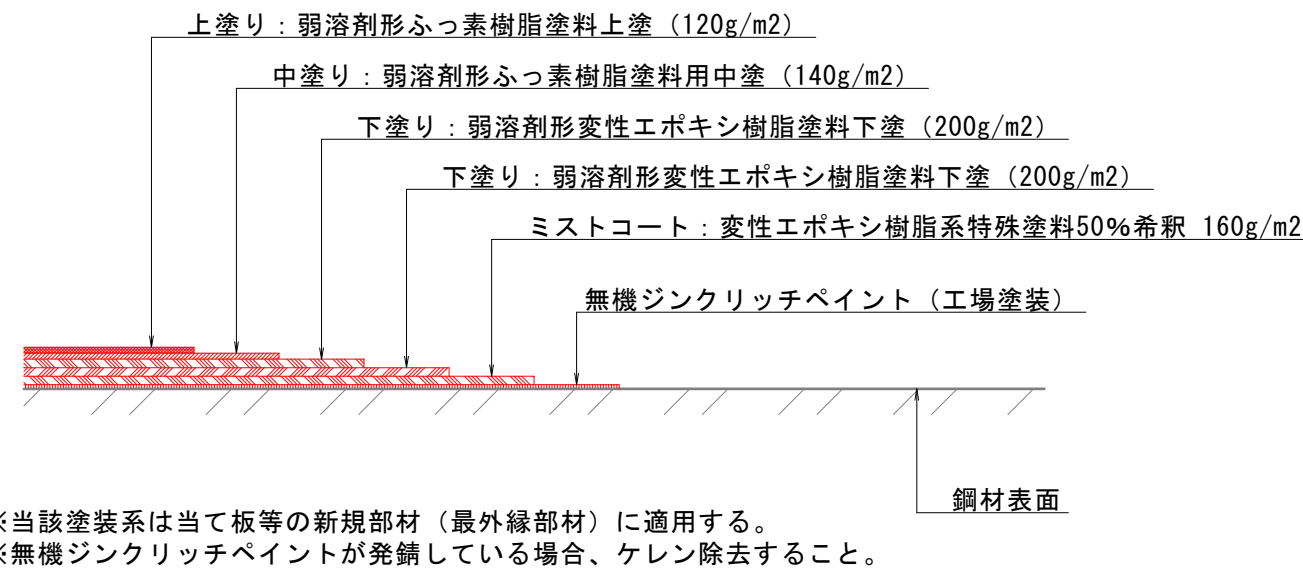
S=1:10



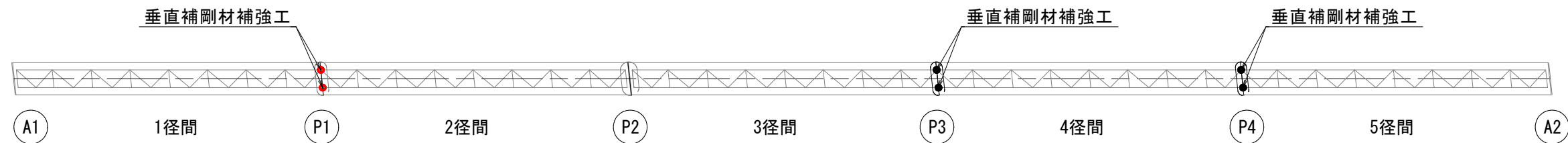
塗替塗装工(参考図)

(Rc-Ⅱ塗装系：新規部材)

nonScale



位置図



注)

- 変形した主桁ウェブ形状に合わせて分割した部材を製作し、溶接にて接合すること。
- 部材製作前に現地を計測し、寸法を確認、調整すること。
- 鋼材は製作工場にて無機ジंकリッチペイント処理を施すこと (F-11相当)。
- 補強部材取付部は2種ケレンとし、十分に塗装を除去すること。
- 部材設置後に塗装を施すこと。
- 補強材と主桁の両面にパテ状エポキシ樹脂を塗布し、補強材を主桁に密着させること。

凡 例

今回施工箇所 (歩道橋 1径間)

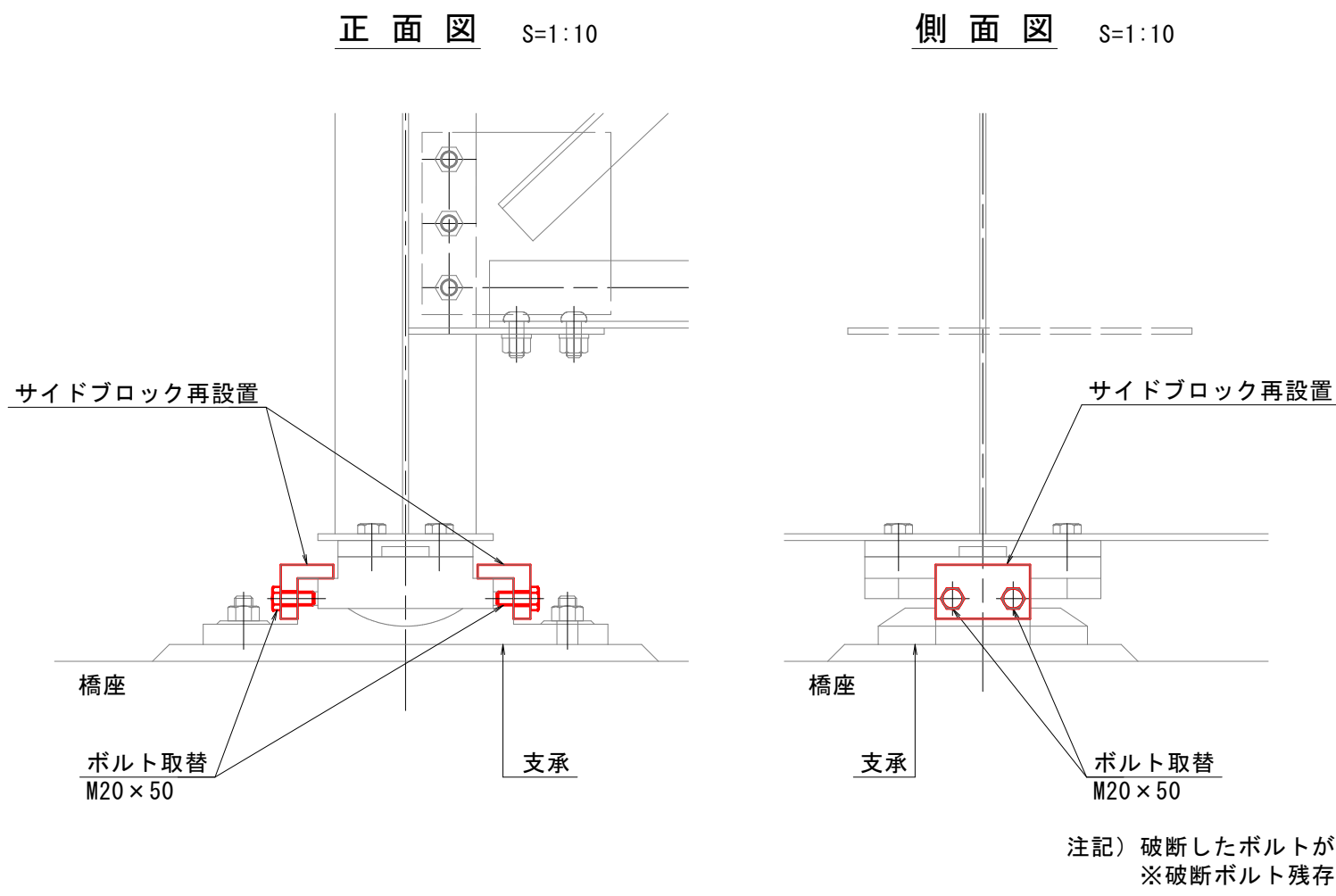
08 公 実施設計

巖城橋歩道橋

路 線 名	一般県道 巖城上瀬線
工 事 名	県道巖城上瀬線 (巖城地区) 外橋梁補修工事 (2区) (補助)
図 名	主桁補修図 (2/2)
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 22 葉中の内 5
令和 8 年度施行	鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

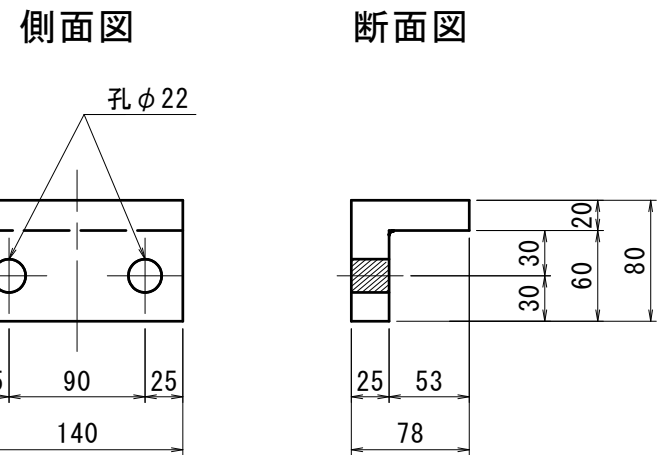
支 承 補 修 図

部材再設置工・ボルト取替工



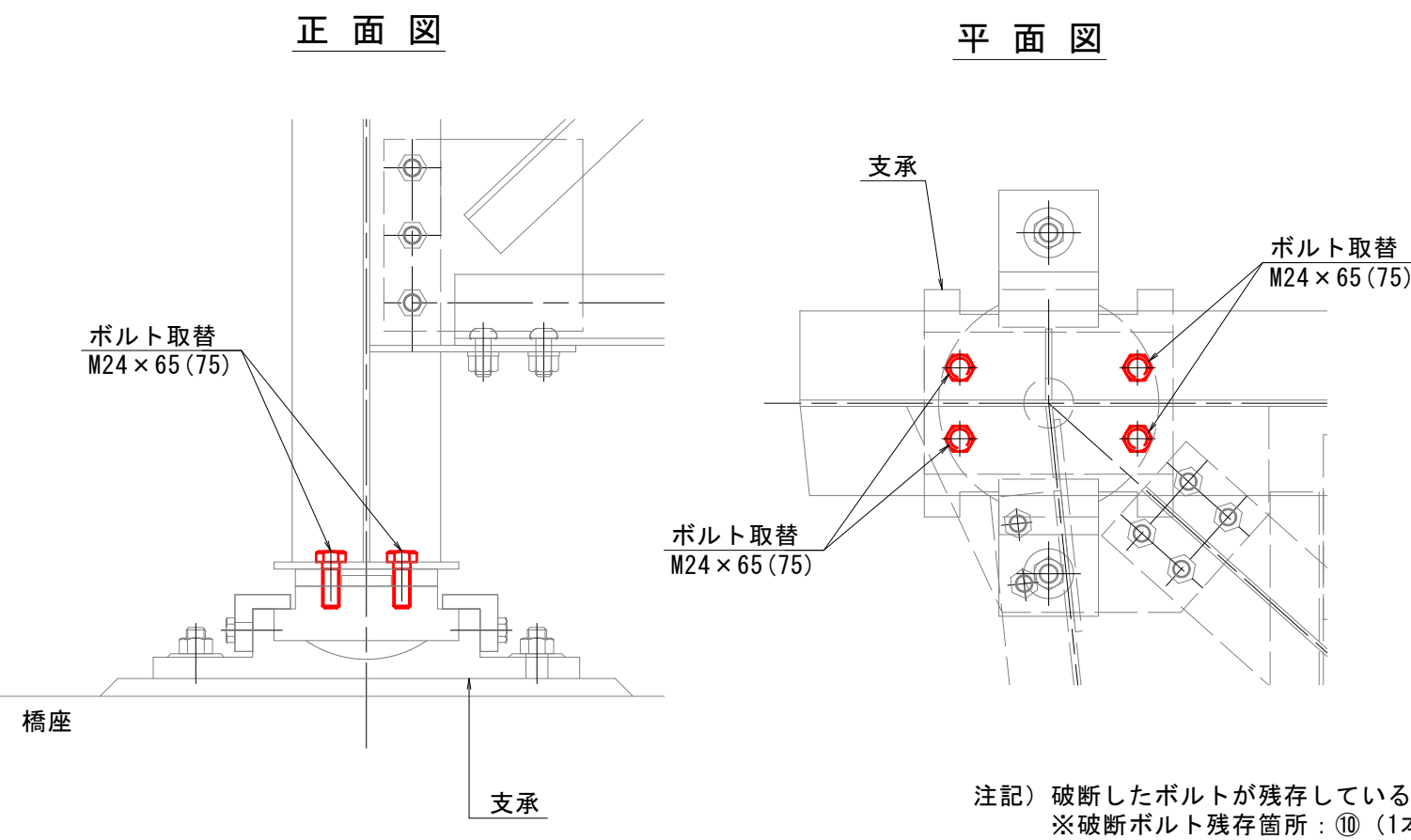
サイドブロック S=1:5

【工場製作品】 (SS400)



設置位置：支承⑦ (下流側)

セットボルト取替工 S=1:10



材 料 表

種 別	規 格	支 承 番 号														単位	合計
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		
ボルト取替	M24×65 強度区分4.8	4	4	-	-	4	4	4	4	-	-	-	-	4	4	本	32
ボルト取替	M24×75 強度区分4.8	-	-	4	4	-	-	-	-	4	4	4	4	-	-	本	24
破断ボルト撤去	M24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	本	1

※以下の部材については、溶融亜鉛めっき仕様とする
ボルト：HDZT49

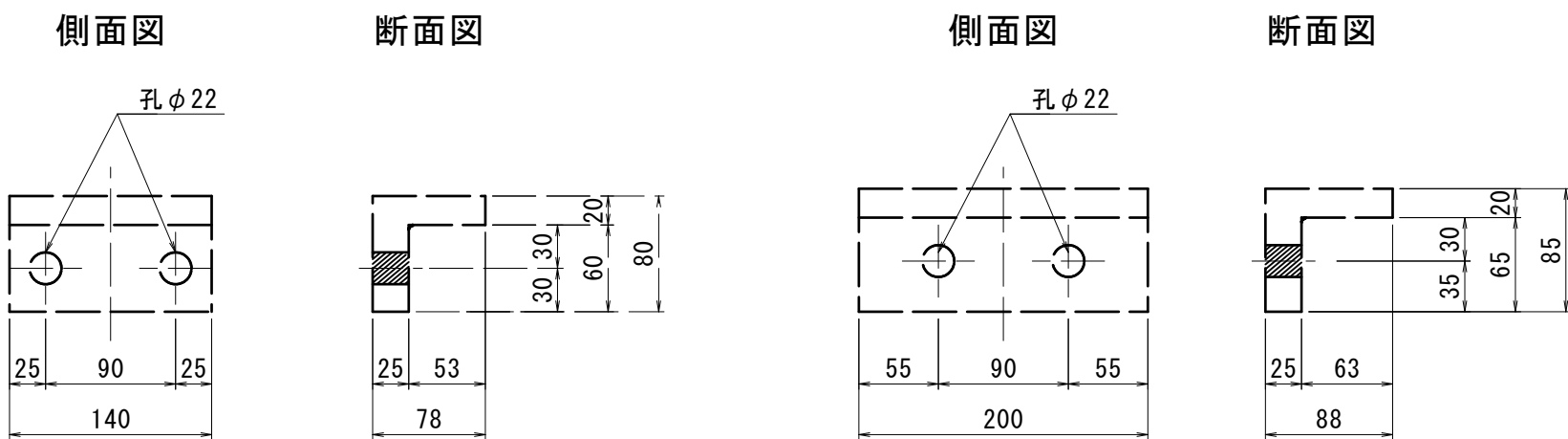
※取替時にボルトの破断を確認した場合は、既設ボルトを完全に撤去してから
新たなボルトを取り付けること。

サイドブロック S=1:5

【支給品】 (SS400)

支給品A

支給品B



設置位置：支承⑤⑥⑧ (下流側)

設置位置：支承⑨

※支給品は調査設計業務時に現地から回収した部材であり、
工事においては発注者から支給された部材を再設置すること。

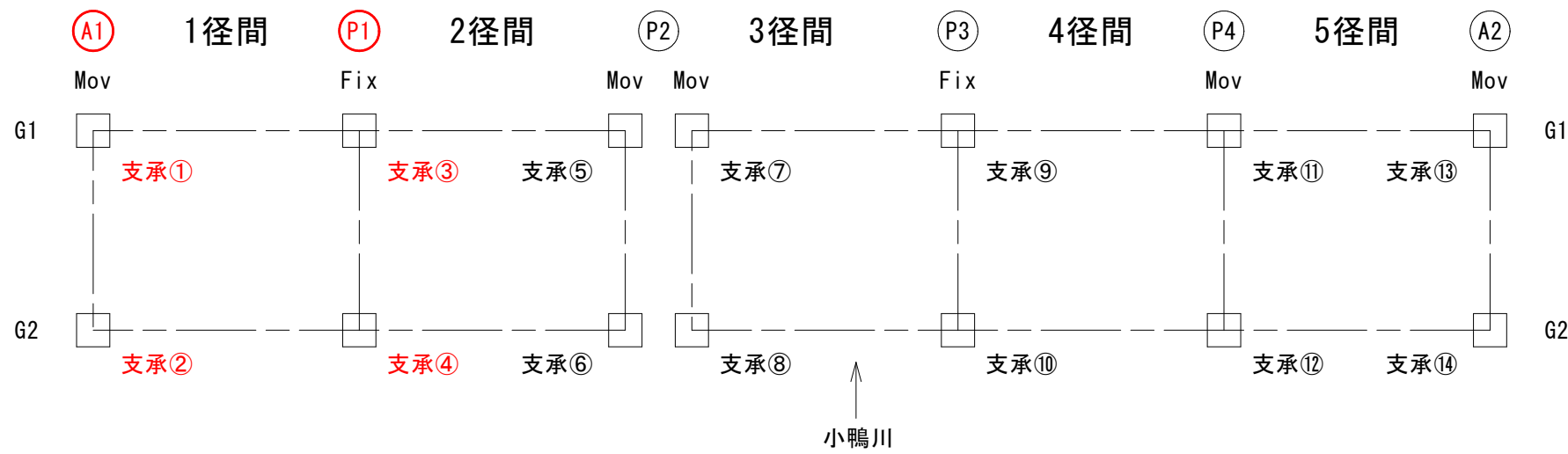
材 料 表

種 別	規 格	支 承 番 号														単位	合計
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		
サイドブロック再設置	SS400 工場製作	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	個	1
サイドブロック再設置	支給品A	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	個	3
サイドブロック再設置	支給品B	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	個	1
ボルト取替	M20×50 強度区分4.8	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	本	56
破断ボルト撤去	M20	-	-	-	-	3	2	2	2	2	-	-	-	-	-	本	11

※以下の部材については、溶融亜鉛めっき仕様とする
サイドブロック：HDZT77、ボルト：HDZT49

※取替時にボルトの破断を確認した場合は、既設ボルトを完全に撤去してから
新たなボルトを取り付けること。

支承位置図



凡 例

今回施工箇所 (歩道橋 1径間)

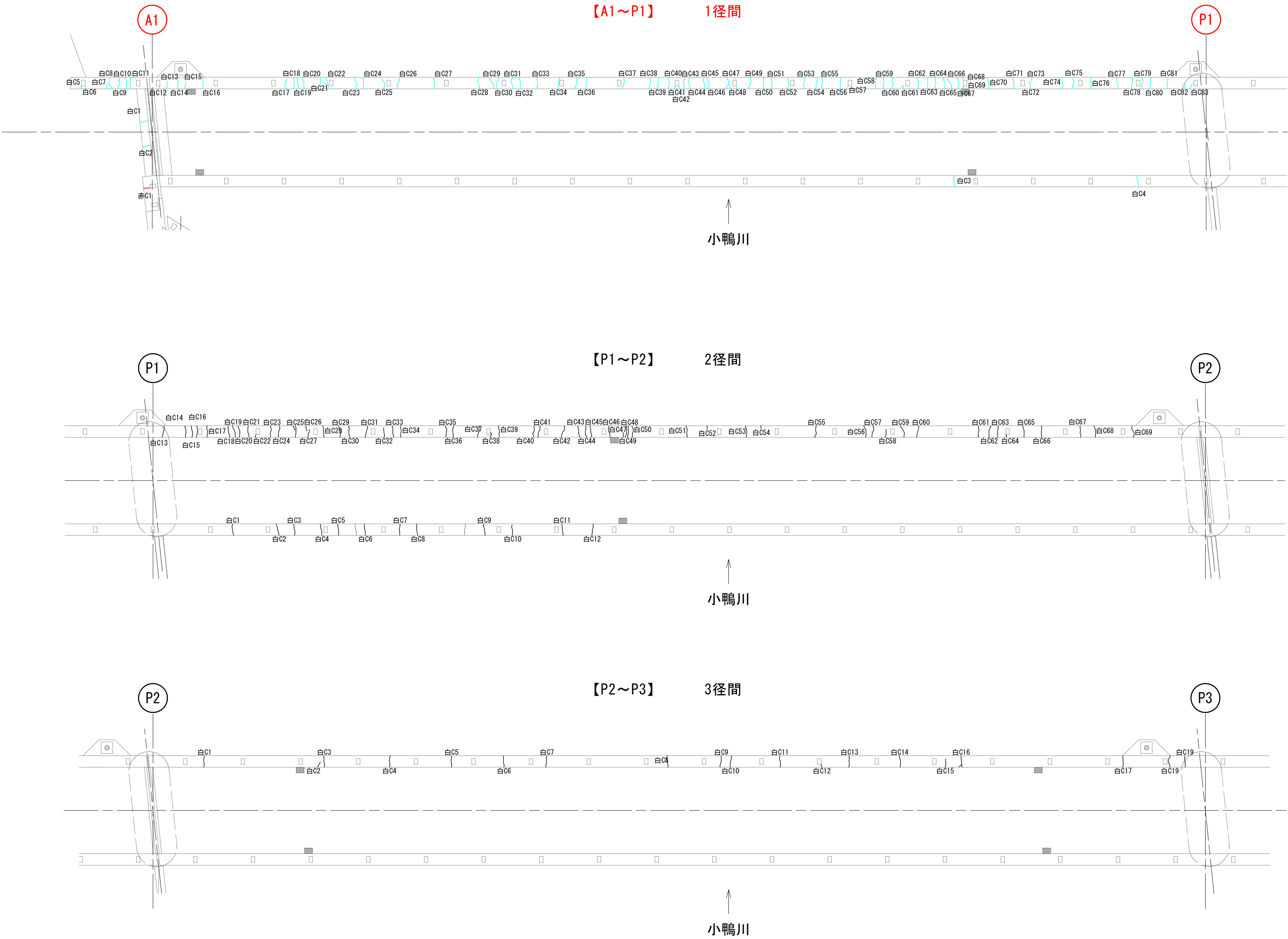
08 実施設計

巖城橋歩道橋	
路 線 名	一般県道 巖城上灘線
工 事 名	県道巖城上灘線 (巖城歩道橋) 外側路肩補修工事 (2工区) (補修)
図 名	支承補修図
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 22 葉中の内 6
令和 8 年度施行	鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

橋面補修図（1/4）

ひび割れ注入工

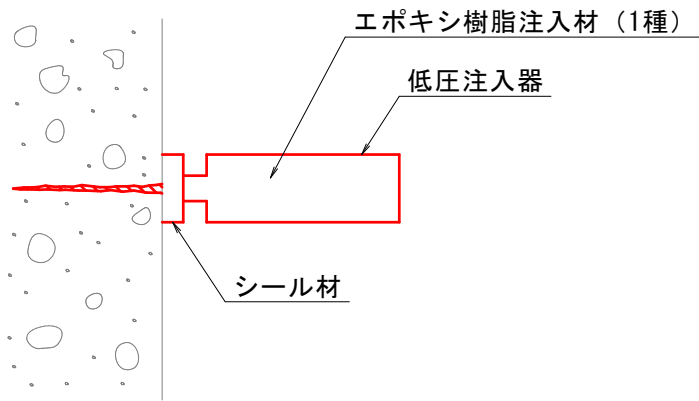
平面図（橋面） S=1:100



ひび割れ注入工

（低圧注入工法）

NonScale



※ 低圧注入器の取付ピッチは300mmを標準とする。
※ 注入深さは50mm程度を見込んでいる。
※ クレン作業後、ひび割れ幅が0.2mm以上は補修対象とする。

補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 3径間（P2-P3）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
地覆下流	白C1	0.3	0.40		地覆下流	白C11	0.3	0.40	
	白C2	0.3	0.20			白C12	0.3	0.40	
	白C3	0.3	0.40			白C13	0.3	0.40	
	白C4	0.3	0.40			白C14	0.3	0.30	
	白C5	0.3	0.40			白C15	0.3	0.10	
	白C6	0.3	0.40			白C16	0.3	0.55	
	白C7	0.3	0.40			白C17	0.3	0.40	
	白C8	0.3	0.40			白C18	0.3	0.45	
	白C9	0.3	0.40			白C19	0.3	0.40	
	白C10	0.3	0.40		合 計			7.3m	
					平均ひび割れ幅 0.3mm				

補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 1径間（A1-P1）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
A1伸縮装置	白C1	0.2	0.30		地覆下流	白C42	0.3	0.10	
	白C2	0.2	0.30			白C43	0.3	0.40	
	白C3	0.2	0.40			白C44	0.3	0.40	
地覆上流	白C4	0.2	0.40			白C45	0.3	0.40	
	赤C1	1.0	0.25			白C46	0.3	0.40	
	白C5	0.4	0.15			白C47	0.3	0.65	
地覆下流	白C6	0.4	0.10			白C48	0.3	0.10	
	白C7	0.3	0.20			白C49	0.4	0.40	
	白C8	0.5	0.45			白C50	0.4	0.40	
	白C9	0.5	0.50			白C51	0.4	0.40	
	白C10	0.5	0.40			白C52	0.4	0.40	
	白C11	0.5	0.40			白C53	0.3	0.40	
	白C12	0.3	0.10			白C54	0.5	0.40	
	白C13	0.3	0.25			白C55	0.5	0.40	
	白C14	0.3	0.30			白C56	0.6	0.40	
	白C15	0.3	0.30			白C57	0.6	0.10	
	白C16	0.3	0.40			白C58	0.3	0.40	
	白C17	0.4	0.35			白C59	0.3	0.40	
	白C18	0.4	0.40			白C60	0.5	0.40	
	白C19	0.4	0.40			白C61	0.3	0.20	
	白C20	0.4	0.40			白C62	0.3	0.45	
	白C21	0.5	0.25			白C63	0.3	0.40	
	白C22	0.5	0.60			白C64	0.3	0.40	
	白C23	0.4	0.45			白C65	0.3	0.40	
	白C24	0.4	0.40			白C66	0.3	0.45	
	白C25	0.3	0.40			白C67	0.3	0.45	
	白C26	0.3	0.40			白C68	0.3	0.10	
	白C27	0.3	0.40			白C69	0.3	0.10	
	白C28	0.5	0.40			白C70	0.6	0.40	
	白C29	0.5	0.40			白C71	0.3	0.40	
	白C30	0.5	0.45			白C72	0.3	0.25	
	白C31	0.3	0.45			白C73	0.3	0.15	
	白C32	0.3	0.40			白C74	0.5	0.40	
	白C33	0.3	0.40			白C75	0.5	0.40	
	白C34	0.3	0.40			白C76	0.3	0.40	
	白C35	0.6	0.40			白C77	0.3	0.40	
	白C36	0.6	0.40			白C78	0.6	0.40	
	白C37	0.3	0.40			白C79	0.6	0.40	
	白C38	0.4	0.40			白C80	0.3	0.40	
	白C39	0.4	0.40			白C81	0.3	0.40	
	白C40	0.4	0.40			白C82	0.3	0.25	
	白C41	0.3	0.10			白C83	0.3	0.20	
					合 計			29.8m	
					平均ひび割れ幅 0.4mm				

補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 2径間（P1-P2）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
地覆上流	白C1	0.2	0.40		地覆下流	白C36	0.4	0.40	
	白C2	0.2	0.40			白C37	0.4	0.40	
	白C3	0.3	0.40			白C38	0.3	0.20	
	白C4	0.3	0.40			白C39	0.3	0.40	
	白C5	0.4	0.40			白C40	0.3	0.40	
	白C6	0.2	0.40			白C41	0.3	0.40	
	白C7	0.2	0.40			白C42	0.3	0.45	
	白C8	0.4	0.40			白C43	0.3	0.40	
	白C9	0.2	0.40			白C44	0.3	0.40	
	白C10	0.2	0.35			白C45	0.3	0.40	
	白C11	0.2	0.40			白C46	0.3	0.40	
	白C12	0.3	0.40			白C47	0.3	0.15	
地覆下流	白C13	0.4	0.40			白C48	0.3	0.40	
	白C14	0.4	0.40			白C49	0.3	0.40	
	白C15	0.4	0.40			白C50	0.3	0.40	
	白C16	0.4	0.40			白C51	0.3	0.40	
	白C17	0.3	0.40			白C52	0.3	0.15	
	白C18	0.3	0.40			白C53	0.3	0.40	
	白C19	0.3	0.40			白C54	0.3	0.10	
	白C20	0.3	0.40			白C55	0.3	0.45	
	白C21	0.3	0.40			白C56	0.3	0.40	
	白C22	0.3	0.10			白C57	0.3	0.45	
	白C23	0.3	0.40			白C58	0.3	0.30	
	白C24	0.3	0.40			白C59	0.3	0.45	
	白C25	0.5	0.60			白C60	0.3	0.40	
	白C26	0.3	0.20			白C61	0.3	0.40	
	白C27	0.3	0.30			白C62	0.3	0.40	
	白C28	0.3	0.40			白C63	0.3	0.40	
	白C29	0.3	0.45			白C64	0.3	0.10	
	白C30	0.3	0.40			白C65	0.3	0.40	
	白C31	0.7	0.40			白C66	0.3	0.40	
	白C32	0.4	0.35			白C67	0.3	0.40	
	白C33	0.4	0.40			白C68	0.3	0.40	
	白C34	0.4	0.40			白C69	0.3	0.45	
	白C35	0.4	0.40		合 計			26.1m	
					平均ひび割れ幅 0.3mm				

凡 例

歩道橋 1径間

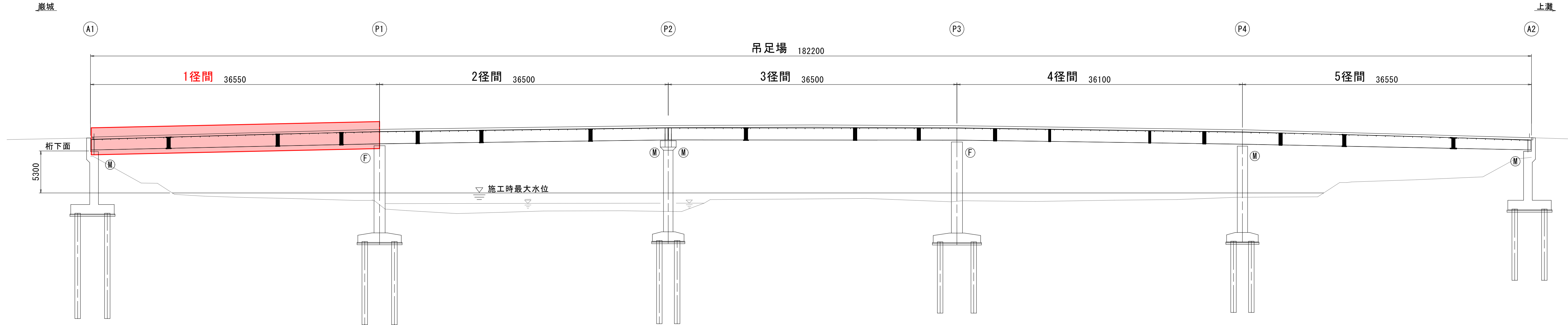
08 公共 実施設計

巖城橋歩道橋

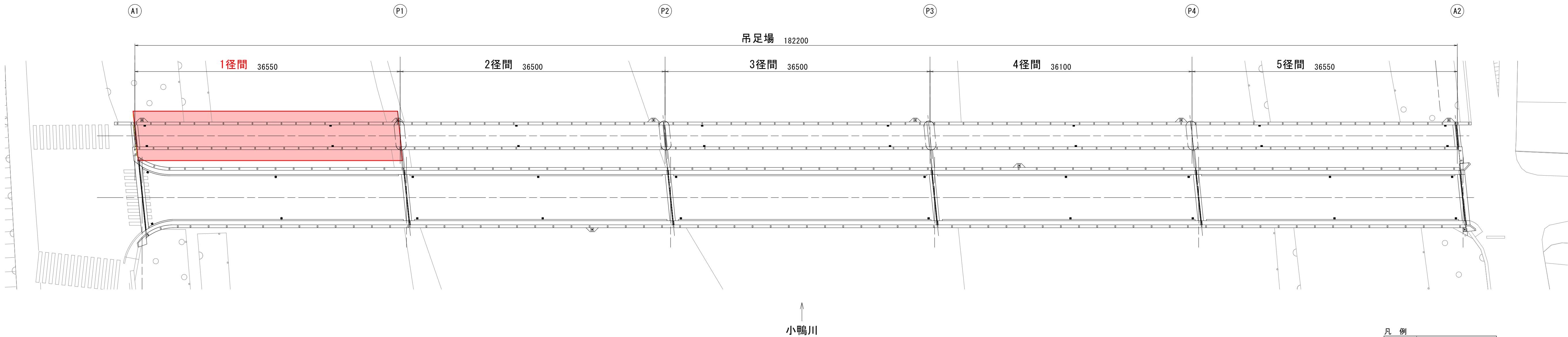
路 線 名	一般県道 巖城上灘線
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城歩道橋）外柵修繕工事（2工区）（補助）
図 名	橋面補修図（1/4）
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 22 葉中の内 7
令和 8 年度施行	鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

足場仮設図(参考図)

側面図 S=1:300



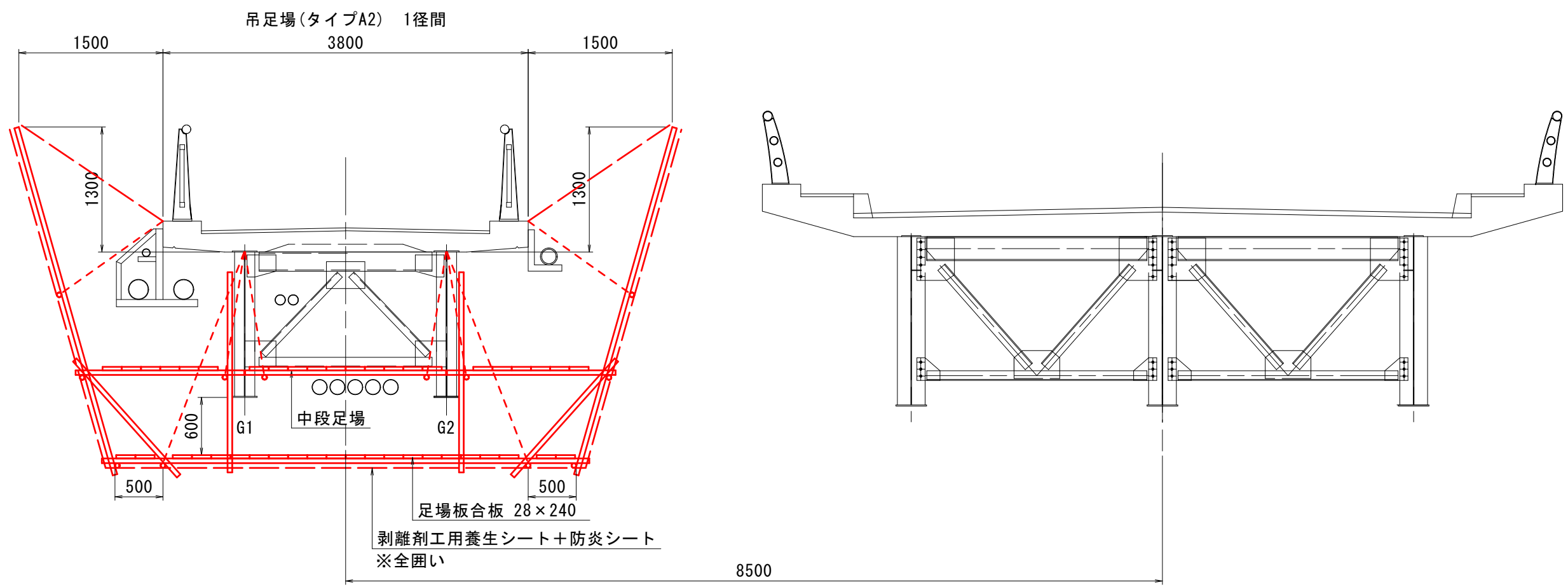
平面図 S=1:300



凡 例

表 示	種 別
	歩道橋 吊足場 1径間

足場工 標準断面図 S=1:50



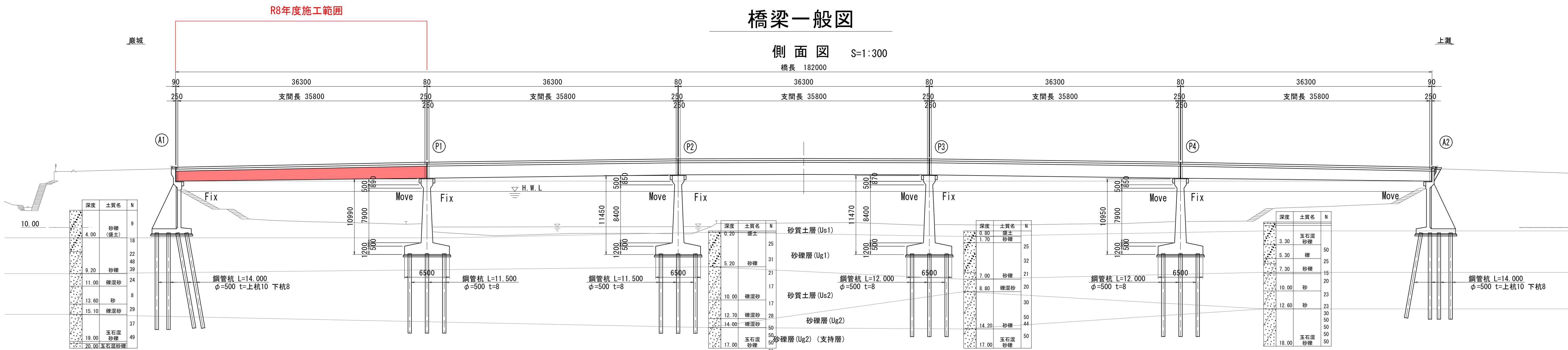
08 公共 実施設計

巖城橋 歩道橋 1径間			
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線 (巖城橋歩道橋) 外構修繕工事 Ⅱ工区 (3補打)		
図 名	足場仮設図 (参考図)		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 8		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋梁一般図

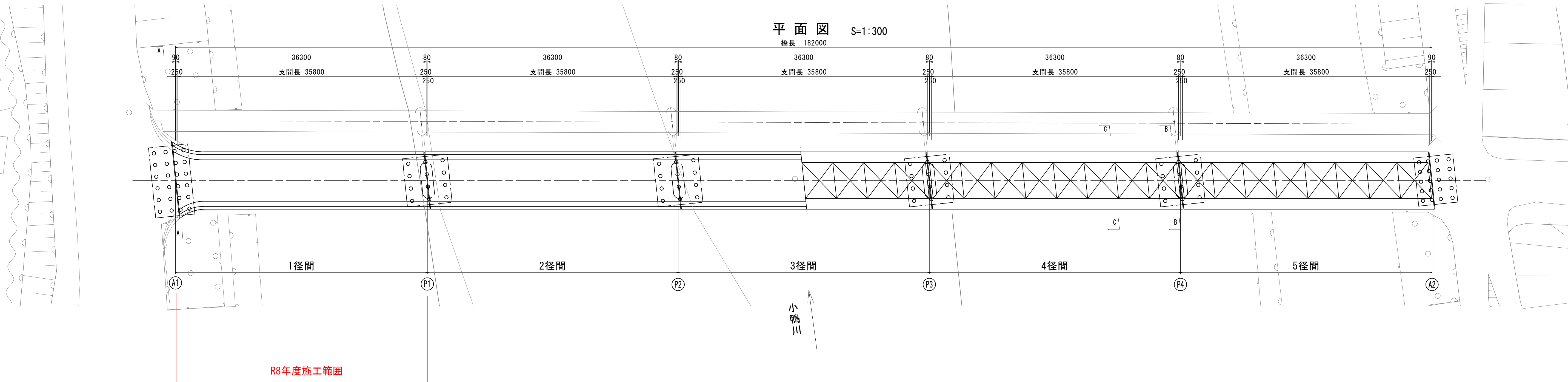
側面図 S=1:300

橋長 182000



平面図 S=1:300

橋長 182000



断面図 S=1:60

A - A

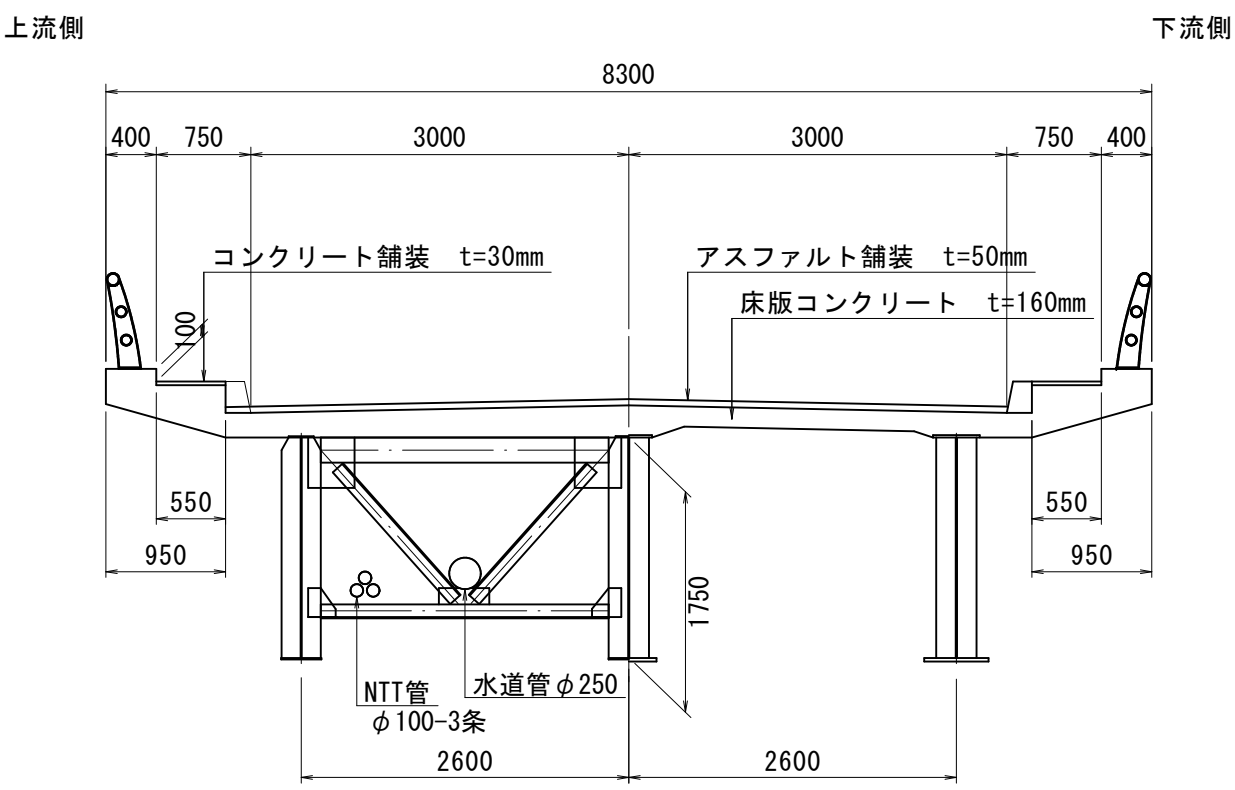
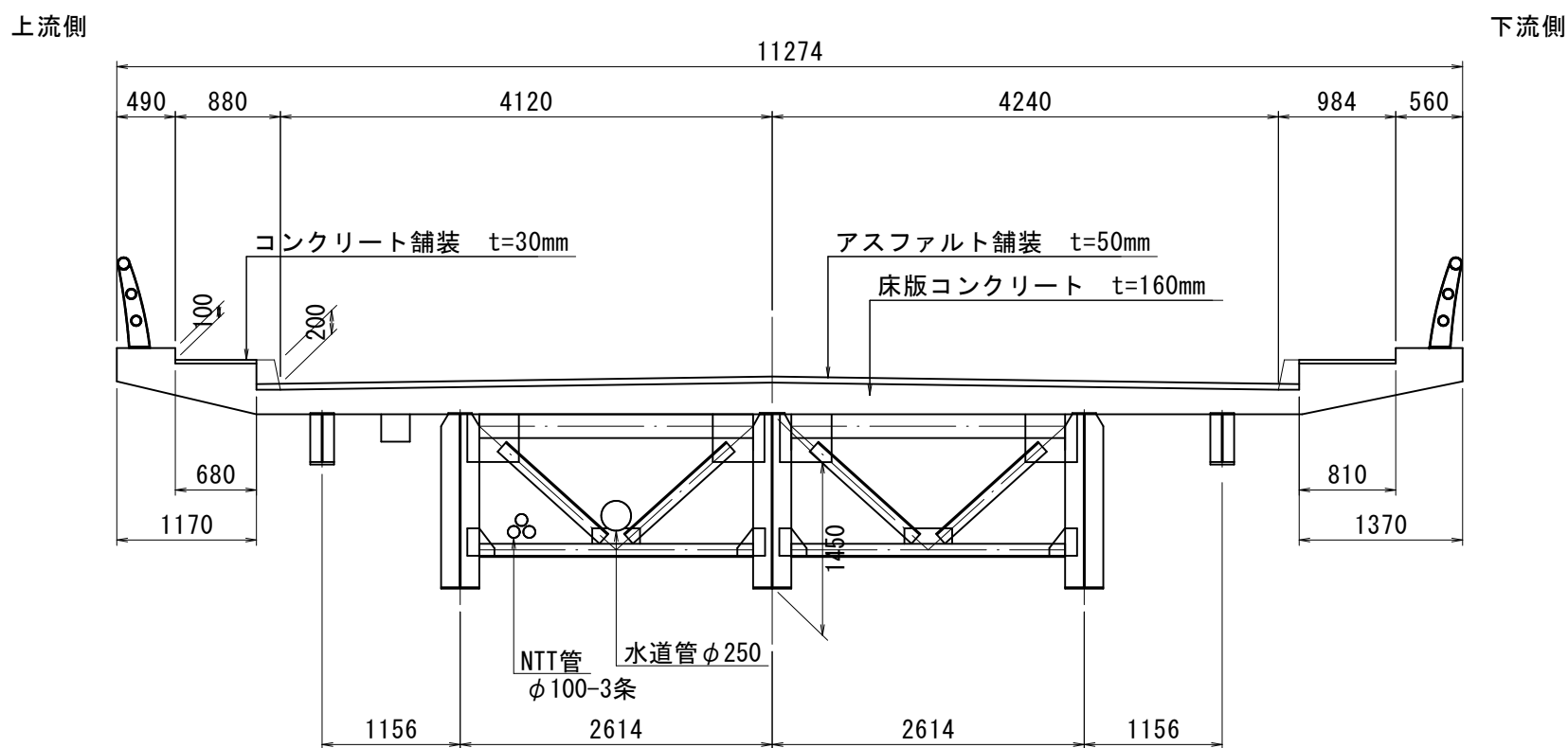
(支点上)

B - B

(支点上)

C - C

(支点上)

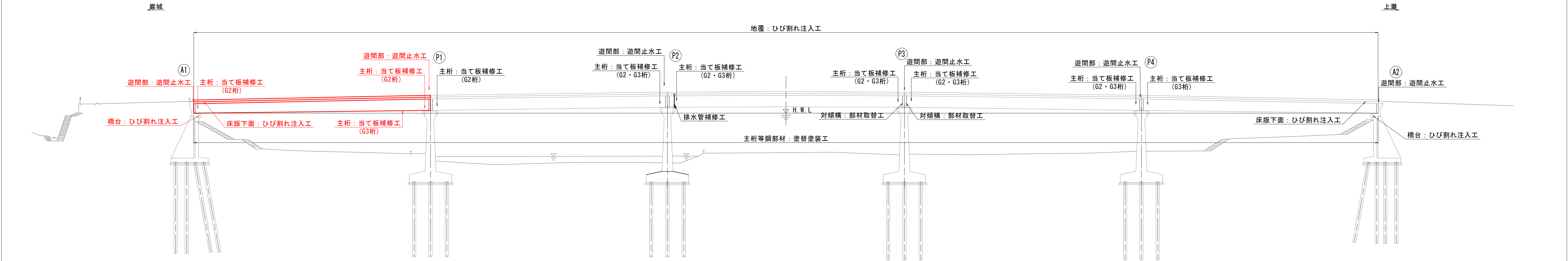


08 公共 実施設計

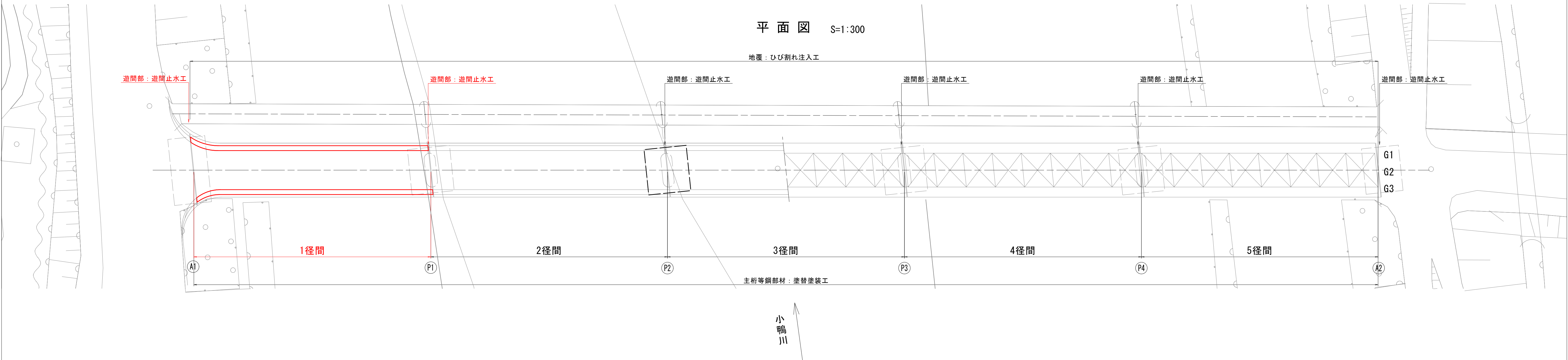
巖城橋 車道橋			
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線 (巖城砂防遊橋) 外橋砂防工事 (2工区) (補助)		
図 名	橋梁一般図		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 9		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

補修一般図

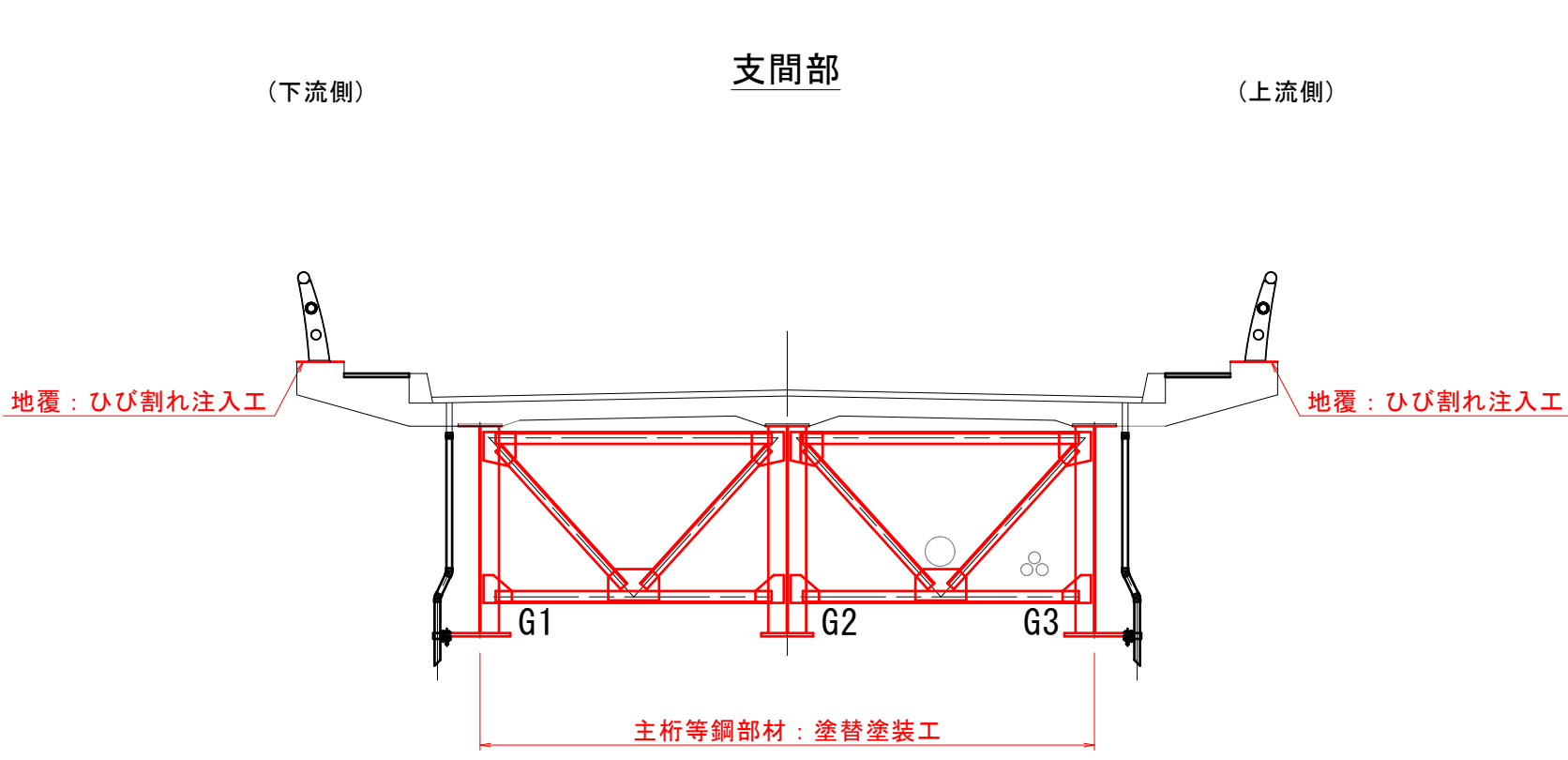
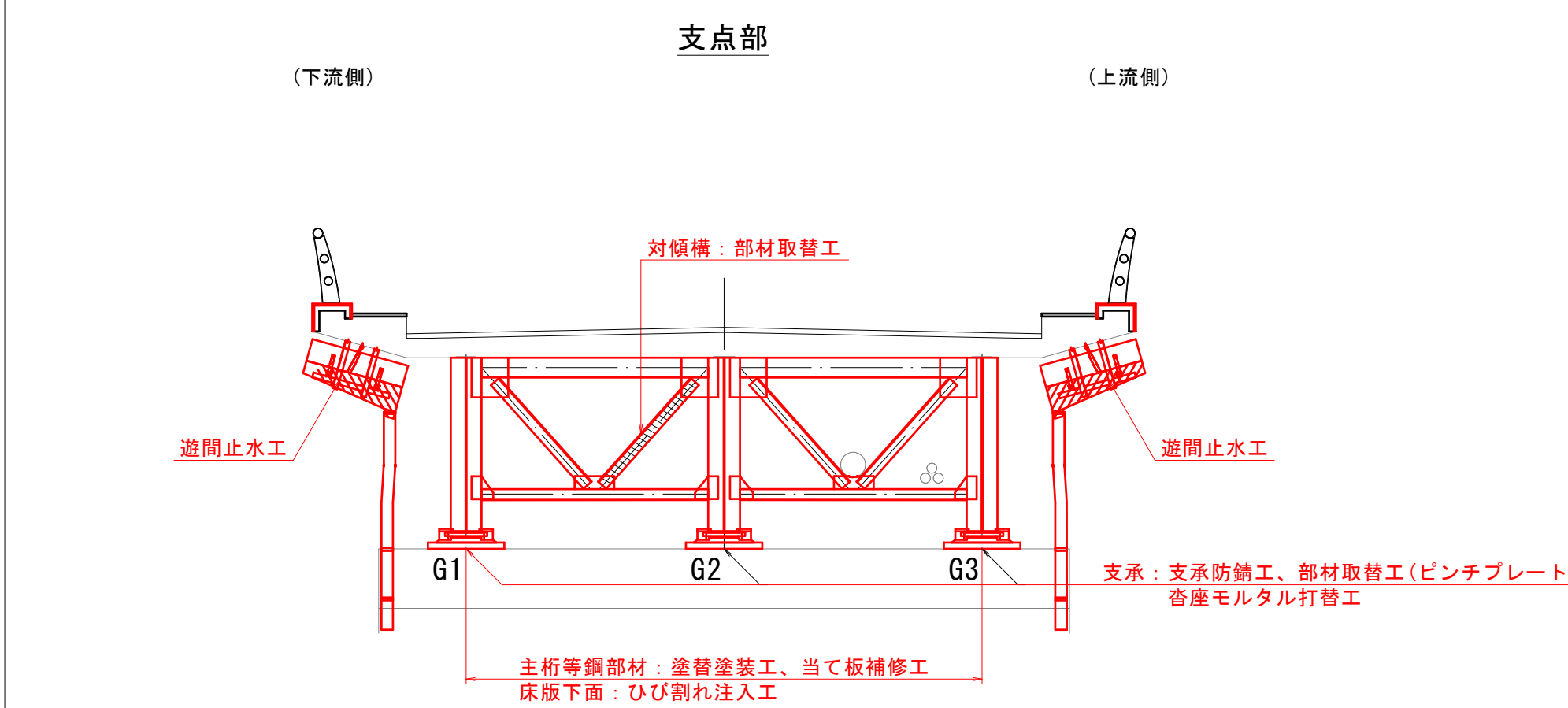
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:60



凡例
今回施工箇所 (車道橋 1径間)

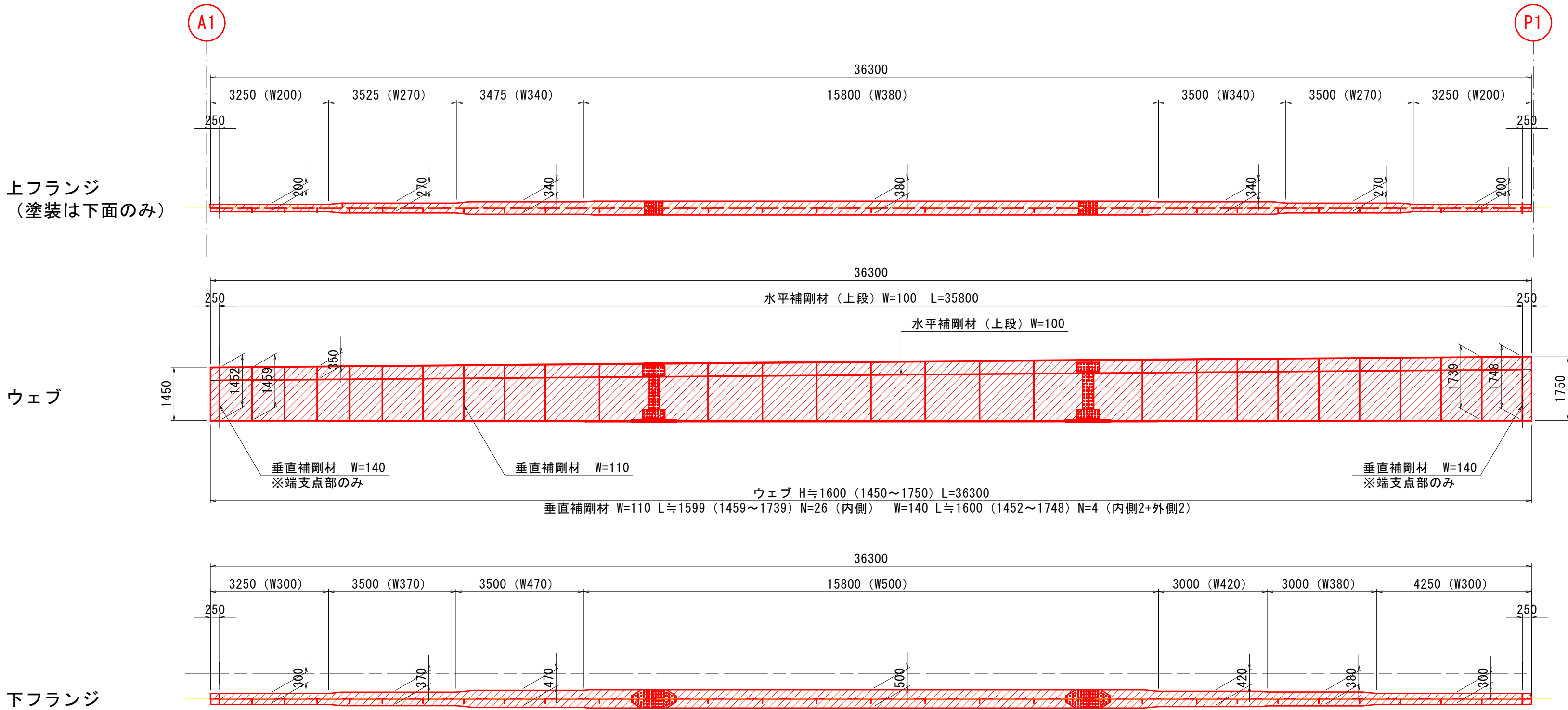
08 公共 実施設計

路線名	一般県道 巖城上灘線
工事名	県道巖城上灘線 (巖城町交差点) 外柵彩装工事 (2工区) (補助)
図名	補修一般図
位置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 22 葉中の内 10
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

鋼材塗装図（1/4）

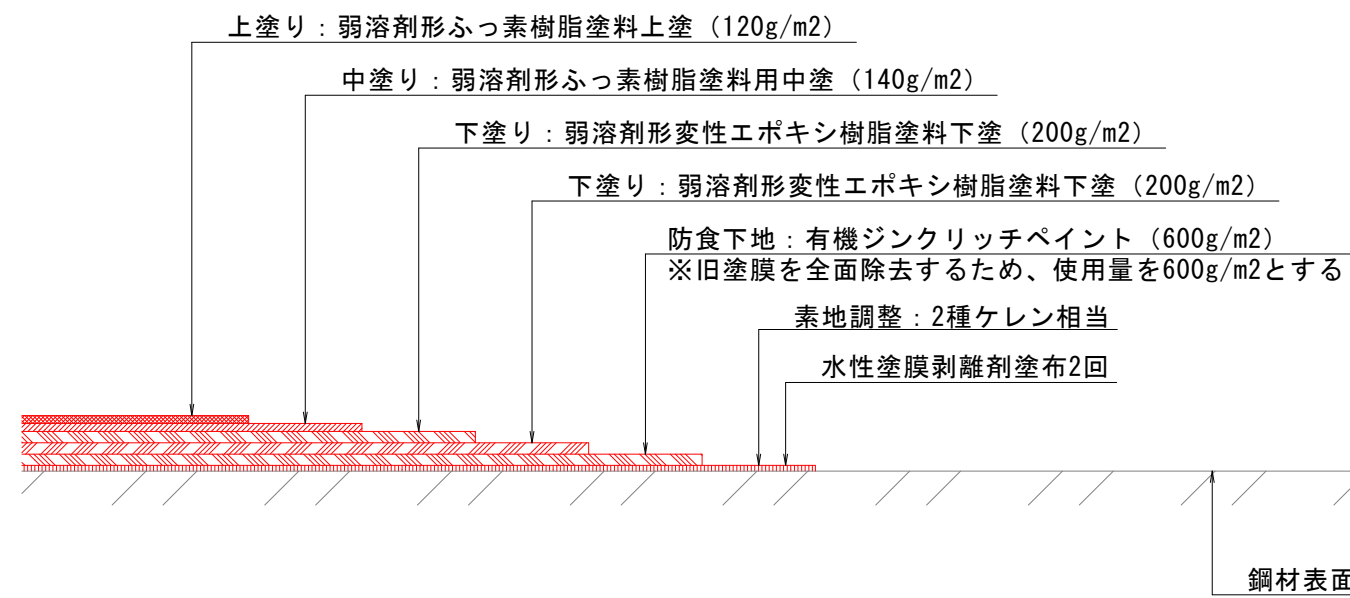
塗替塗装工 S=1:100

主桁（G1桁・G3桁）側径間



塗替塗装工（参考図）

（Rc-Ⅱ塗装系） nonScale



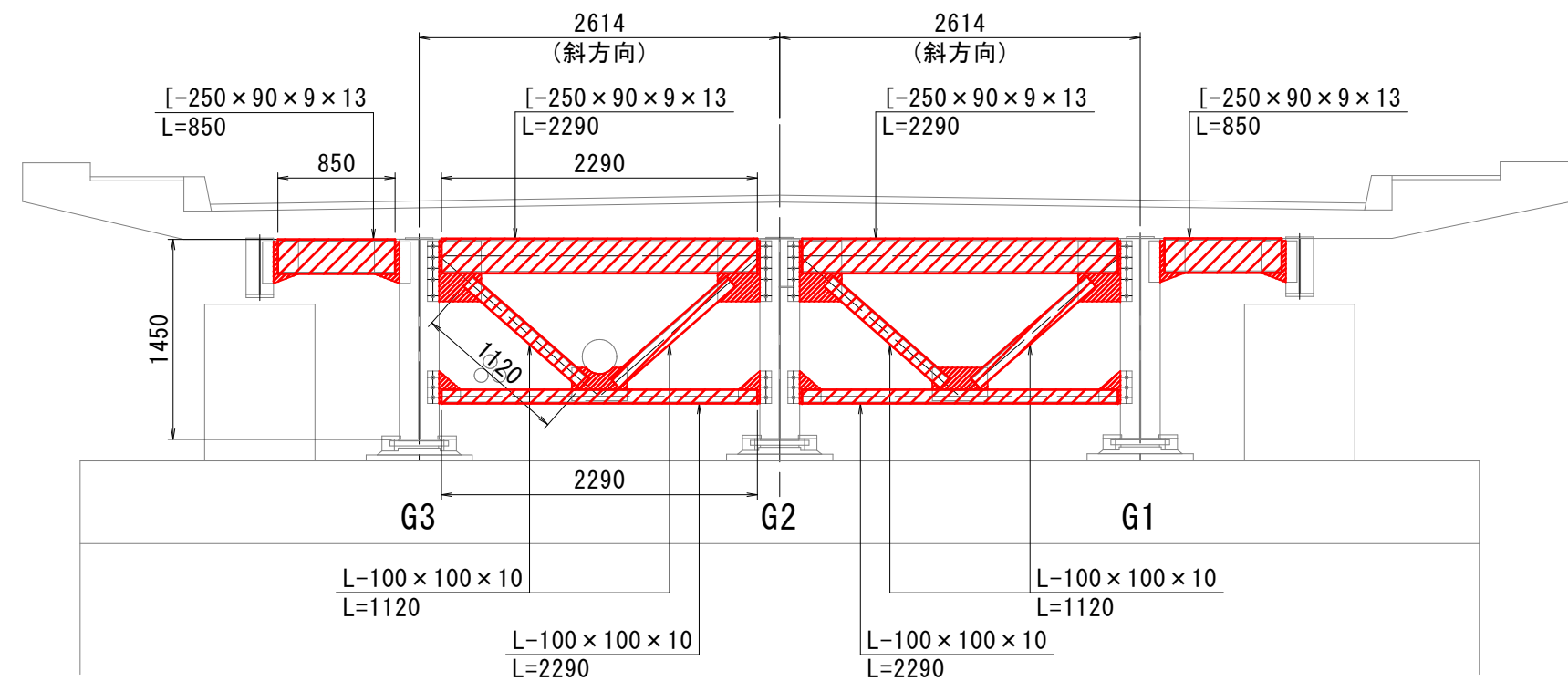
凡 例	
表 示	種 別
	塗替塗装工（Rc-Ⅱ塗装系）1径間

08 公共 実施設計

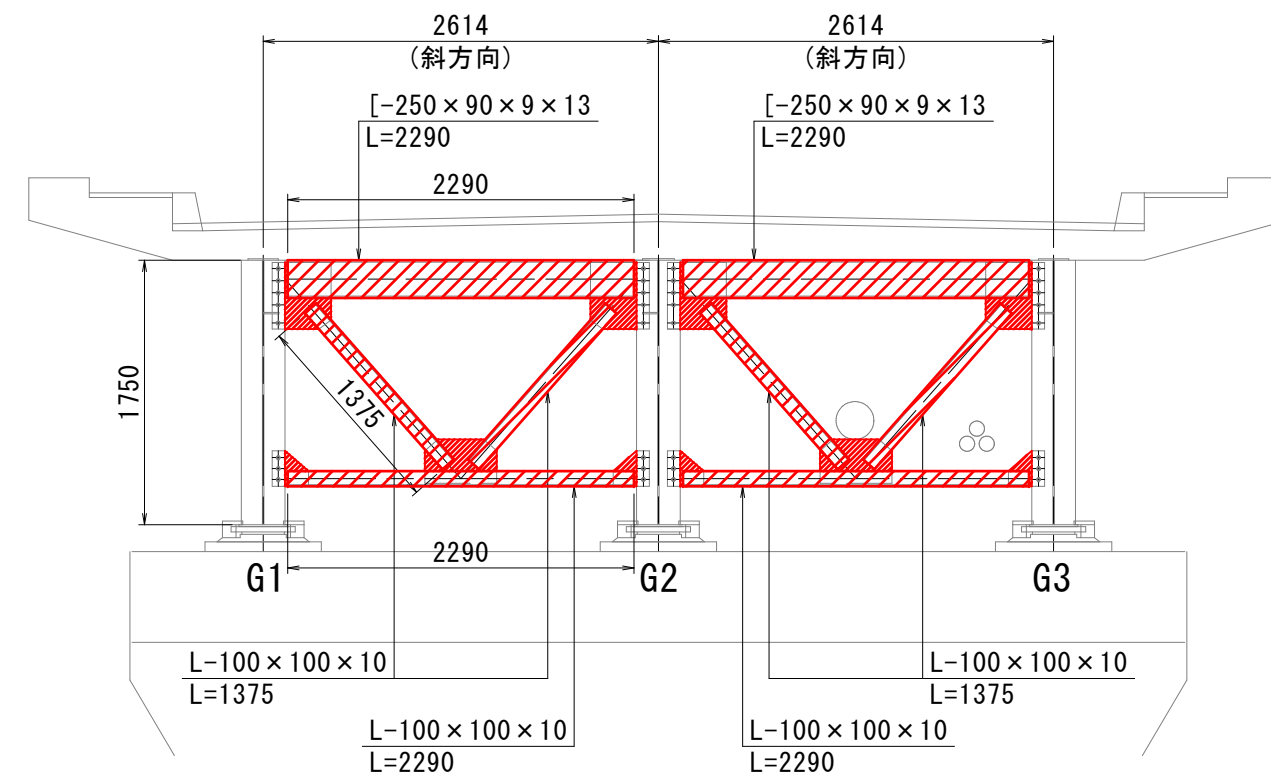
巖城橋 車道橋				
路 線 名	一般県道 巖城上灘線			
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城歩道橋）外橋架設工事 (Ⅱ区) (補助)			
図 名	鋼材塗装図 (1/4)			
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町			
縮 尺	図示	単 位	MM	
図 号	全 22	葉中の内	11	
令和 8 年度施行			鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局				

塗替塗装工

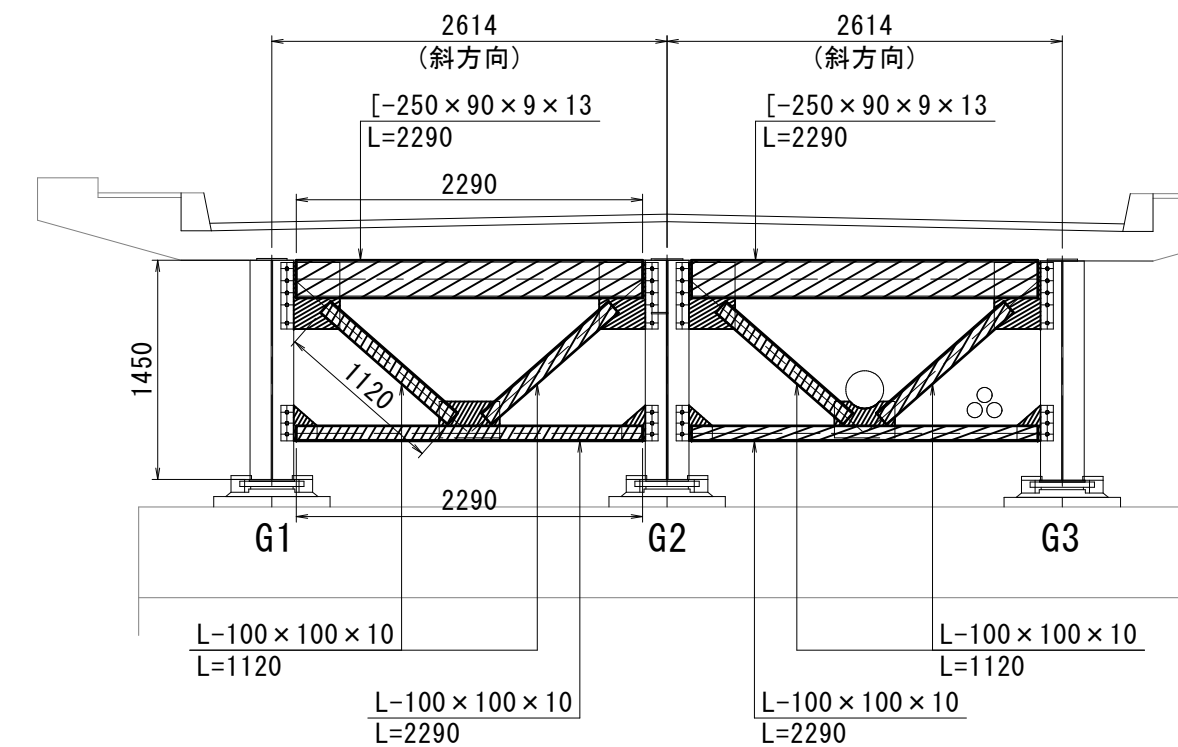
【A1 支点部】



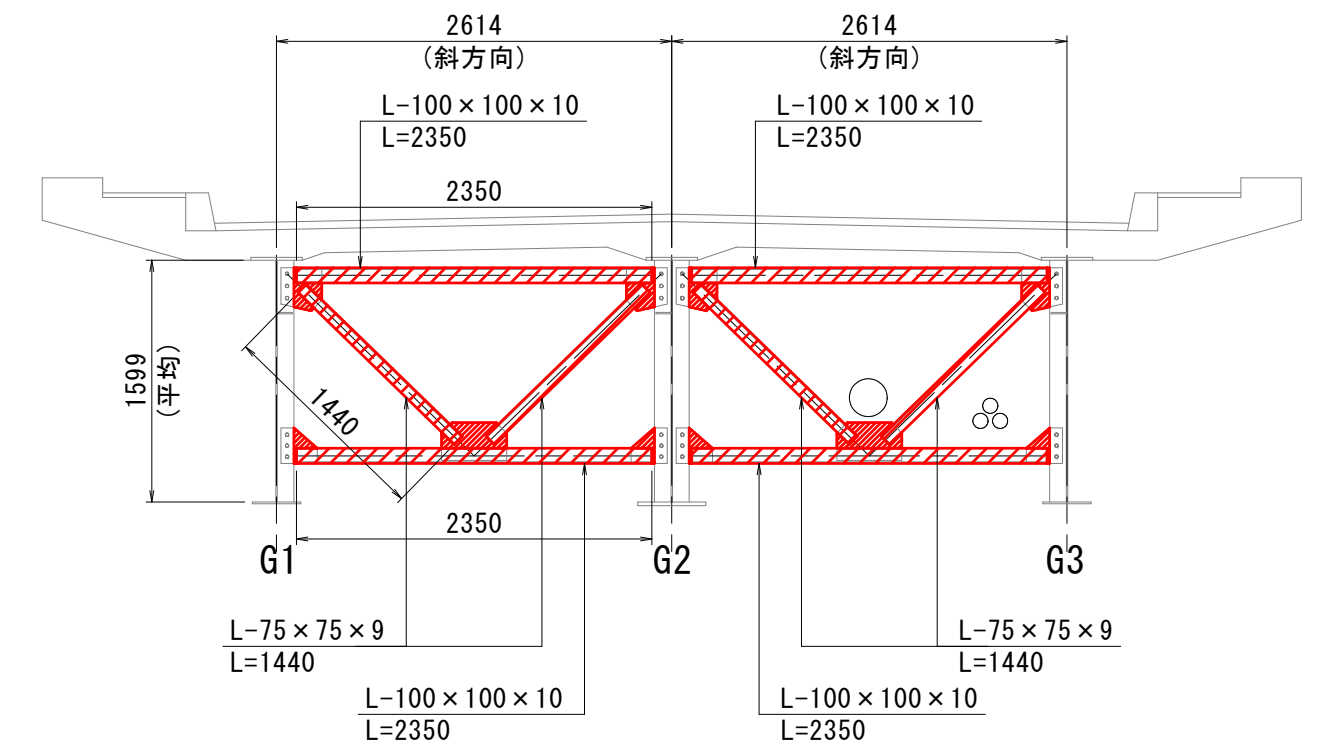
【P1～P4支点部】



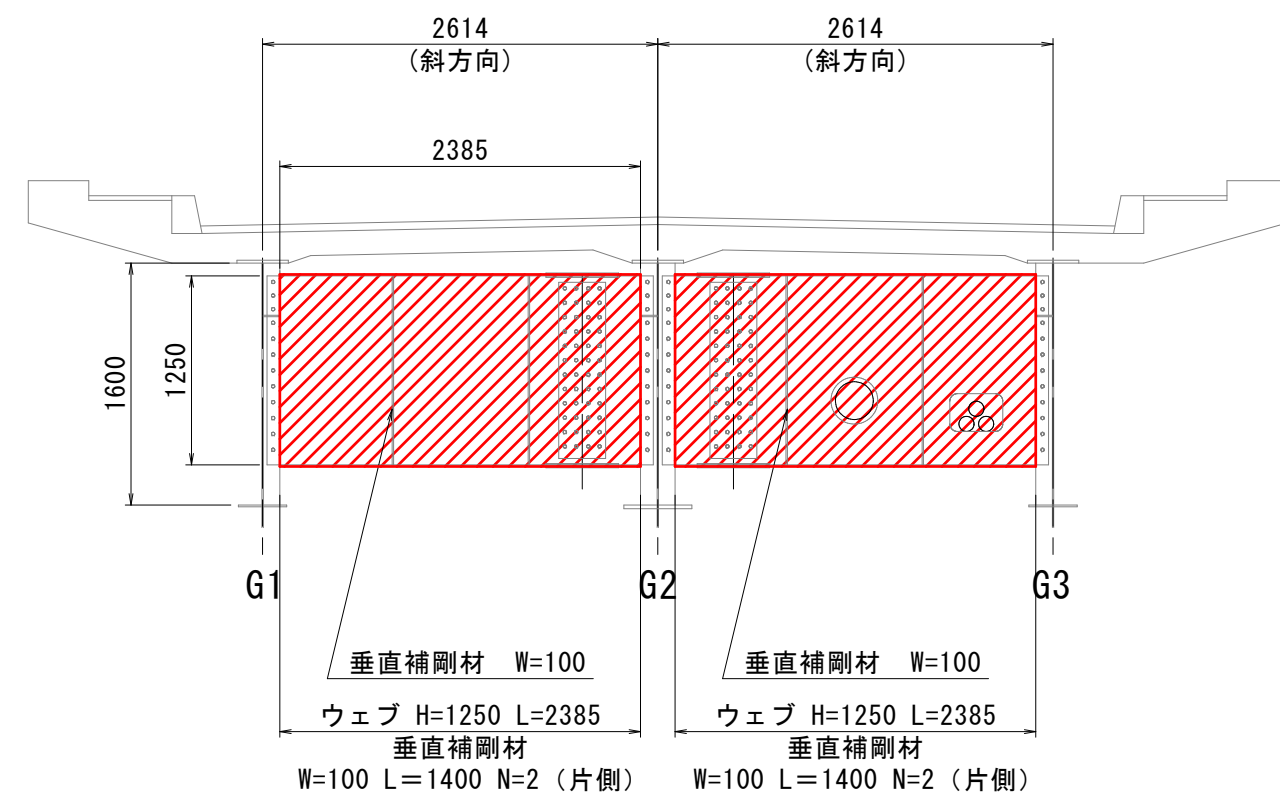
【A2支点部】



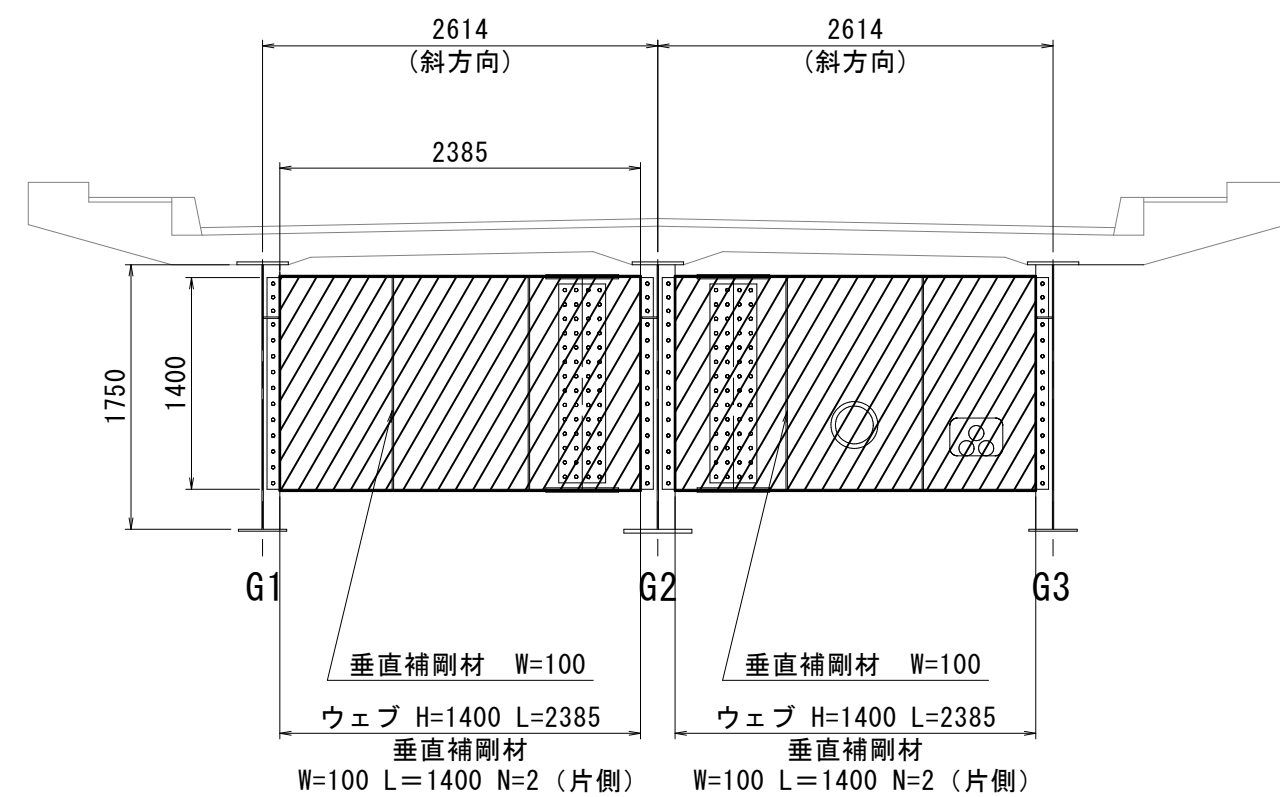
【中間対傾構①】



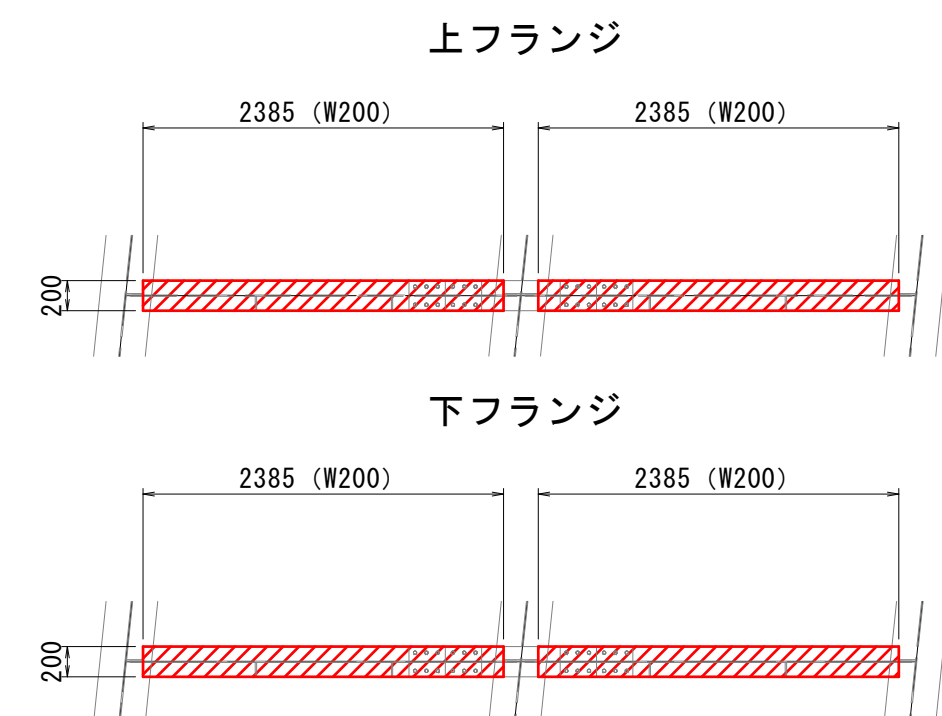
【中間横桁①】



【中間横桁②】



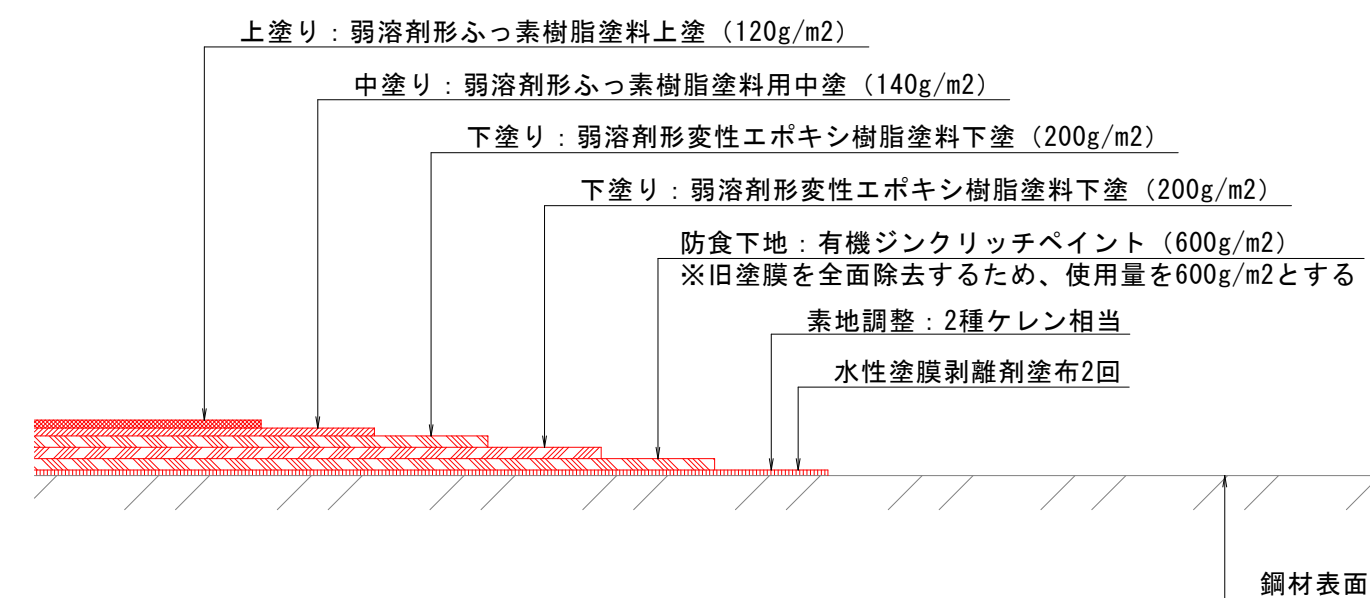
【中間横桁平面図】



塗替塗装工(参考図)

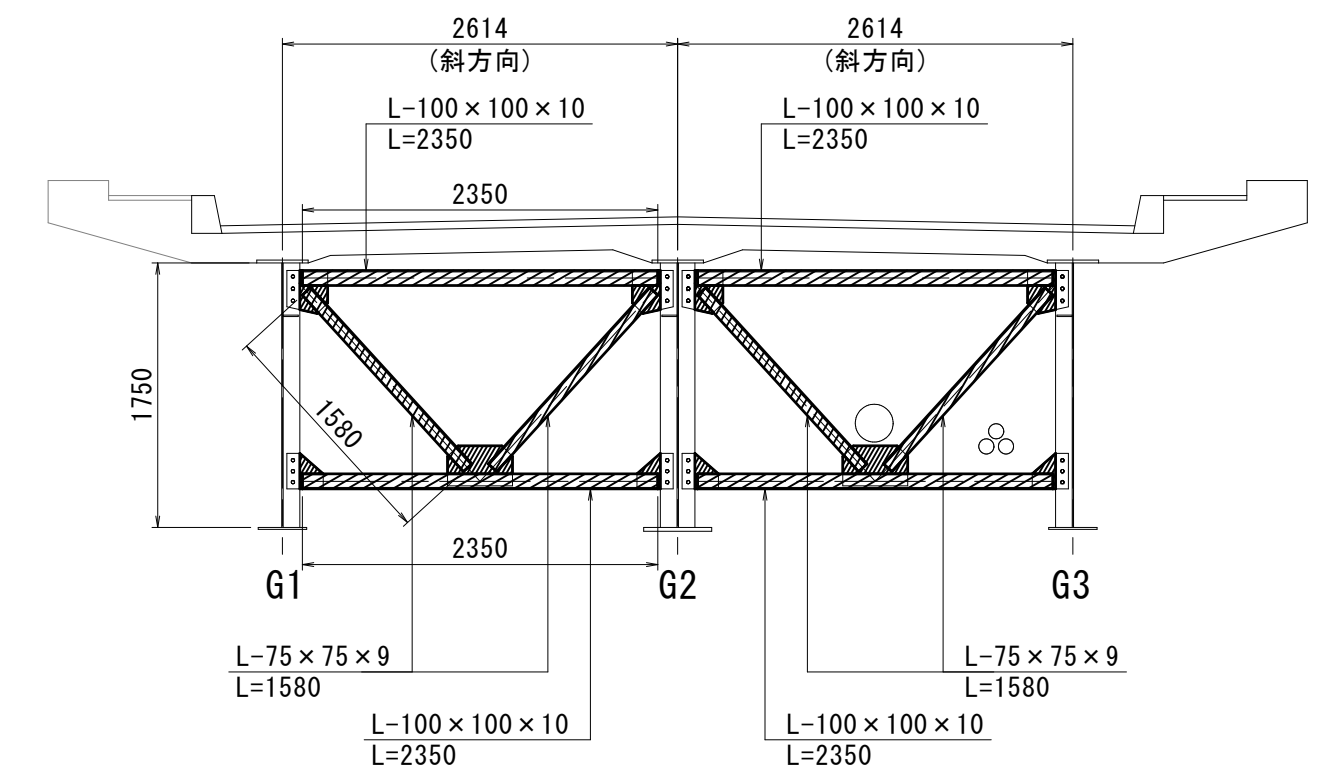
(Rc-Ⅱ 塗装系)

nonScale



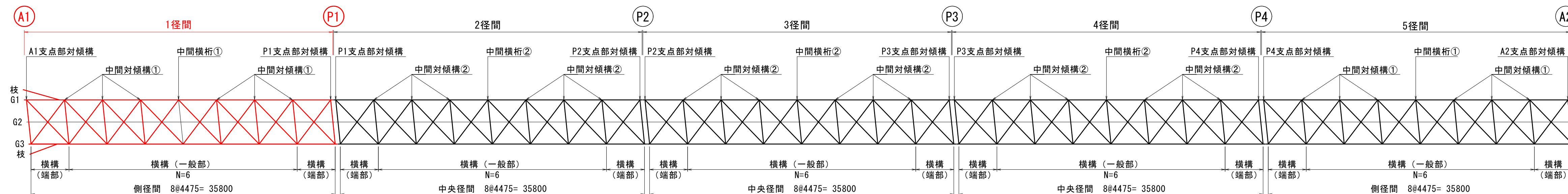
- ※調査時に実施した防護柵の塗装成分分析(PCB・鉛・六価クロム)結果をもとつき、適切に処分すること。
- ※素地調整は湿式工法(塗膜剥離剤塗布)とし、剥離剤で除去できない錆箇所は、吸塵式ディスクサンダー等の電動工具と手工具を併用し、粉じん対策を考慮しながら行う。(2種ケレン相当)
- ※施工中は、ホウりの付着による施工不良を懸念し、養生を行うこと。
- ※ホウりの出る工程を並行して行わないこと。
- ※施工に際しては、温・湿度管理に準拠すること。
- ※使用前の材料はよく攪拌すること。
- ※状況塗装に適した塗膜剥離剤を選定するため、施工前に塗膜剥離剤選定試験を行うこと。

【中間対傾構②】



凡 例	
表 示	種 別
	塗替塗装工 (Rc-II 塗装系) 1 径間

補修位置図



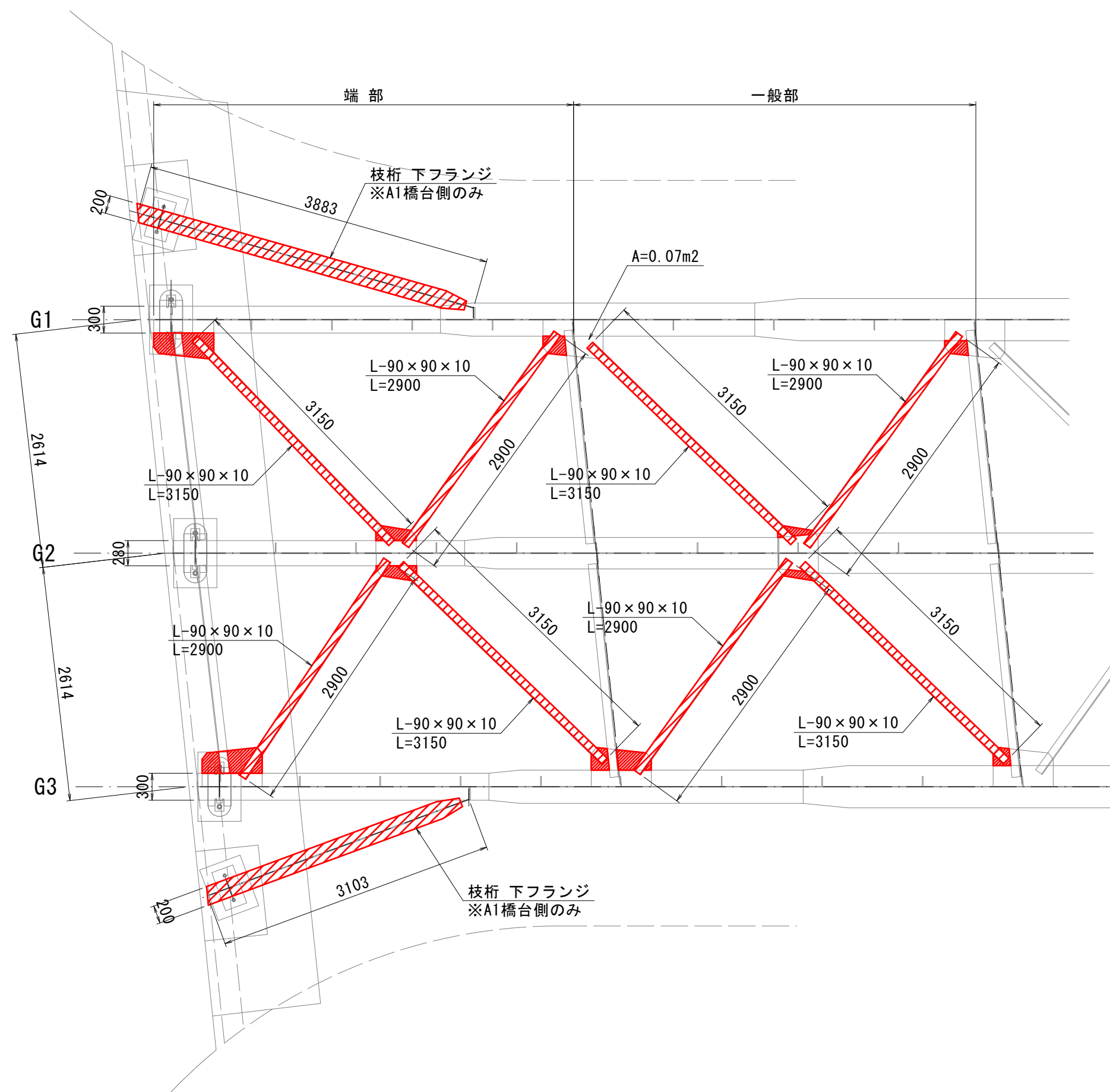
⑧ 公共 実施設計

 宇都宮市			
 宇都宮市役所			
 都市計画課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			
 工務部土木課			

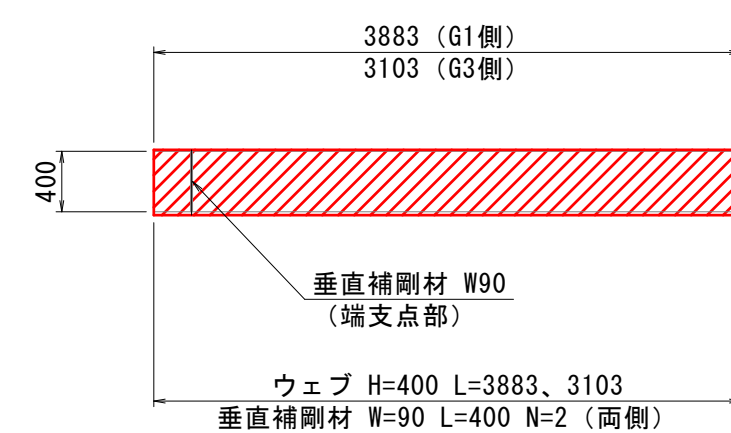
鋼材塗装図 (4/4)

塗替塗装工

横構 平面図 S=1:5



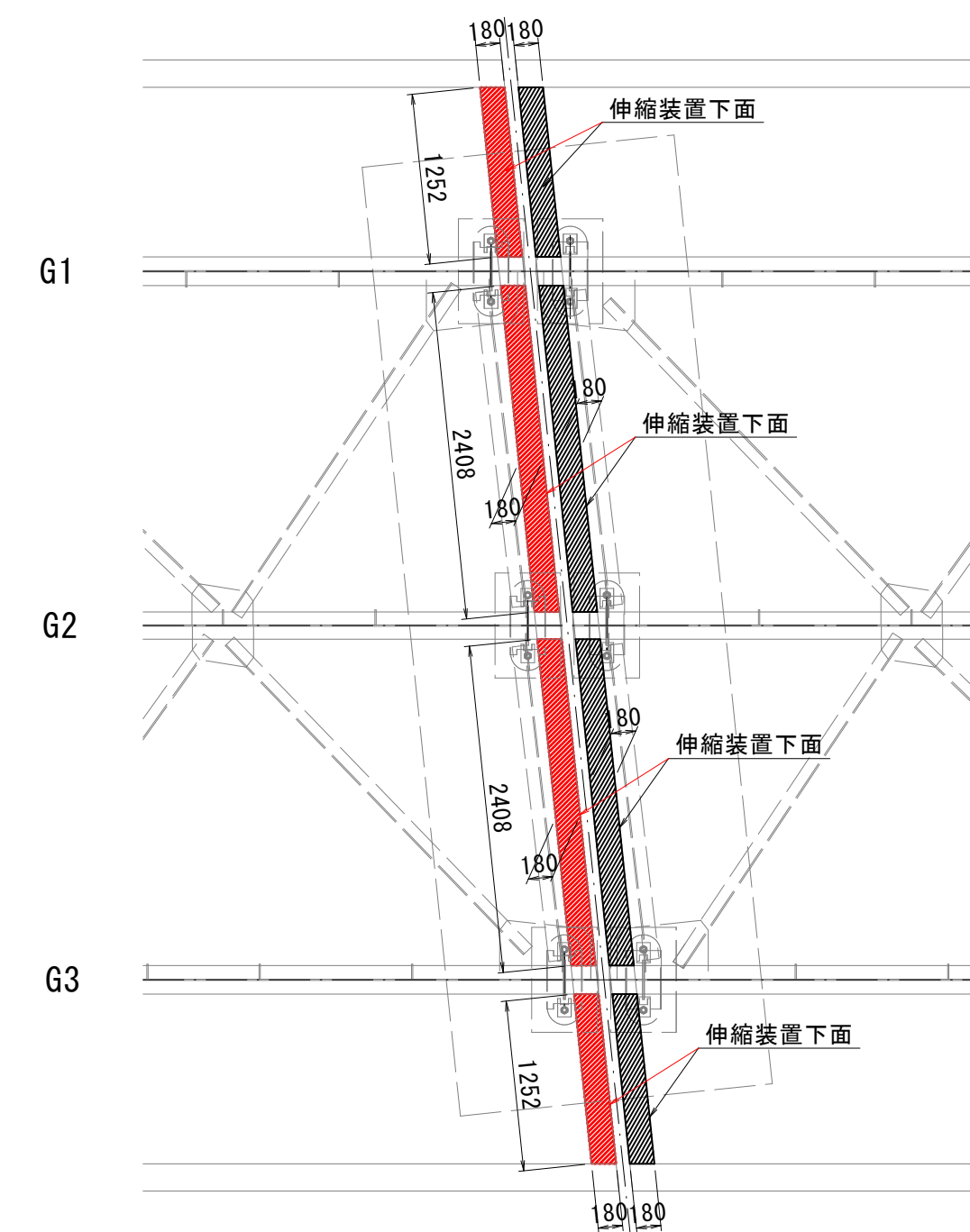
枝柎 側面図 S=1:5



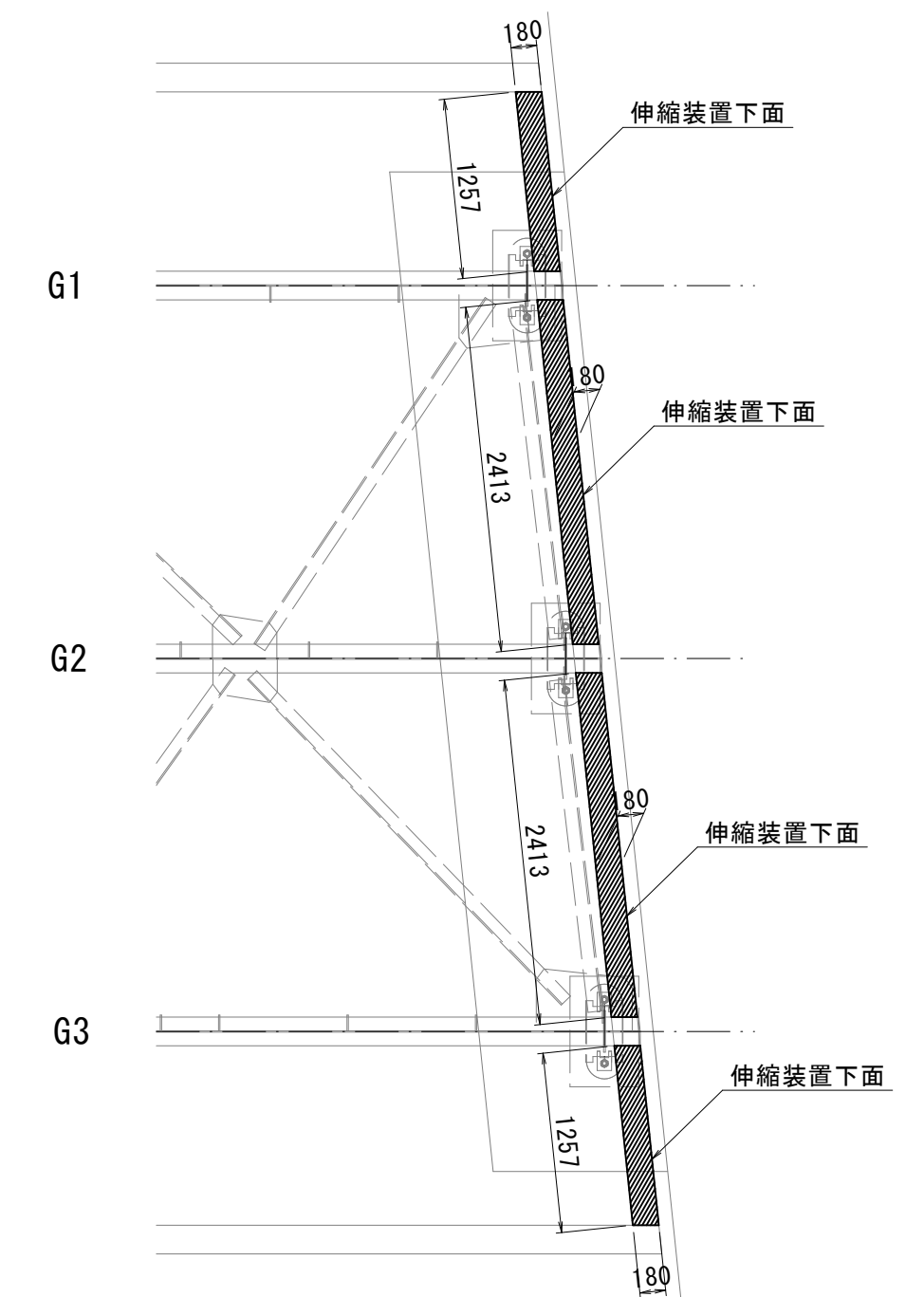
床版下面(桁端部) 平面図 S=1:5

伸縮裝置下面鋼板・枝柙

【P1～P4橋脚部】

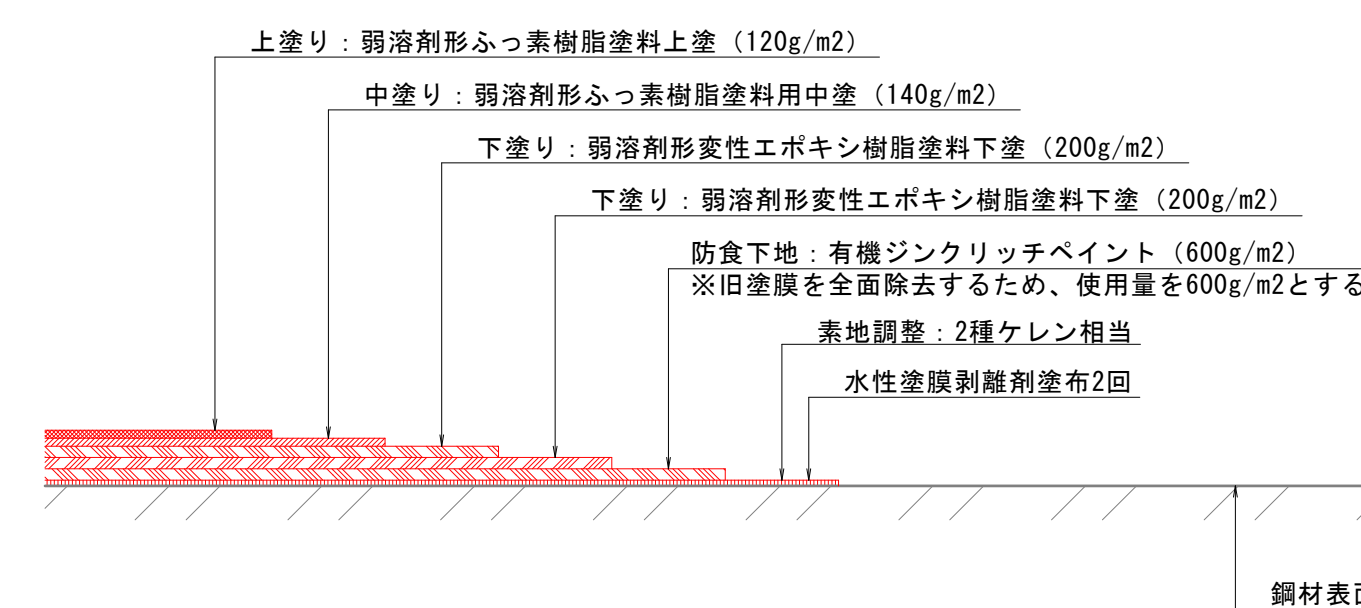


【A2橋台部】



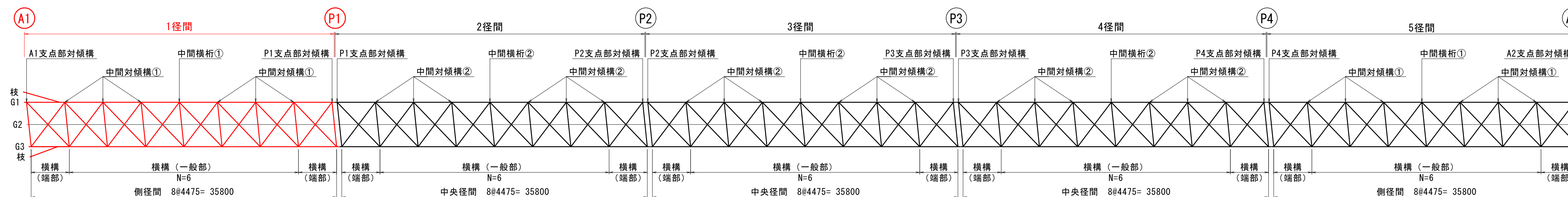
塗替塗装工(参考図) nonScale

(Rc-Ⅱ 塗装系)



凡 例	
表 示	種 別
	塗替塗装工 (Rc-Ⅱ 塗装系) 1 径間

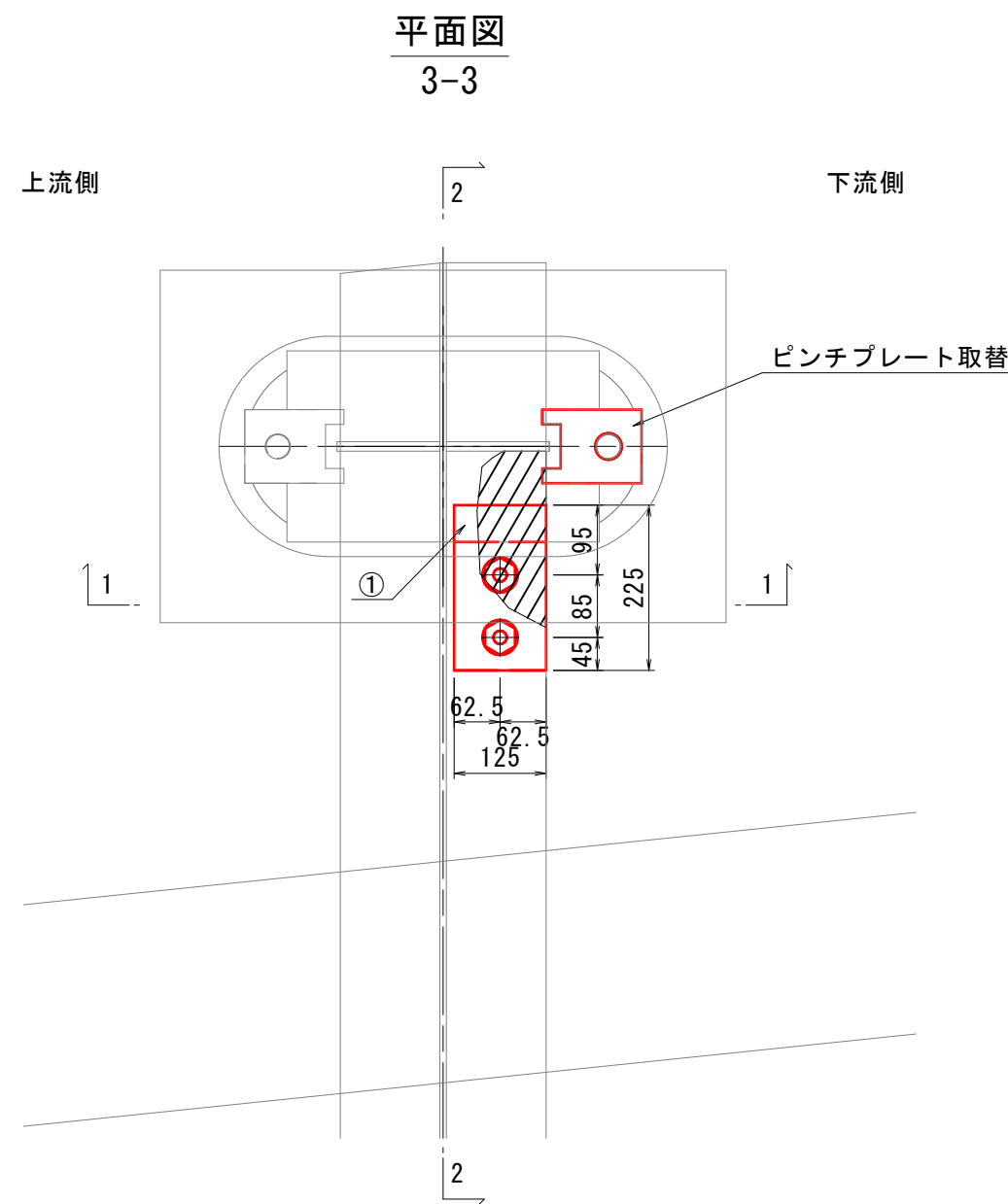
補修位置図



⑧ 公共 実施設計

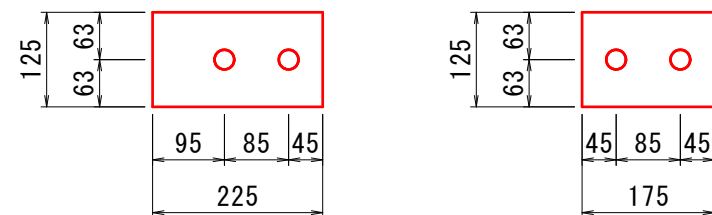
巖城橋 車道橋			
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城町岩手町側）外柵築岸修工事 （Ⅱ区）（補助）		
図 名	鋼材塗装図（4/4）		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 13		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

当て板補修工 S=1:10



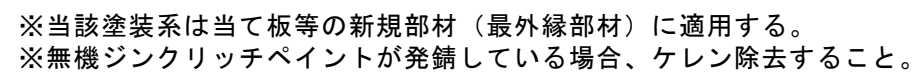
① SS400 PL-125×225×12
※ボルト孔φ26.5

② SS400 PL-125×175×9
※ボルト孔φ26.5



名 称	規 格	単位	A1橋台
			G2桁
当て板①	SS400, t=12mm, 125 × 225	枚	1
当て板②	SS400, t=9mm, 125 × 175	枚	1
片側施工用高力ボルト	M24 × 35	本	2

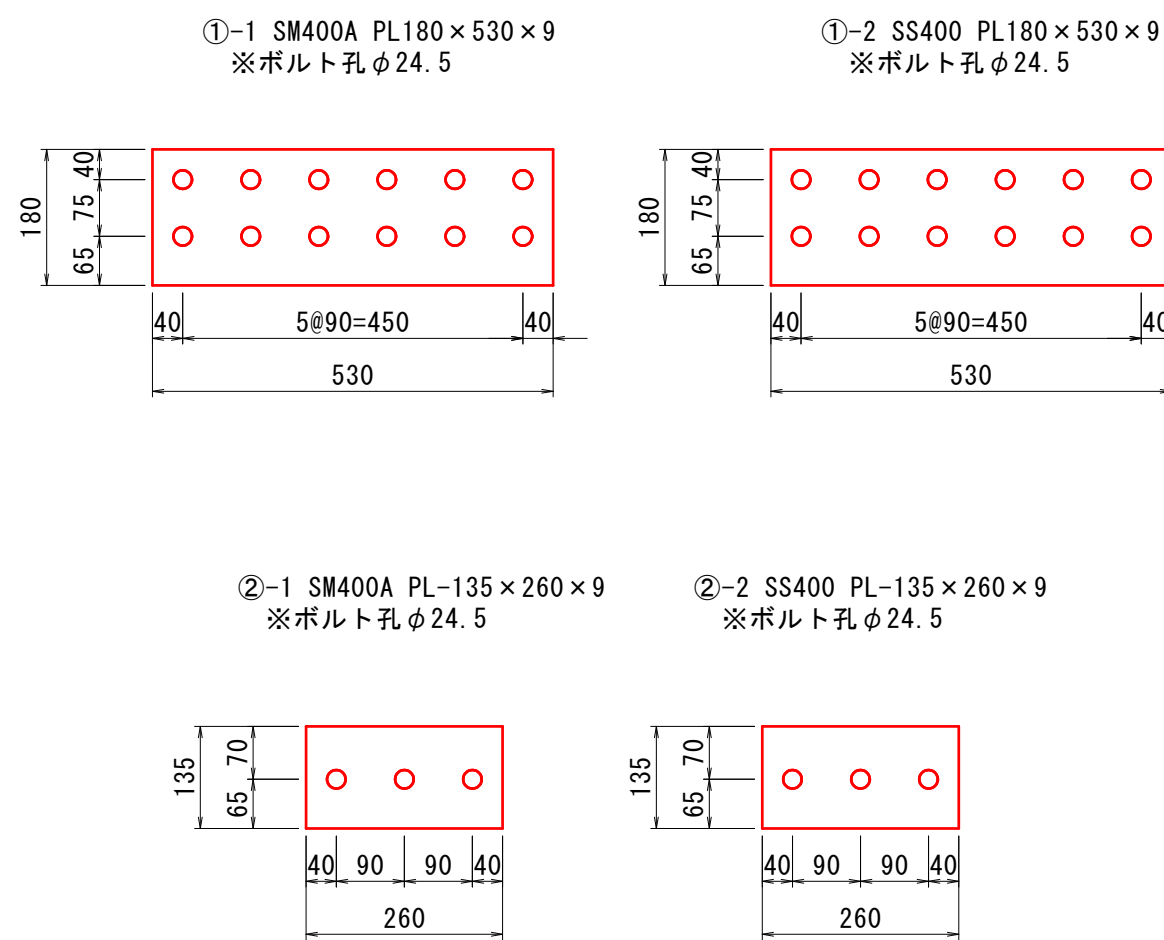
(Rc-Ⅱ 塗装系：新規部材)



凡 例

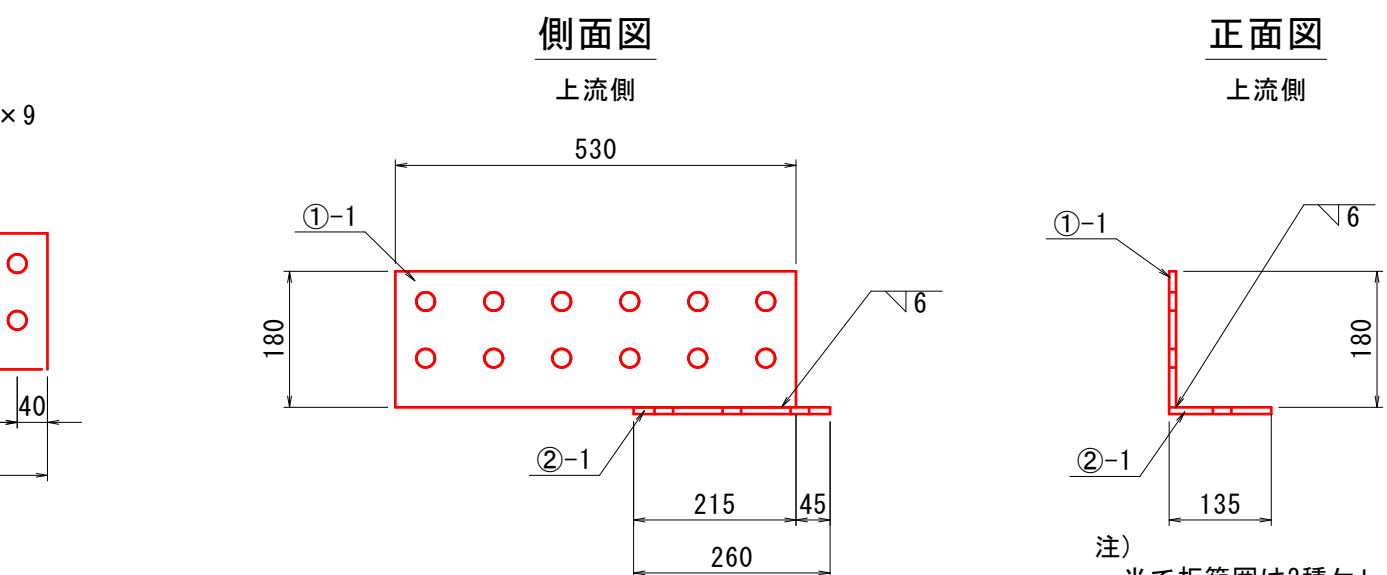
☐ 今回施工箇所（車道橋 1 径間）

A1-P1径間:G3桁



材 料 表		単位	A1-P1 径間 G3桁
名 称	規 格		
当て板①-1	SM400A, t=9mm, 180×530		
当て板①-2	SS400, t=9mm, 180×530	枚	1
当て板②-1	SM400A, t=9mm, 135×260	枚	2
当て板②-2	SS400, t=9mm, 135×260	枚	1
高力ボルト	S10T, M22×65	本	3
高力ボルト	S10T, M22×75	本	12

A1-P1径間:G3桁



注)

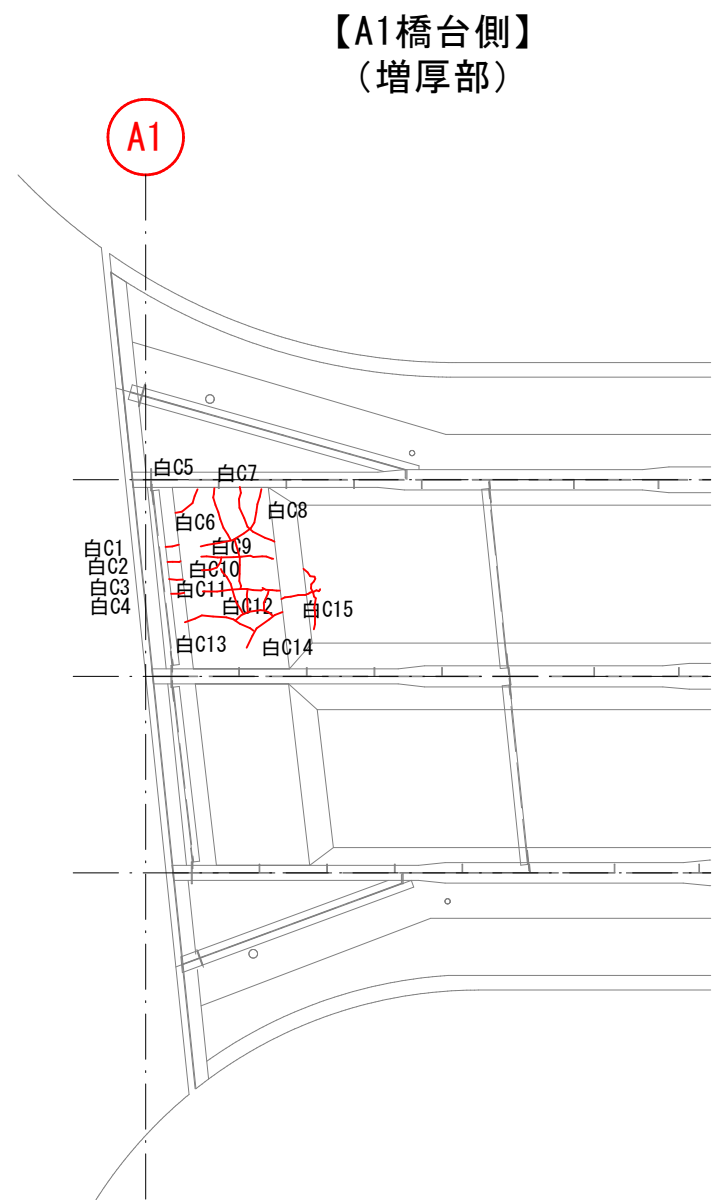
- ・ 当て板範囲は2種ケレンとし、十分に塗装を除去すること。
鋼材は製作工場にて無機ジंकリッチペイント処理を施すこと（F-11相当）
- ・ 当て板設置後に塗装を施すこと。
- ・ 母材と当て板両面にパテ状エポキシ樹脂を塗布し、欠損部を充填すること。（欠損の無い部分の樹脂厚は1mm以下とする）
- ・ 補強材製作前に現地に計測し、寸法を確認、調整すること。

⑧ ⑧ 実施設計

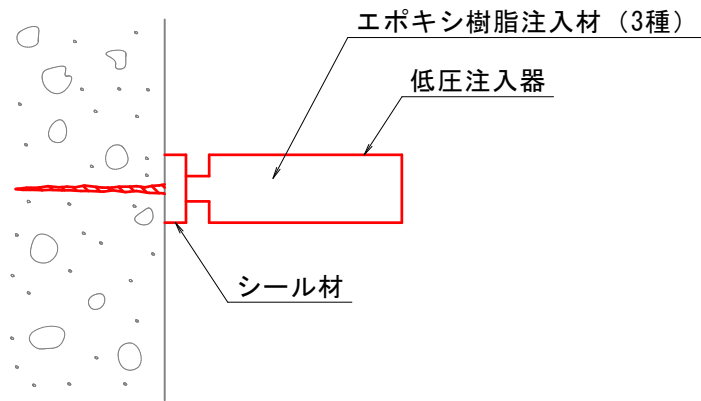
蔵城橋 車道橋 1径間					
路線名	一般県道　蔵城上瀬線				
工事名	県道蔵城上瀬線（蔵城地区）第Ⅱ期外柵修繕工事 (工区) (補助)				
図名	主桁補修図(1/7)				
位置	倉吉市蔵城～倉吉市見日町				
縮尺	図示	単	位	MM	
図号	全	22	葉中の内	14	
令和 8 年度施行				鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備課					

床版補修図

平面図（床版下面） S=1:100



ひび割れ注入工
(低圧注入工法) NonScale



- ※ 低圧注入器の取付ピッチは300mmを標準とする。
- ※ 注入深さは50mm程度を見込んでいる。
- ※ ケレン作業後、ひび割れ幅が0.2mm以上は補修対象とする。

ひび割れ注入材：上部工…エポキシ樹脂注入材 3 種

凡 例		
表 示	種 別	総 数 量
	ひび割れ注入工（幅0.2～1.0mm未満）	20.6 m

補修数量表（床版）

ひびわれ注入工 1径間（A1橋台側）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備 考
床版	白C1	0.2	0.20	
	白C2	0.2	0.20	
	白C3	0.2	0.20	
	白C4	0.2	0.15	
	白C5	0.2	0.45	
	白C6	0.2	0.75	
	白C7	0.2	0.95	
	白C8	0.2	0.25	
	白C9	0.2	0.65	
	白C10	0.2	1.30	
	白C11	0.2	1.05	
	白C12	0.2	1.80	
	白C13	0.2	0.95	
	白C14	0.2	0.70	
	白C15	0.3	1.50	
合 計			11.10	幅0.2～1.0mm未満

ひび割れ注入材：上部工…エポキシ樹脂注入材 3 種

08 公共 実施設計

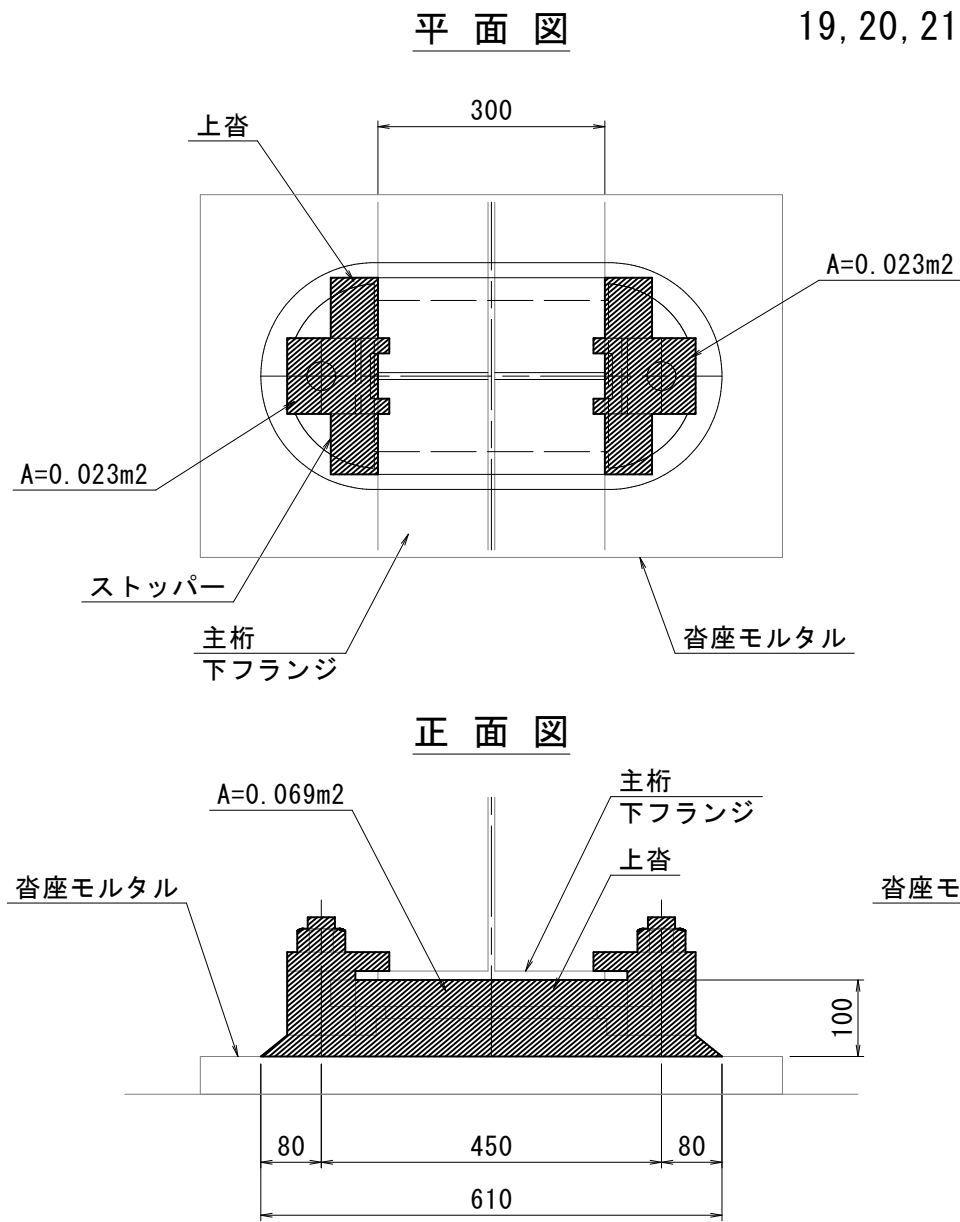
- 凡 例
- 今回施工箇所（車道橋 1径間）

巖城橋 車道橋				
路 線 名	一般県道 巖城上灘線			
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城橋）外橋梁補修工事 （工期）（補助）			
図 名	床版補修図			
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町			
縮 尺	図示	単 位	MM	
図 号	全 22	葉中の内	15	
令和 8 年度施行			鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局				

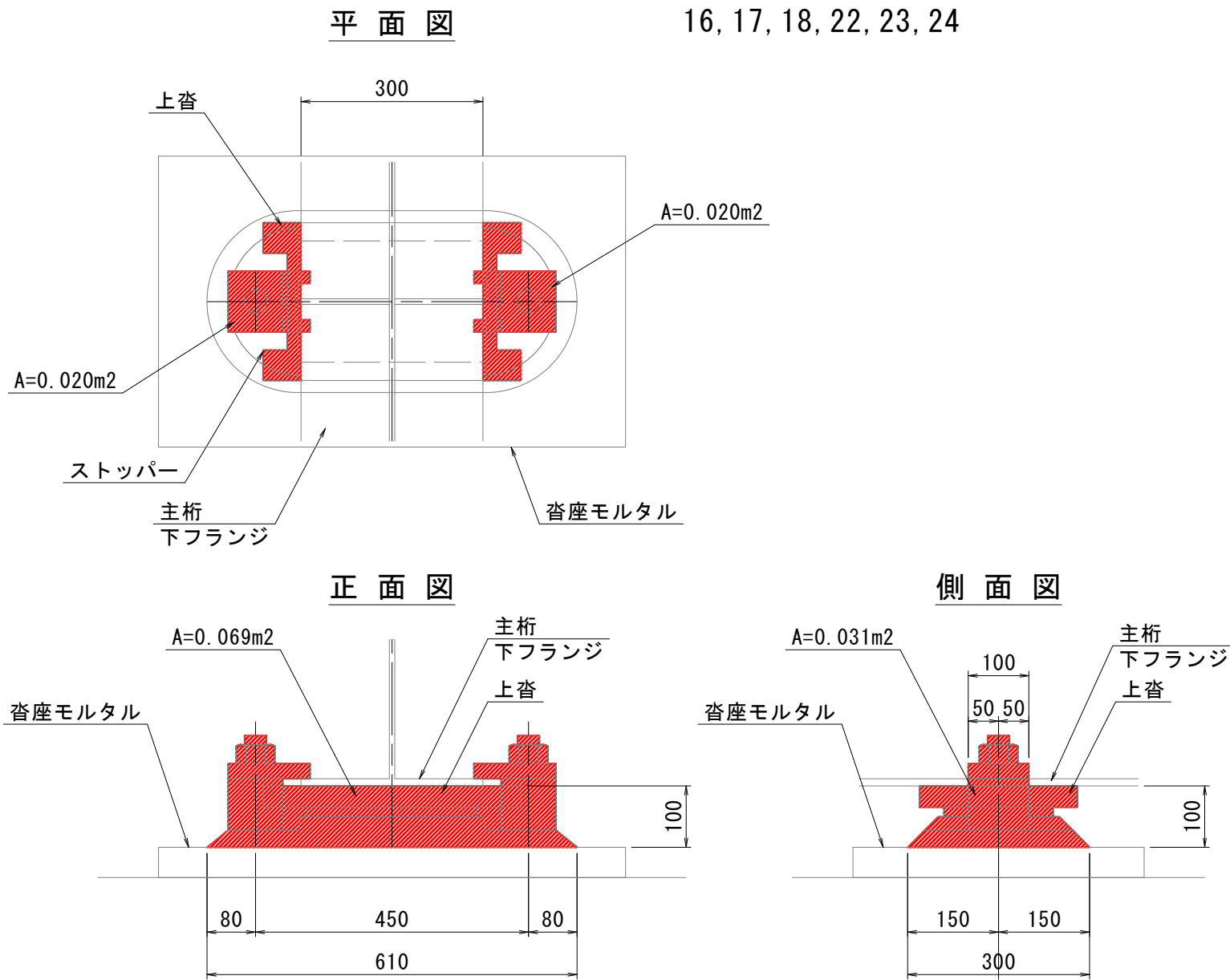
支 承 補 修 図 (1/2)

支 承 防 錆 工 S=1:10

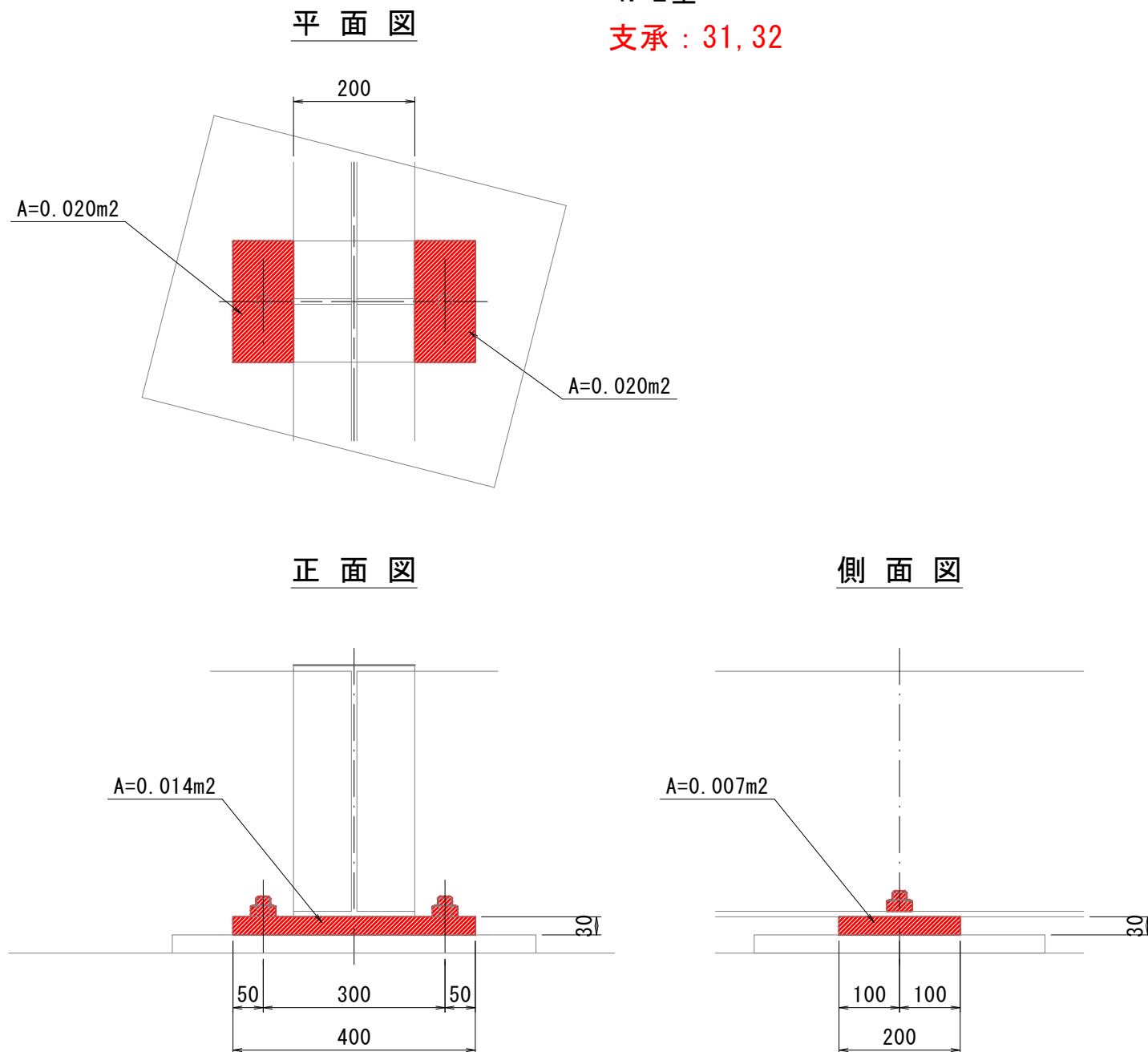
【固定支承】
N=12基
支承：7, 8, 9, 13, 14, 15
19, 20, 21, 25, 26, 27



【可動支承】
N=12基
支承：4, 5, 6, 10, 11, 12
16, 17, 18, 22, 23, 24

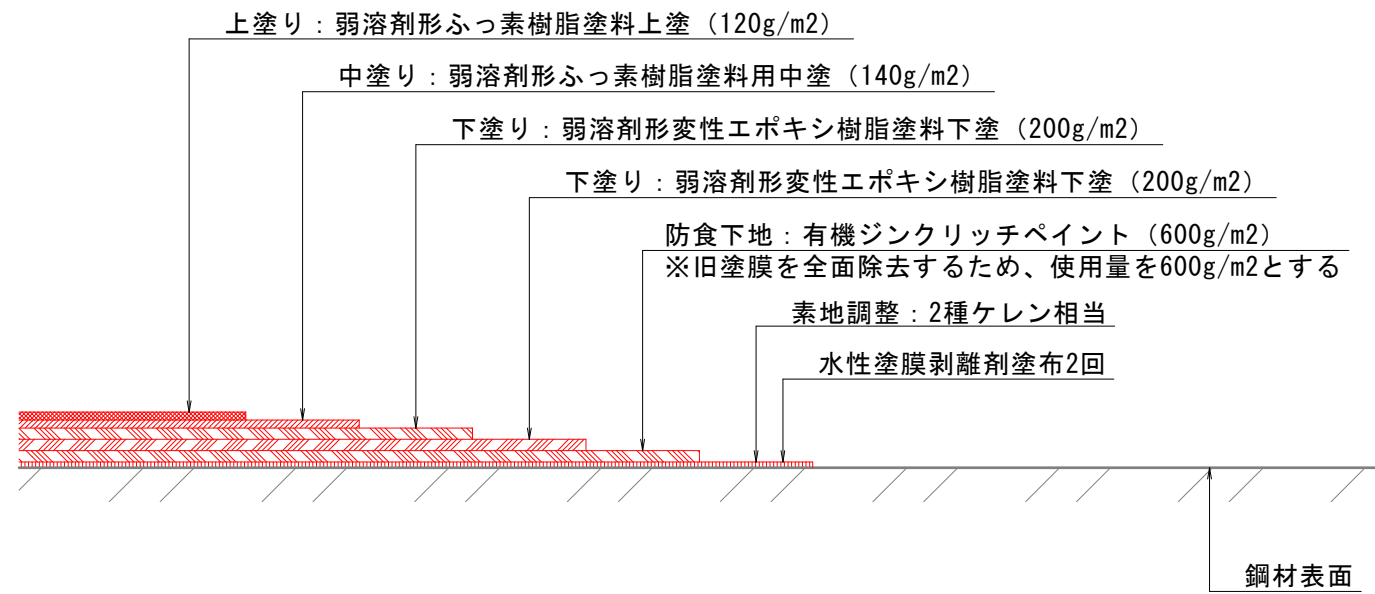


【固定支承】
桁
N=2基
支承：31, 32



※支承のピンチプレートは一部を取替える。
取替え部材の塗装は別途図面とし、その面積を控除する。

塗 替 塗 装 工 (参考図) nonScale
(Rc-II 塗装系)

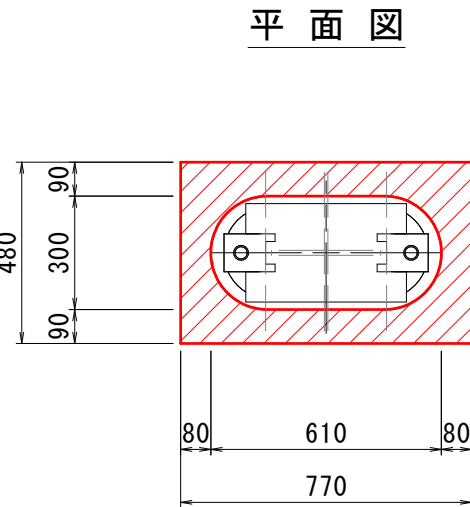


凡 例
今回施工箇所 (車道橋 1径間)

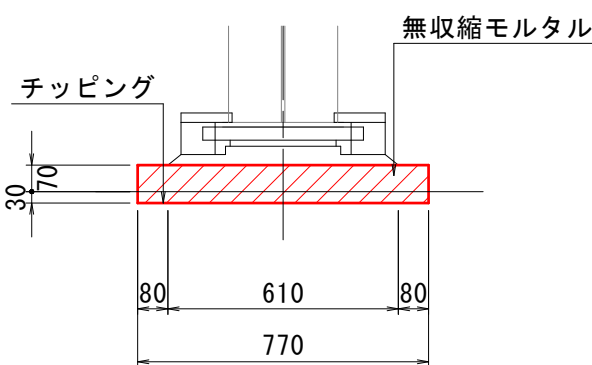
沓座モルタル打替工 S=1:20

主 桁 支 承
N=23箇所

支 承：1, 2, 3, 5, 6, 8, 9, 10, 12, 13, 14, 15
16, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 27, 28

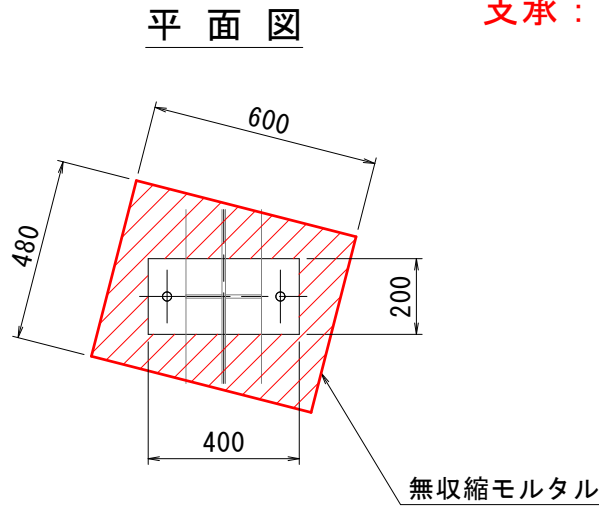


正 面 図

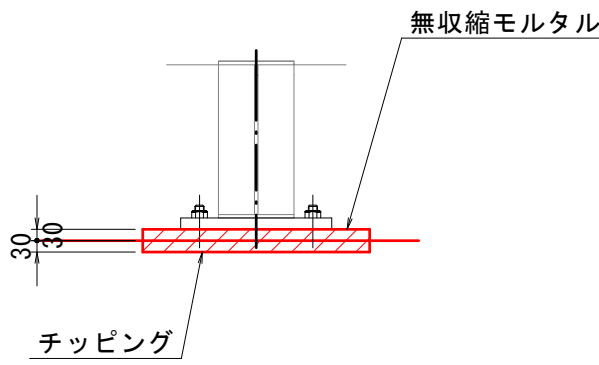


桁 支 承
(N=2箇所)

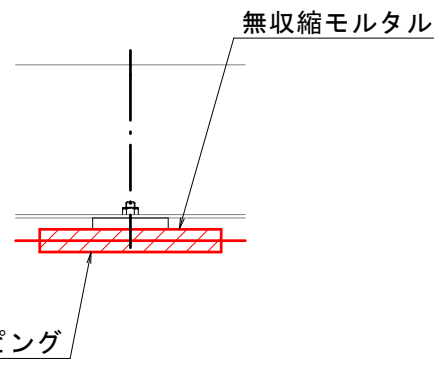
支 承：31, 32



正 面 図

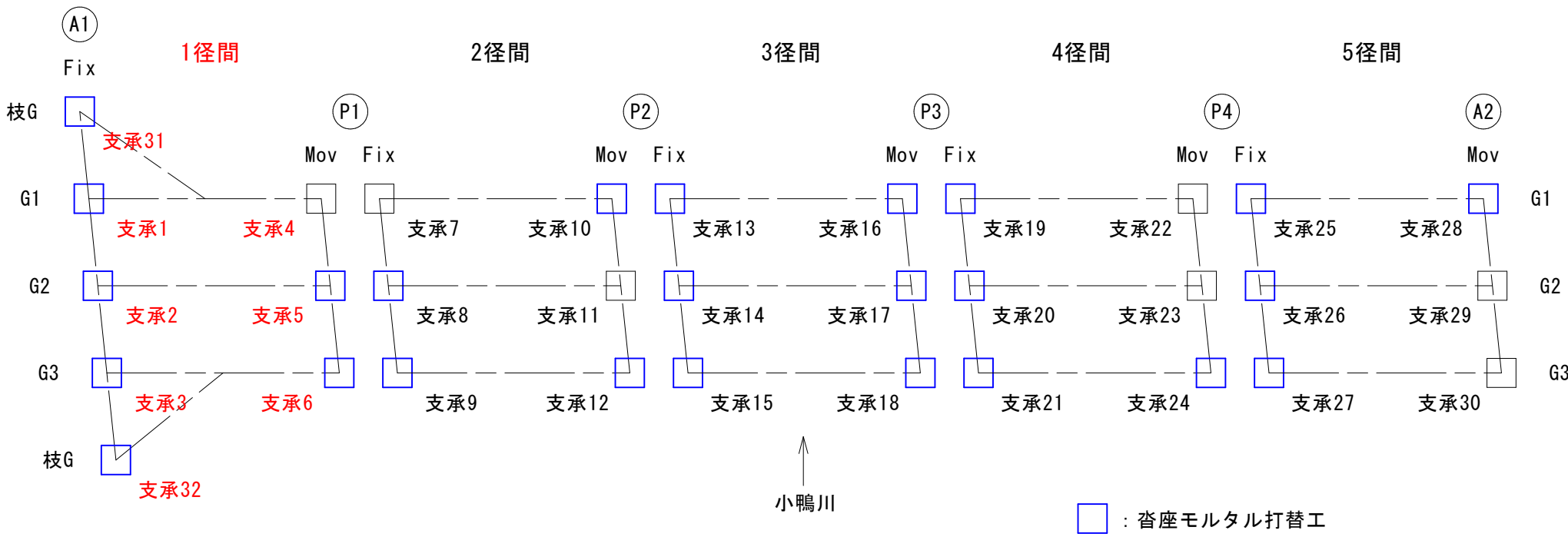


側 面 図



※寸法は現地に合わせて調整すること。
支承直下をはつり取らないこと。

支 承 位 置 図



08 公 共 実 施 設 計

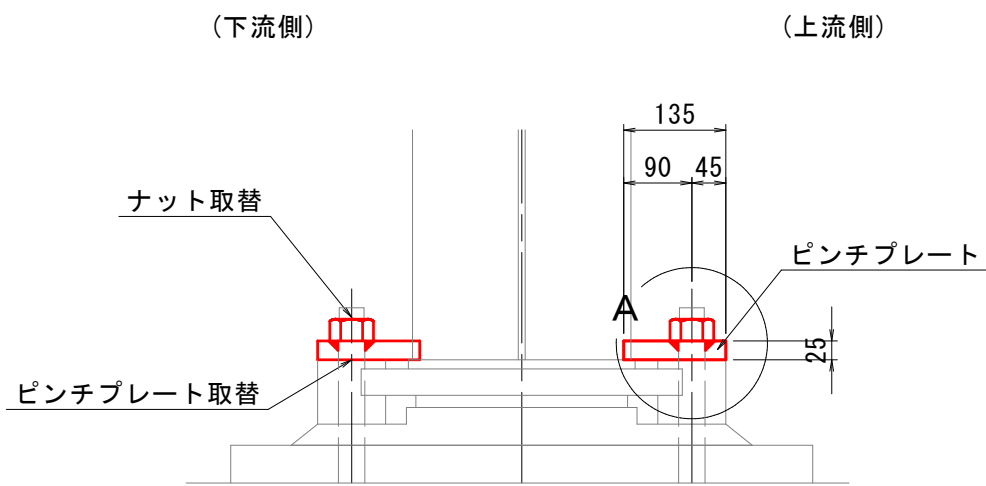
路 線 名	一般県道 巖城上灘線
工 事 名	県道巖城上灘線 (巖城町外) 外橋梁補修工事 (2工区) (補助)
図 名	支承補修図 (1/2)
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮 尺	図 示 単 位 MM
図 号	全 22 葉中の内 16
令 和 8 年度施行	鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

支承補修図(2/2)

部材取替工

ピンチプレート取替工

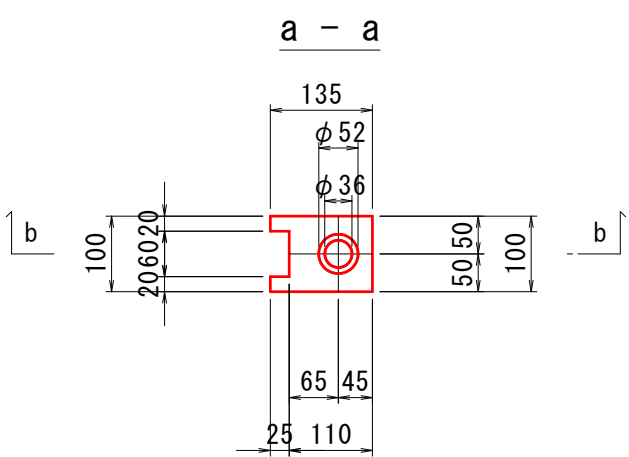
支承正面図 S=1:10



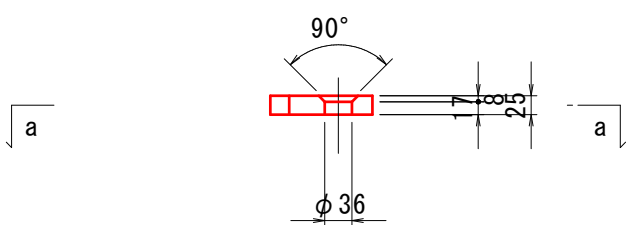
ピンチプレート（A形状） S=1:10

PL-100×135×25(SM490A)

支承：1, 2, 3, 5, 14, 16, 20, 26, 29



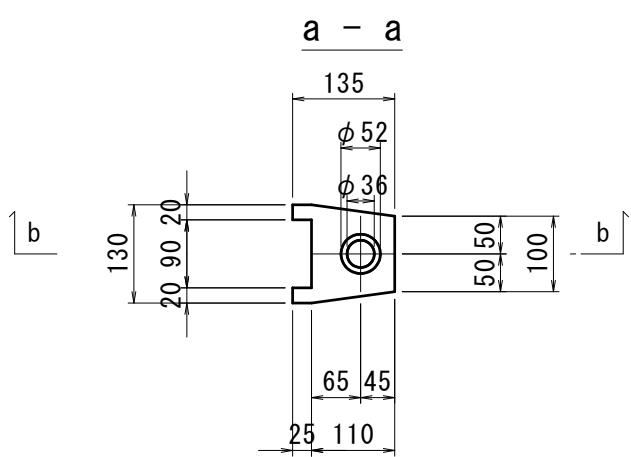
b - b



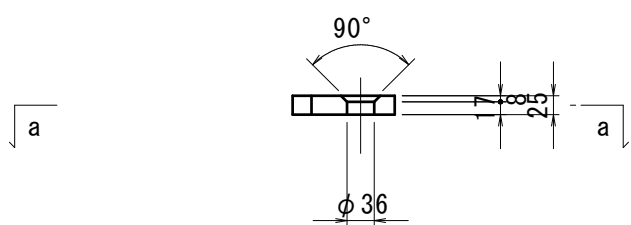
ピンチプレート（B形状） S=1:10

PL-130×135×25(SM490A)

支承：11, 17, 18, 23, 24



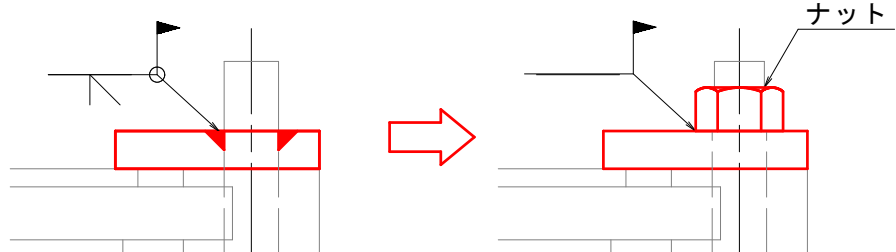
b - b



A部詳細図 S=1:5

1. ピンチプレート取付

2. ナット取付



1. ネジ山が腐食したアンカーボルトには溶接にてピンチプレートを取り付ける。(全周溶接)

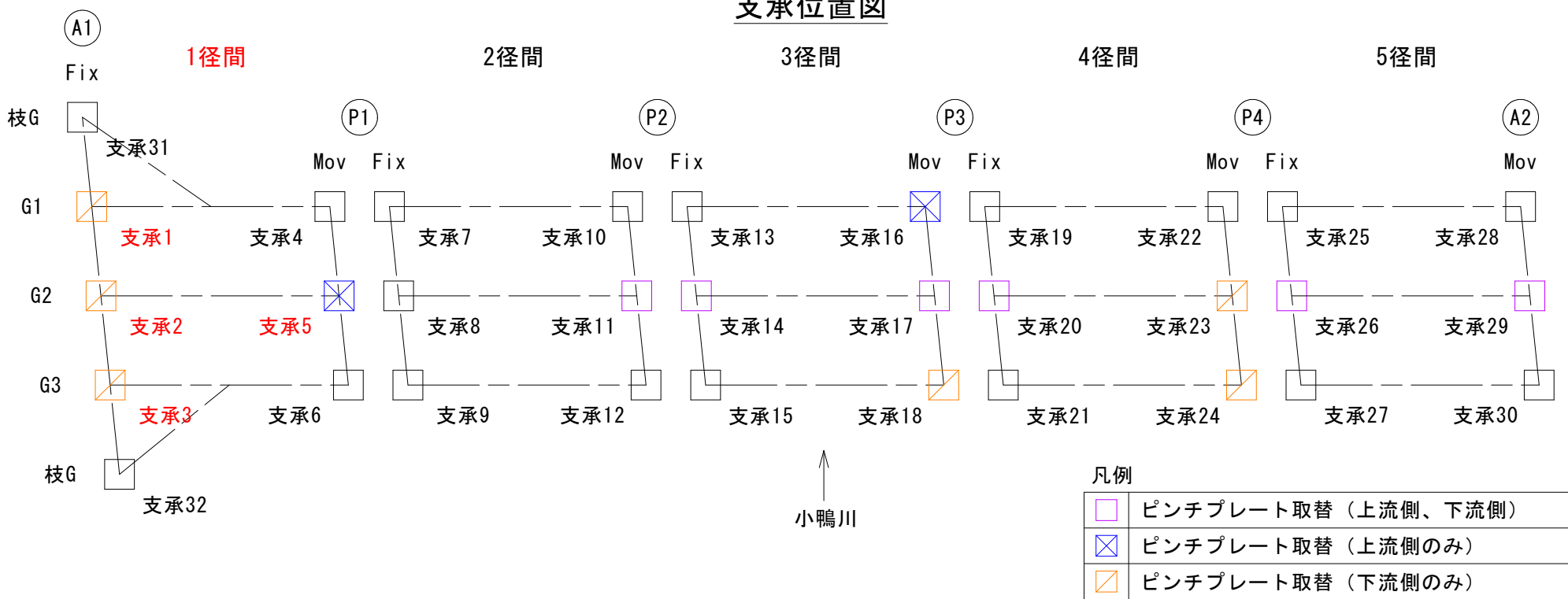
2. ナットを溶接する。(点付け溶接程度)

注) ピンチプレートの取り外し時にアンカーボルトを損傷させないように注意すること。

材料表

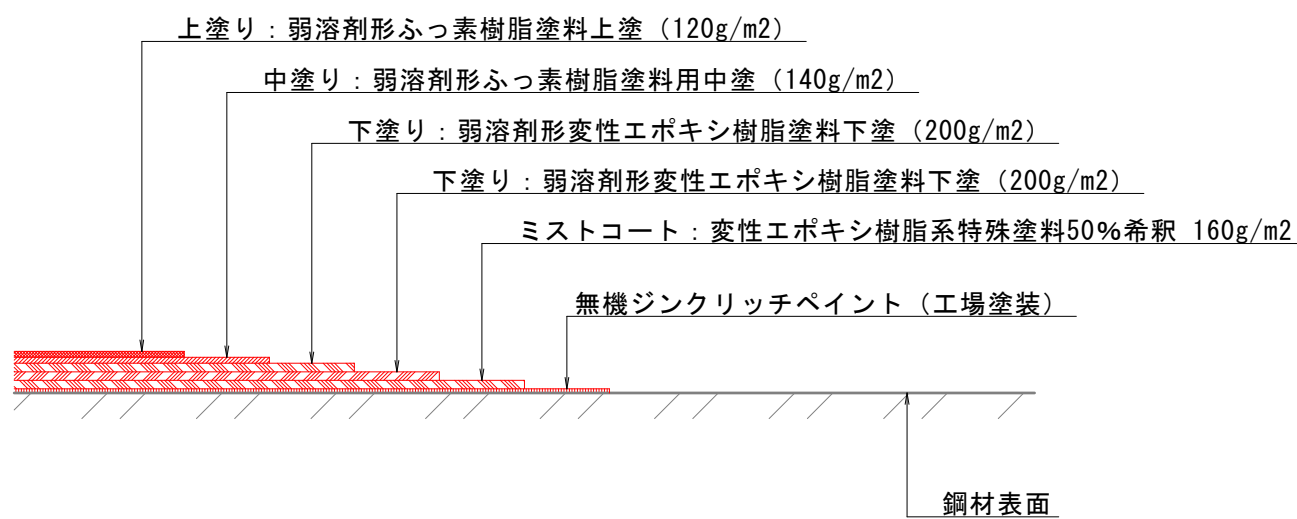
材 料 表		規 格	単位	1径間				2径間		3径間				4径間		5径間		計
				A1橋台			P1橋脚	P2橋脚		P3橋脚		P3橋脚	P4橋脚		P4橋脚			
				G1	G2	G3	A1側	P1側	P3側	P2側		P4側	P3側		A2側	A2橋台		
										G1	G2		G3	G2			G3	
ピンチプレート (A形状)		SM490A, t=25mm, 100×135	枚	1	1	1	1	-	2	1	-	-	2	-	-	2	2	13
ピンチプレート (B形状)		SM490A, t=25mm, 130×135	枚	-	-	-	-	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	7
ナット		M33用	個	1	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	1	2	2	20

支承位置図



塗替塗装工(参考図)

(Rc-II 塗装系：新規部材)



注)
・鋼材は製作工場にて無機ジンクリッチペイント処理を施すこと。(F-11相当)
・鋼材製作前に現地を計測し、寸法を確認、調整すること。
・既設支承は十分に錆びを除去すること。

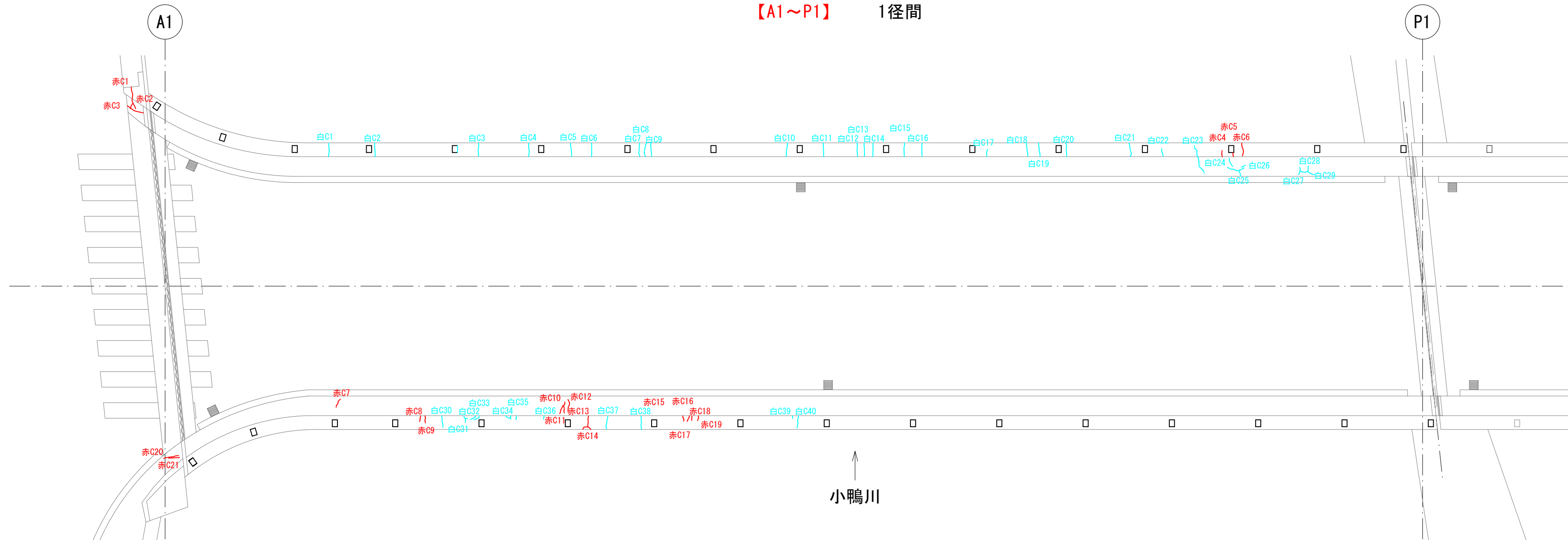
08 公共 実施設計

巖城橋 車道橋			
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線(巖城郡岩手町)外環状バイパス工事 (2工区) (補助)		
図 名	支承補修図(2/2)		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22	葉中の内	17
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

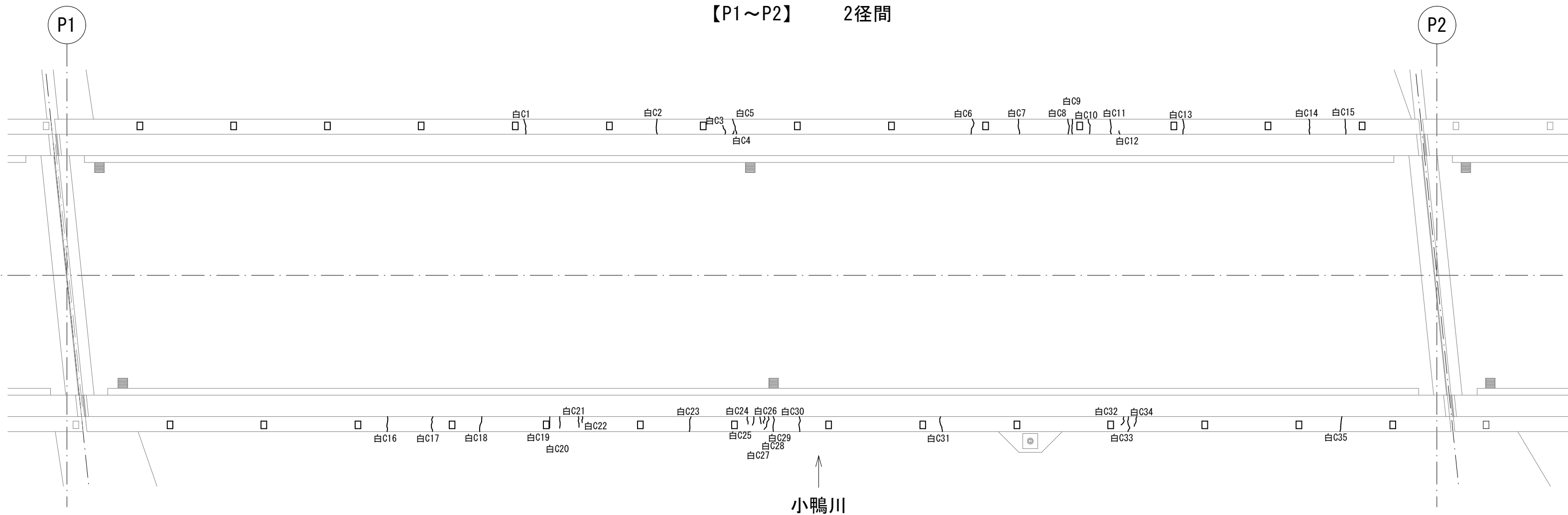
橋面補修図（1/4）

平面図（橋面） S=1:100

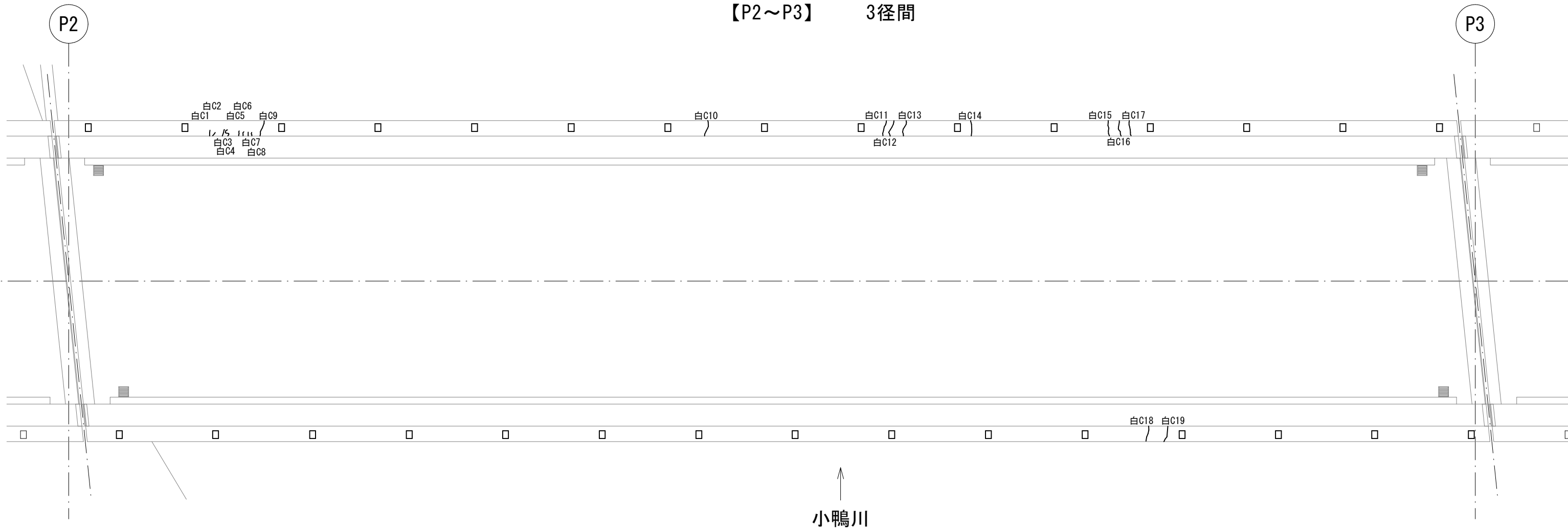
【A1～P1】 1径間



【P1～P2】 2径間



【P2～P3】 3径間



補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 1径間（A1-P1）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
地覆下流	白C1	0.5	0.40		地覆上流	白C32	0.8	0.20	
	白C2	0.5	0.40			白C33	0.8	0.20	
	白C3	0.7	0.40			白C34	0.7	0.25	
	白C4	0.5	0.40			白C35	0.7	0.10	
	白C5	0.5	0.40			白C36	0.5	0.10	
	白C6	0.8	0.40			白C37	0.5	0.40	
	白C7	0.7	0.40			白C38	0.5	0.40	
	白C8	0.8	0.40			白C39	0.5	0.10	
	白C9	0.6	0.40			白C40	0.7	0.35	
	白C10	0.6	0.40		地覆下流	赤C1	1.2	0.65	
	白C11	0.6	0.40			赤C2	1.2	0.20	
	白C12	0.5	0.40			赤C3	1.2	0.50	
	白C13	0.5	0.40			赤C4	1.2	0.20	
	白C14	0.6	0.40			赤C5	1.2	0.10	
	白C15	0.6	0.40			赤C6	1.2	0.40	
	白C16	0.8	0.40			赤C7	1.2	0.30	
	白C17	0.6	0.20			赤C8	1.1	0.20	
	白C18	0.8	0.40			赤C9	1.5	0.20	
	白C19	0.8	0.40		地覆上流	赤C10	1.0	0.40	
	白C20	0.8	0.40			赤C11	1.0	0.25	
	白C21	0.8	0.40			赤C12	1.0	0.40	
	白C22	0.6	0.25			赤C13	1.5	0.30	
	白C23	0.5	0.90			赤C14	1.5	0.30	
	白C24	0.5	0.25			赤C15	1.5	0.20	
	白C25	0.5	0.70			赤C16	1.2	0.15	
	白C26	0.5	0.10			赤C17	1.2	0.20	
	白C27	0.5	0.20			赤C18	1.2	0.15	
	白C28	0.5	0.40			赤C19	1.2	0.15	
地覆上流	白C29	0.5	0.25			赤C20	1.5	0.45	
	白C30	0.8	0.35			赤C21	1.5	0.30	
	白C31	0.5	0.30			合計		20.0m	

注）平均ひび割れ幅0.6mm

注）赤Cとは、ひび割れ幅が1.0mm以上の箇所を示している。

補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 2径間（P1-P2）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
地覆下流	白C1	0.3	0.40		地覆上流	白C19	0.5	0.30	
	白C2	0.5	0.40			白C20	0.5	0.30	
	白C3	0.6	0.25			白C21	0.6	0.30	
	白C4	0.6	0.10			白C22	0.6	0.15	
	白C5	0.6	0.40			白C23	0.5	0.40	
	白C6	0.6	0.40			白C24	0.6	0.20	
	白C7	0.5	0.40			白C25	0.6	0.25	
	白C8	0.6	0.40			白C26	0.5	0.20	
	白C9	0.6	0.40			白C27	0.5	0.20	
	白C10	0.5	0.40			白C28	0.5	0.40	
	白C11	0.5	0.40			白C29	0.5	0.40	
	白C12	0.5	0.10			白C30	0.8	0.40	
	白C13	0.3	0.40			白C31	0.5	0.40	
	白C14	0.4	0.40			白C32	0.5	0.25	
	白C15	0.5	0.40			白C33	0.5	0.40	
	白C16	0.5	0.40			白C34	0.5	0.30	
	白C17	0.7	0.40			白C35	0.5	0.40	
地覆上流	白C18	0.5	0.40			合計		11.3m	

注）平均ひび割れ幅0.5mm

補修数量表（橋面）

ひびわれ注入工 3径間（P2-P3）

部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考	部材	番号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
地覆下流	白C1	0.6	0.15		地覆上流	白C11	0.5	0.40	
	白C2	0.6	0.10			白C12	0.6	0.45	
	白C3	0.6	0.20			白C13	0.6	0.40	
	白C4	0.6	0.25			白C14	0.5	0.40	
	白C5	0.4	0.15			白C15	0.5	0.40	
	白C6	0.4	0.10			白C16	0.5	0.40	
	白C7	0.4	0.10			白C17	0.5	0.40	
	白C8	0.4	0.10			白C18	0.5	0.40	
	白C9	0.4	0.40			白C19	0.5	0.40	
	白C10	0.6	0.40			合計		5.6m	

注）平均ひび割れ幅0.5mm

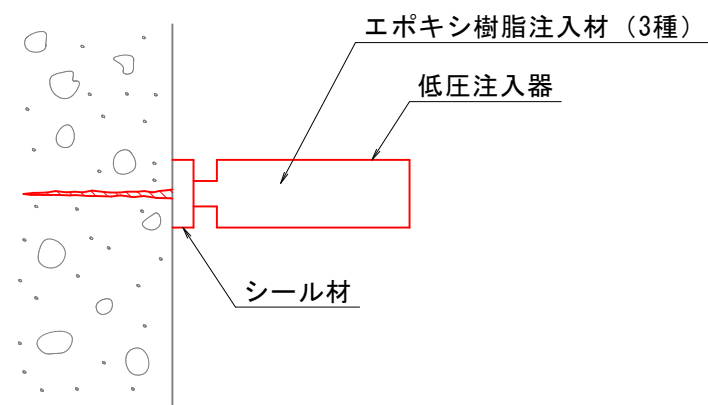
ひび割れ注入材：上部工…エポキシ樹脂注入材 3種

凡 例		
表 示	種 別	数 量
	ひび割れ注入工（幅0.2～1.0mm未満）	30.9 m
	ひび割れ注入工（幅1.0mm以上）	6.0 m

ひび割れ注入工

（低圧注入工法）

NonScale



※ 低圧注入器の取付ピッチは300mmを標準とする。
※ 注入深さは50mm程度を見込んでいる。
※ ケレン作業後、ひび割れ幅が0.2mm以上は補修対象とする。

08 公共 実施設計

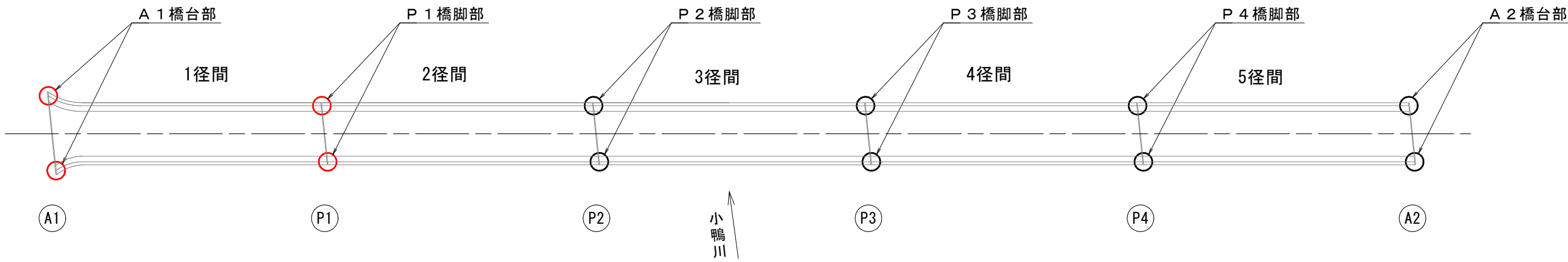
巖城橋 車道橋 1径間

路 線 名	一般県道 巖城上灘線
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城橋歩道橋）外橋梁補修工事（2工区）（補助）
図 名	橋面補修図（1/4）
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町
縮 尺	図 示 単 位 MM
図 号	全 22 葉中の内 18
令和 8 年度施行	鳥 取 県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

遊間部補修図（1/2）

遊間止水工 簡易排水装置（参考図）

補修位置図



【遊間止水工 数量表】

■ A1 数量表

項 目	規 格	単位	数量	備 考
簡易排水装置	橋台用 1 連 (1V)	個	1	TKH-1V、固定金具含む
簡易排水装置	橋台用 2 連 (1H、2VC)	個	1	TKH-1H、TKH-2VC、固定金具含む
導水パネル	L=1020	個	3	固定金具含む
橋台用主桁パネル	L=800(スリット無し)	個	1	固定金具含む
ブリッジパイプ	φ100、PE	m	8	4m×2本
ワイヤーバンド	φ100、SUS	個	2	
サドルバンド	φ100、SUS	個	6	M6アンカーボルト含む
水切り	ポリ塩化ビニル	m	4	定尺1m
水切り用接着テープ	L=10000	個	1	10m巻
プライマー	ウレタン系下塗り剤	缶	1	容量：150g

■ A2 数量表

項 目	規 格	単位	数量	備 考
簡易排水装置	橋台用 1 連 (1V)	個	2	TKH-1V、固定金具含む
導水パネル	L=1020	個	2	固定金具含む
ブリッジパイプ	φ100、PE	m	8	4m×2本
ワイヤーバンド	φ100、SUS	個	2	
サドルバンド	φ100、SUS	個	6	M6アンカーボルト含む
水切り	ポリ塩化ビニル	m	2	定尺1m
水切り用接着テープ	L=10000	個	1	10m巻
プライマー	ウレタン系下塗り剤	缶	1	容量：150g

■ P1 数量表（P2、P3、P4も同数）

項 目	規 格	単位	数量	備 考
簡易排水装置	橋脚用 1 連 (1V)-T	個	2	TKH-1V、固定金具含む
導水パネル	L=1020	個	4	固定金具含む
ブリッジパイプ	φ100、PE	m	8	4m×2本
ワイヤーバンド	φ100、SUS	個	2	
サドルバンド	φ100、SUS	個	4	M6アンカーボルト含む
水切り	ポリ塩化ビニル	m	4	定尺1m
水切り用接着テープ	L=10000	個	1	10m巻
プライマー	ウレタン系下塗り剤	缶	1	容量：150g
落下防止ワイヤー	6×24、6mm	式	2	ワイヤー、固定金具含む

注）簡易排水装置は、NETIS登録番号：KT-100033-VE（旧登録）同等品とする
注）簡易排水装置本体はコンクリート面にボルト、ナットで締結して固定する
注）排水管はサドルバンドを用いて固定し、任意の位置まで配管する
注）排水管は橋構造物の影響の無い場所まで配管するものとし、配管経路は現場合せとする
注）アンカーボルト打設箇所のコンクリート強度は21N/mm2以上とする
注）装置内には、土・ゴミ等が堆積しないように定期的にメンテナンスを実施すること
注）パネル加工は、施工時に適宜調整とする
注）現地に寸法計測を行い、現地状況確認の上で補修数量および施工方法を決定する

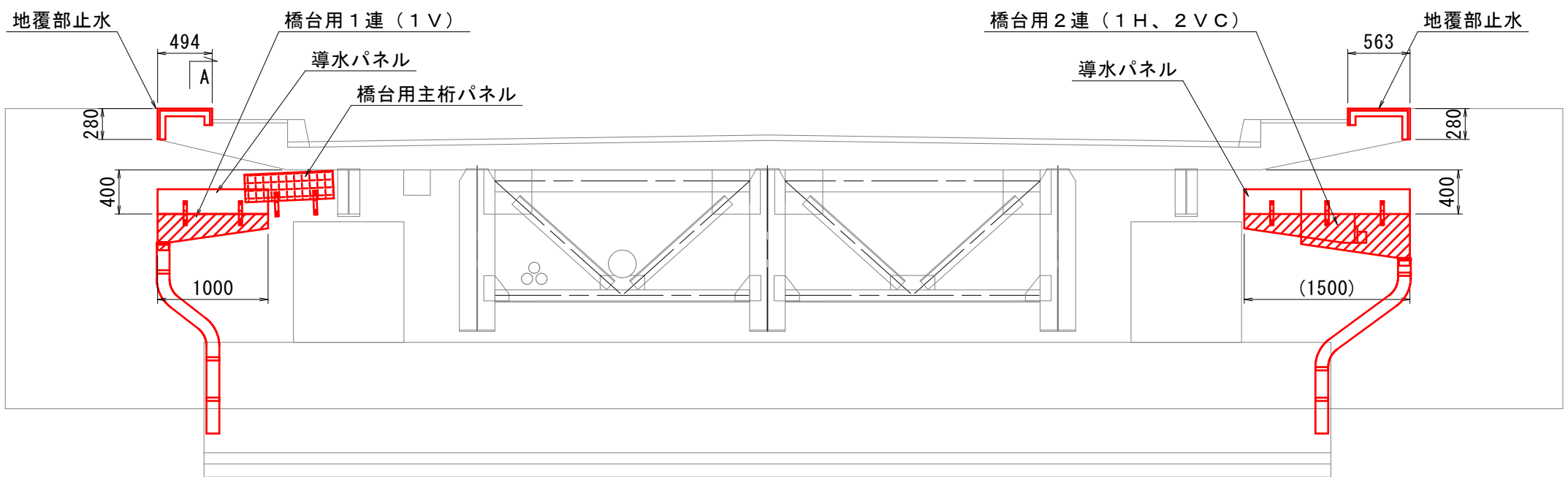
凡 例

今回施工箇所（車道橋 1径間）

A 1 橋台部

S=1:50

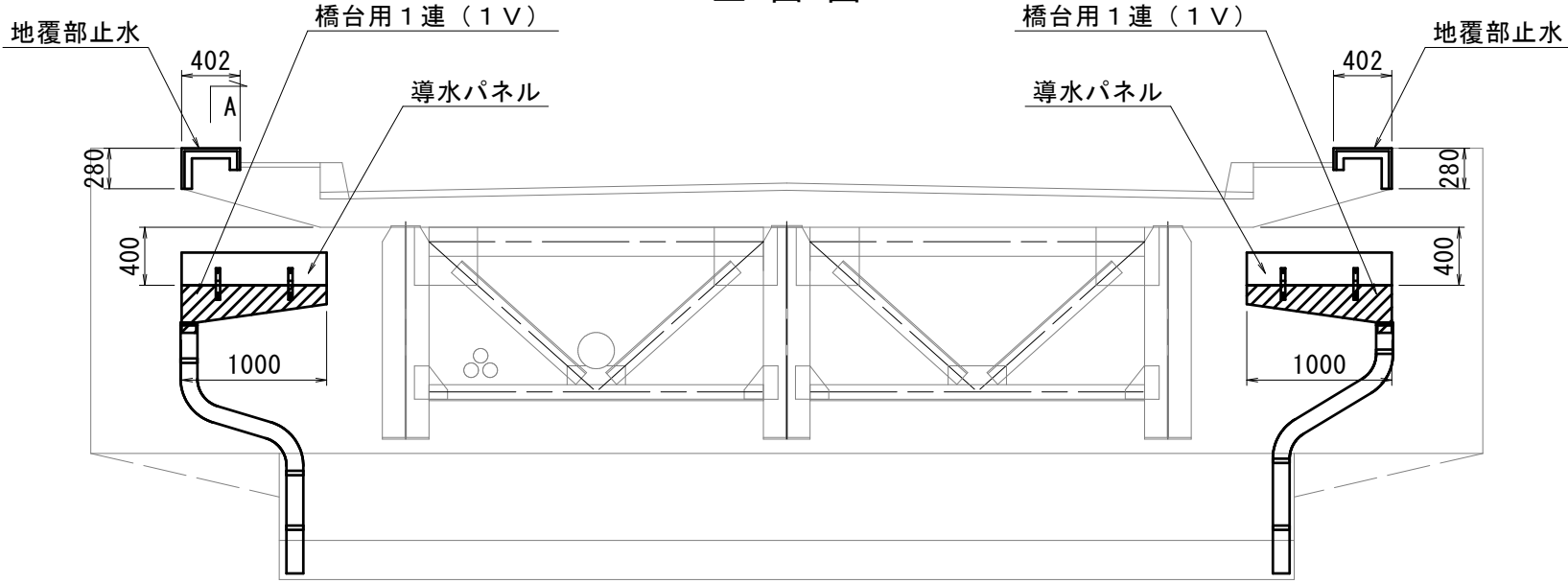
正 面 図



A 2 橋台部

S=1:50

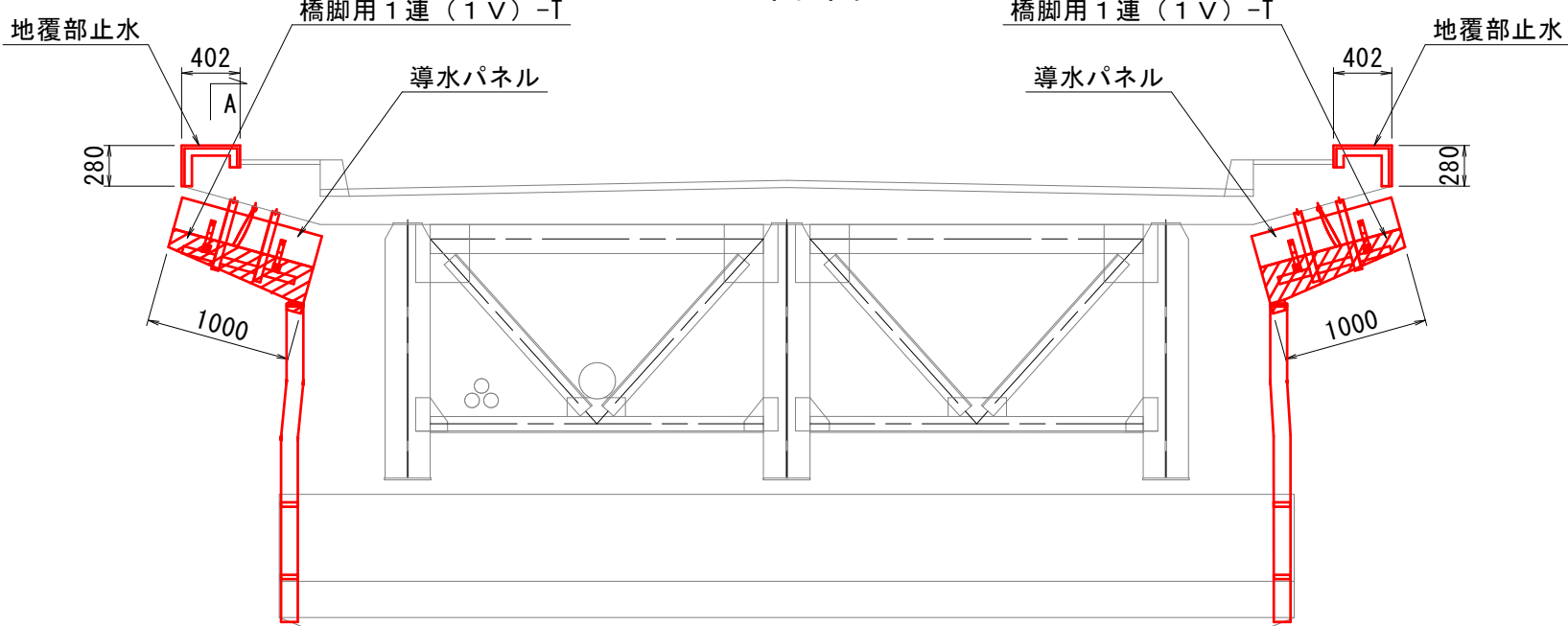
正 面 図



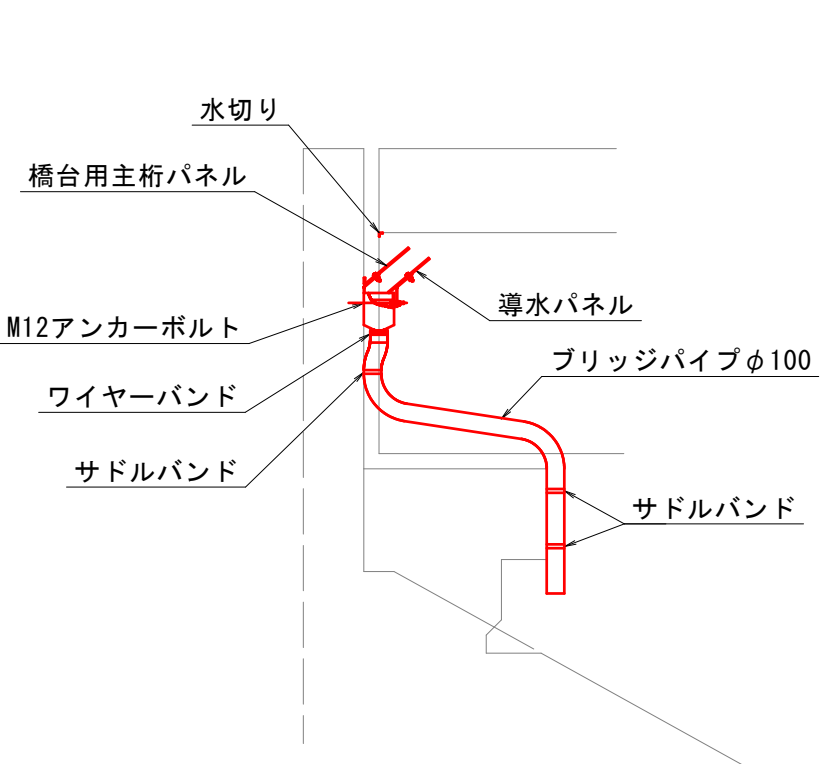
P 1 ～ P 4 橋脚部

S=1:50

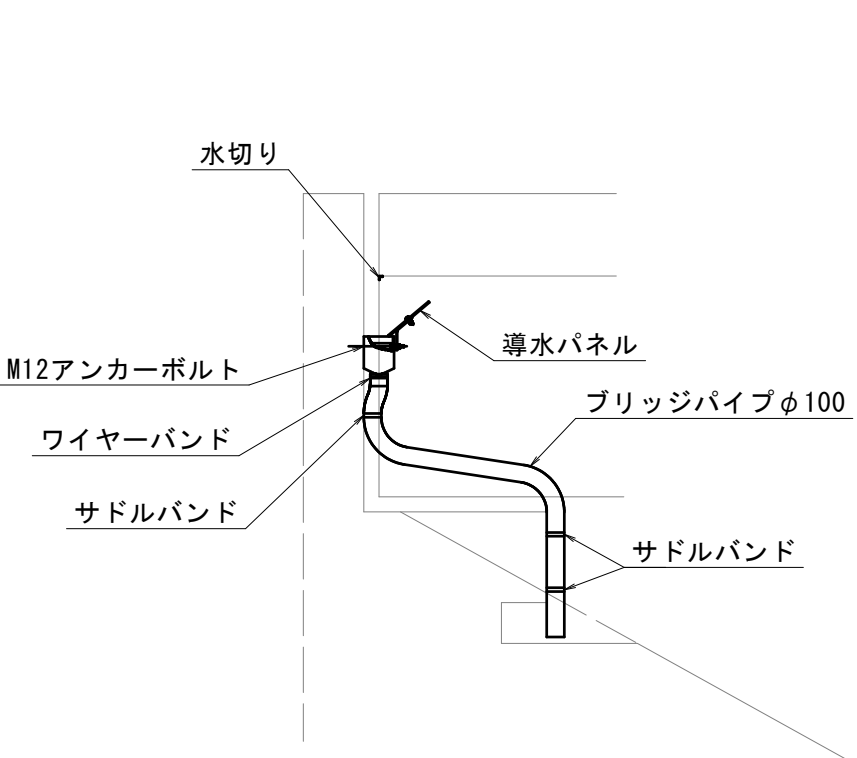
正 面 図



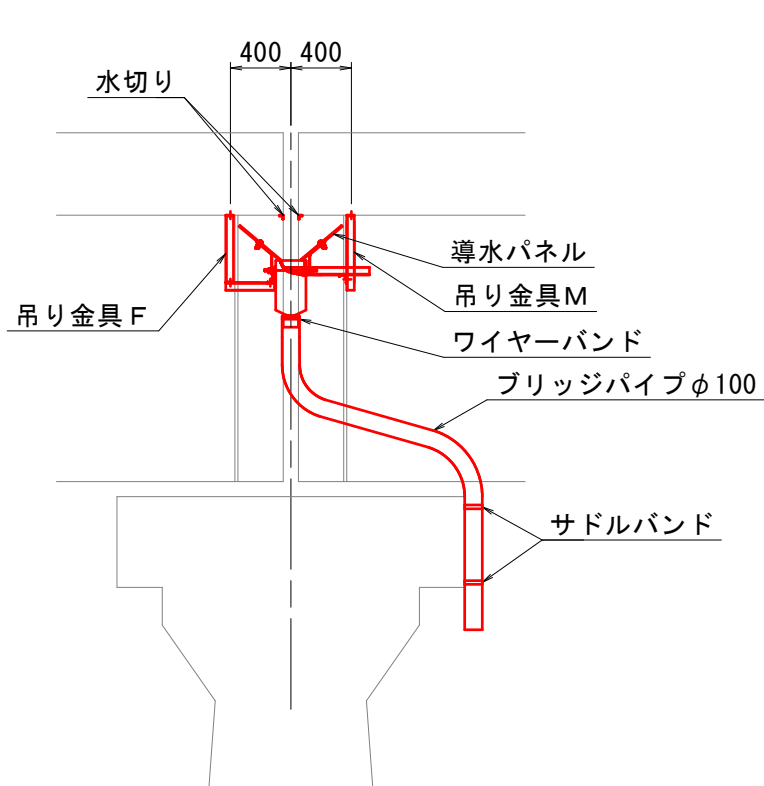
側面図（A-A断面）



側面図（A-A断面）



側面図（A-A断面）



08 公共 実施設計

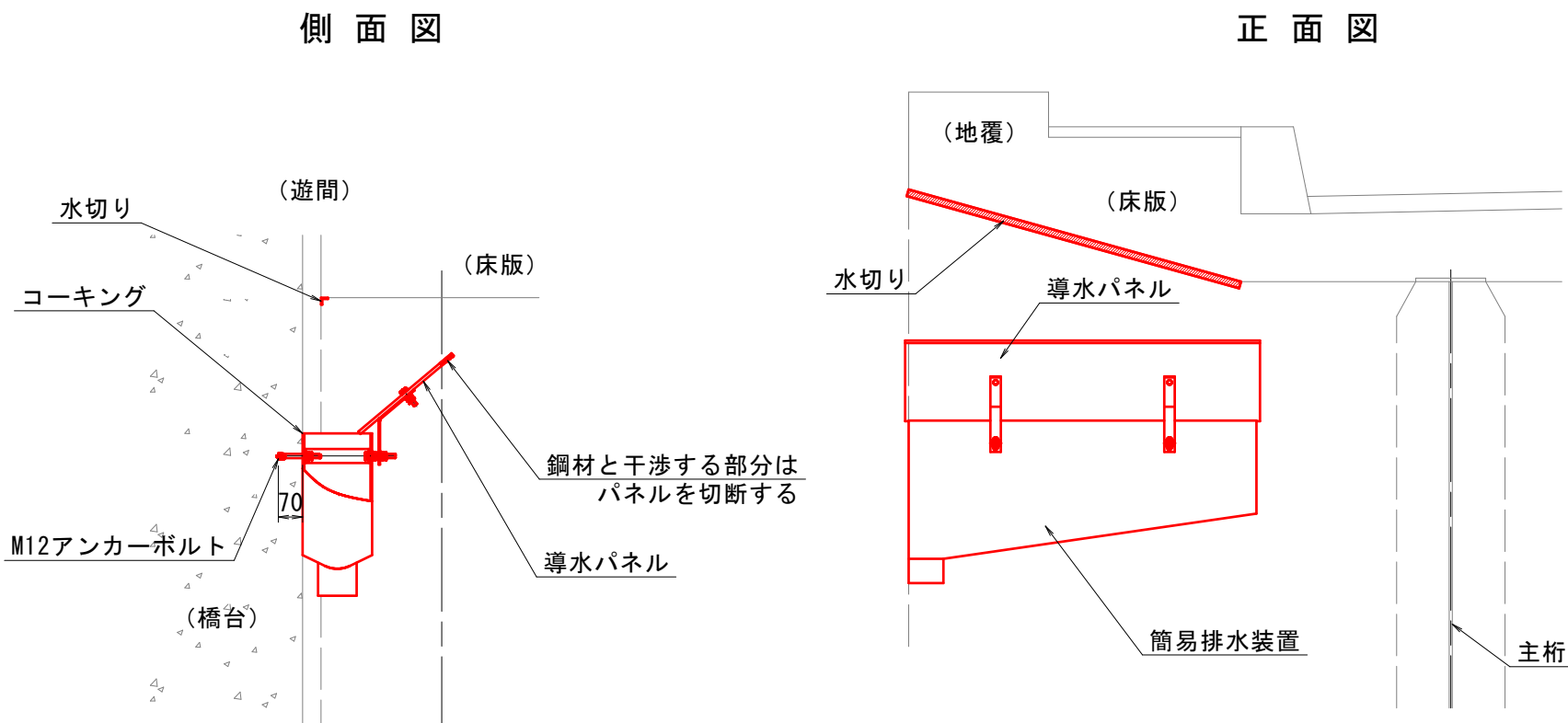
巖城橋 車道橋

路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城郡歩道橋）外環状補修工事 (2工区) (補助)		
図 名	遊間部補修図 (1/2)		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22 葉中の内 19		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

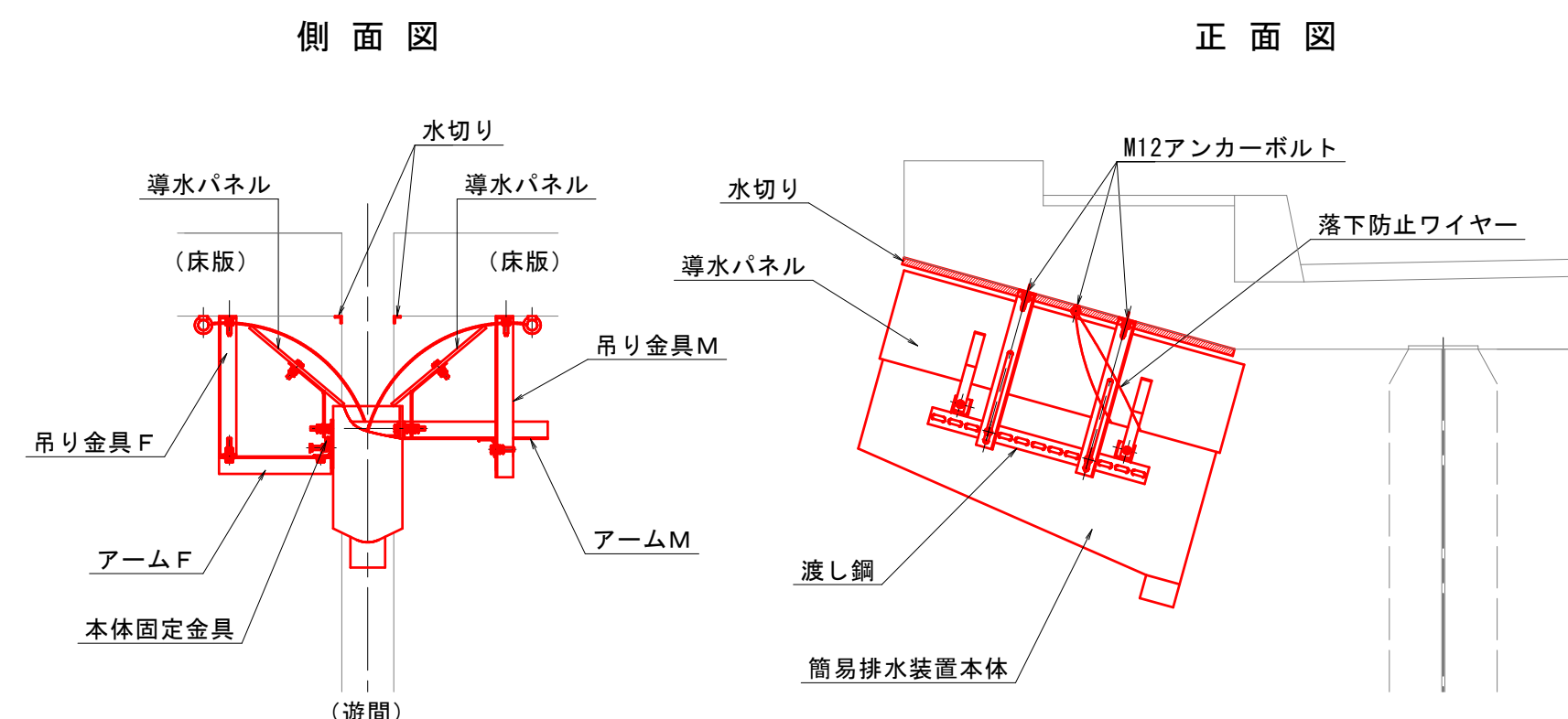
遊間部補修図（2/2）

遊間止水工 簡易排水装置（参考図）

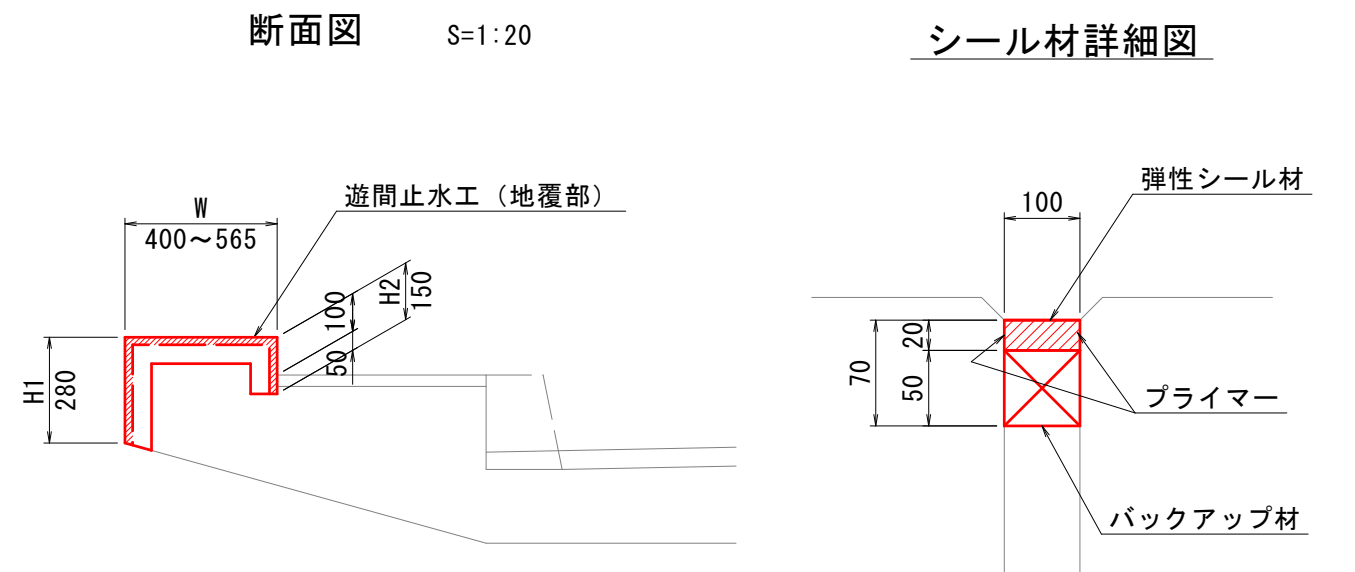
簡易排水装置 設置標準図
（橋台部） S=1:20



簡易排水装置 設置標準図
（橋脚部：吊下げ方式） S=1:20



地覆部止水



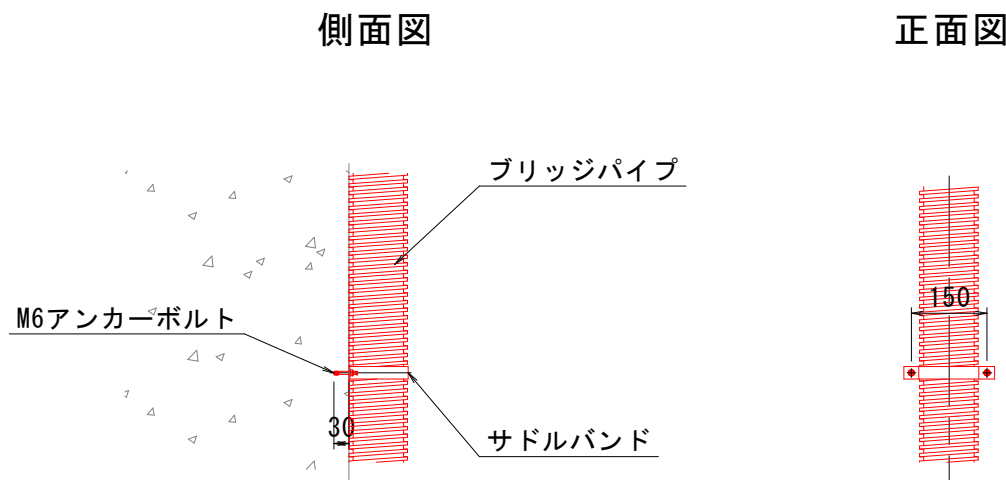
補修数量表（遊間）
地覆止水

位 置		長さ (m)				合計
		W	H1	H2	小計	
A1橋台	下流側	0.565	0.28	0.15	0.995	(3.58m)
	上流側	0.495	0.28	0.15	0.925	
P1橋脚	下流側	0.40	0.28	0.15	0.83	10.22
	上流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
P2橋脚	下流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
	上流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
P3橋脚	下流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
	上流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
P4橋脚	下流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
	上流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
A2橋台	下流側	0.40	0.28	0.15	0.83	
	上流側	0.40	0.28	0.15	0.83	

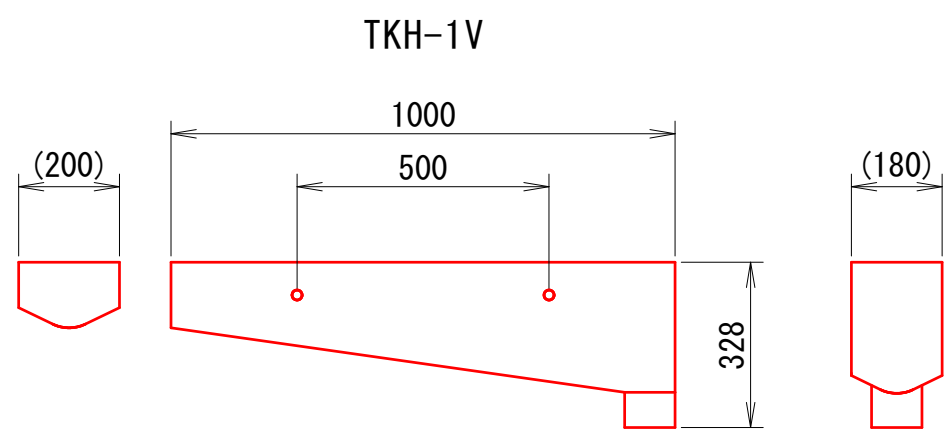
材料表 100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
弾性シール材		リットル	240
バックアップ材		リットル	500

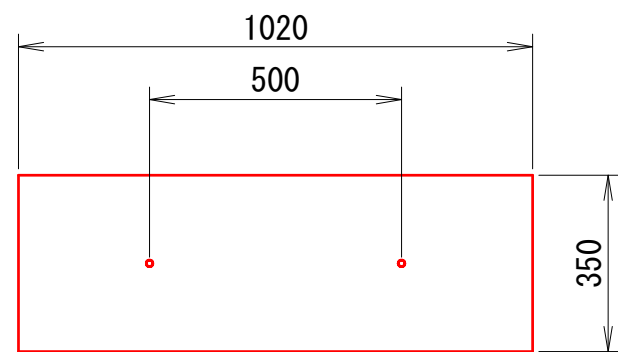
サドルバンド詳細図 S=1:15



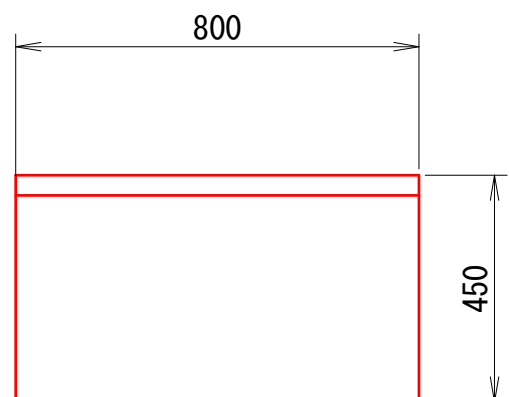
簡易排水装置 1連（1V） S=1:15
（材質：ポリエチレン）



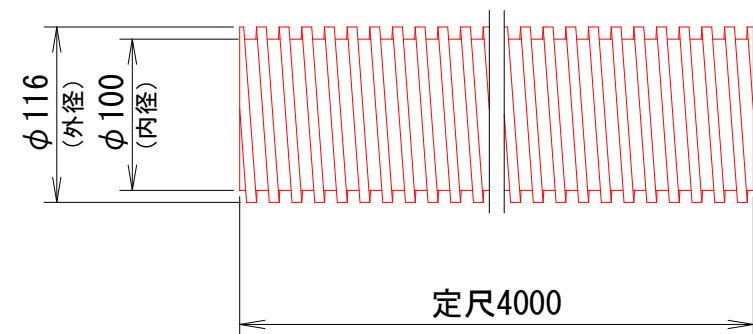
導水パネル S=1:15
（材質：ポリプロピレン）



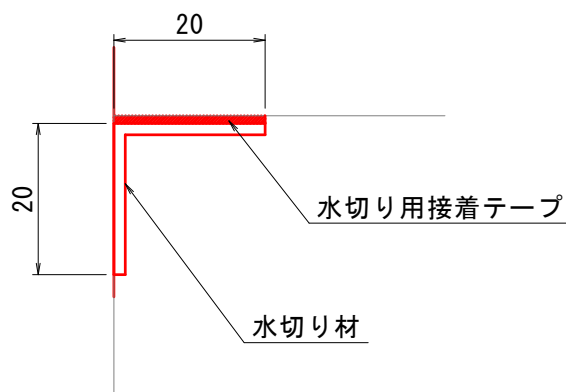
橋台用主桁パネル S=1:15
スリット無し
（材質：ポリプロピレン）



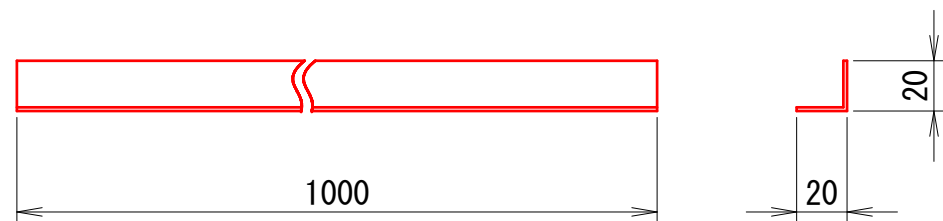
ブリッジパイプ S=1:5
（材質：ポリエチレン）



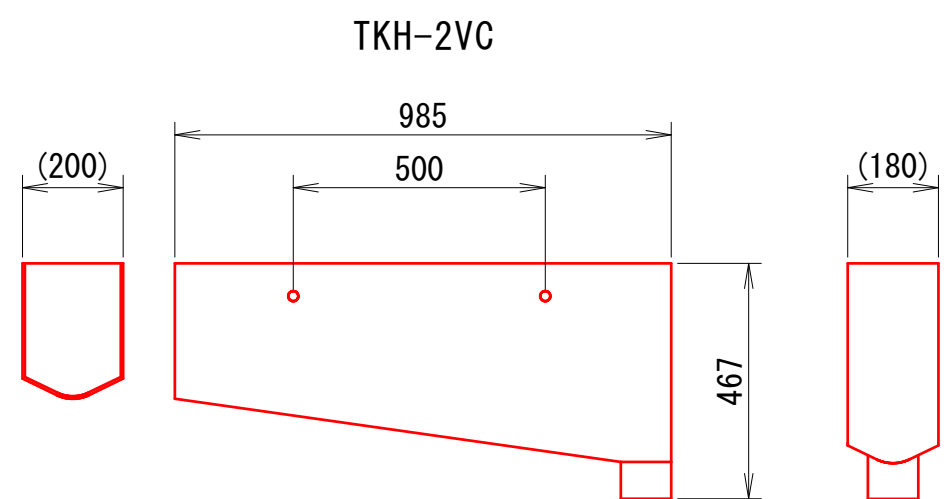
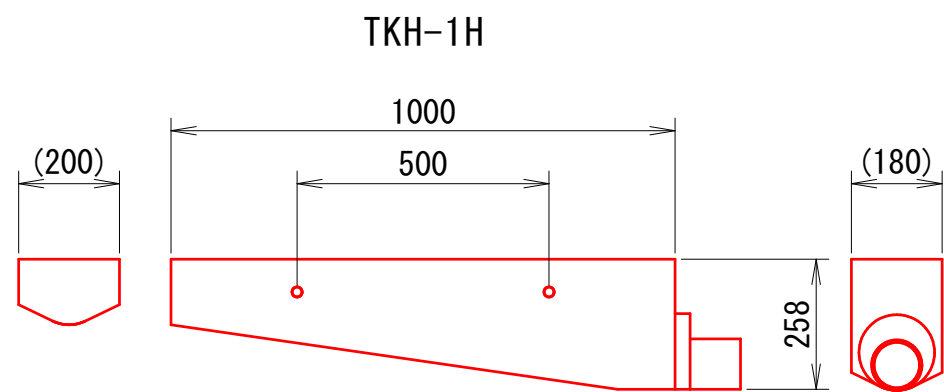
水切り詳細図 S=1:1



水切り材 S=1:3
（材質：ポリ塩化ビニル）



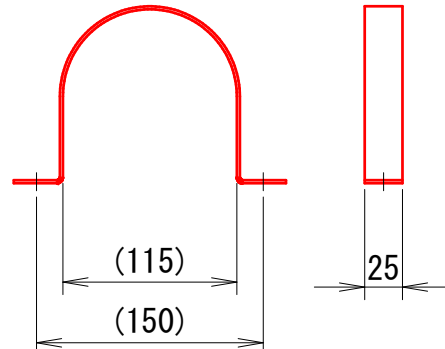
簡易排水装置 2連（1H・2VC） S=1:15
（材質：ポリエチレン）



ワイヤーバンド S=1:5
（材質：SUS）



サドルバンド S=1:5
（材質：SUS）



注：現地調査により必要な場合は現場合わせで部材加工を行う事がある

凡 例
□ 今回施工箇所（車道橋 1径間）

08 実施設計

巖城橋		車道橋	
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城歩道橋）外構修繕工事 （2区）（補助）		
図 名	遊間部補修図（2/2）		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22	葉中の内	20
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

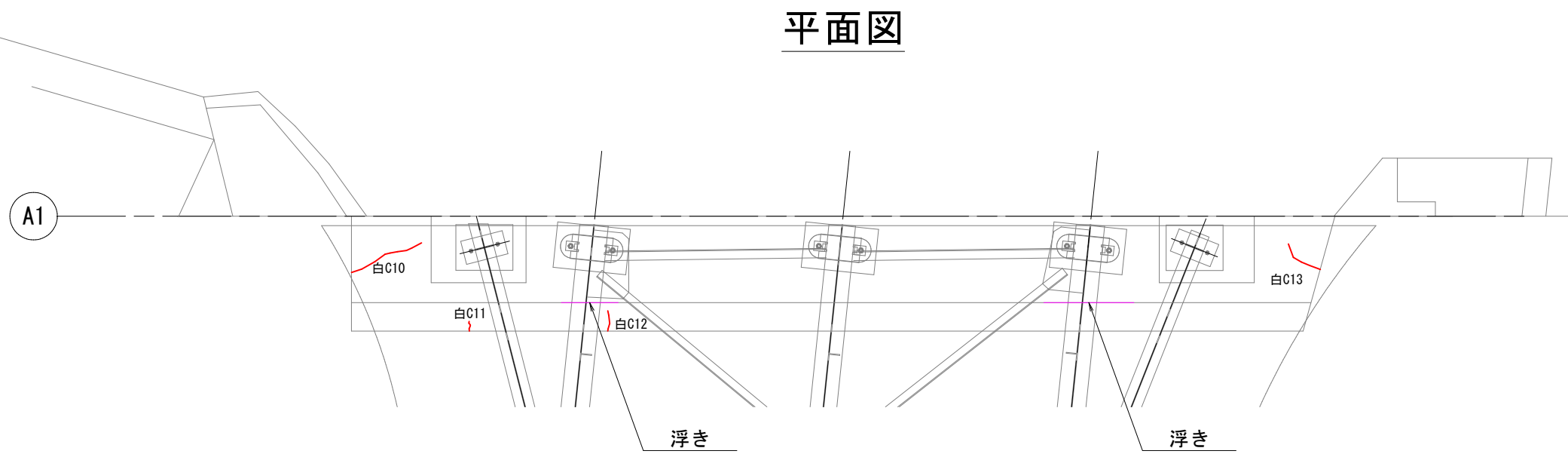
橋台補修図

S=1：60

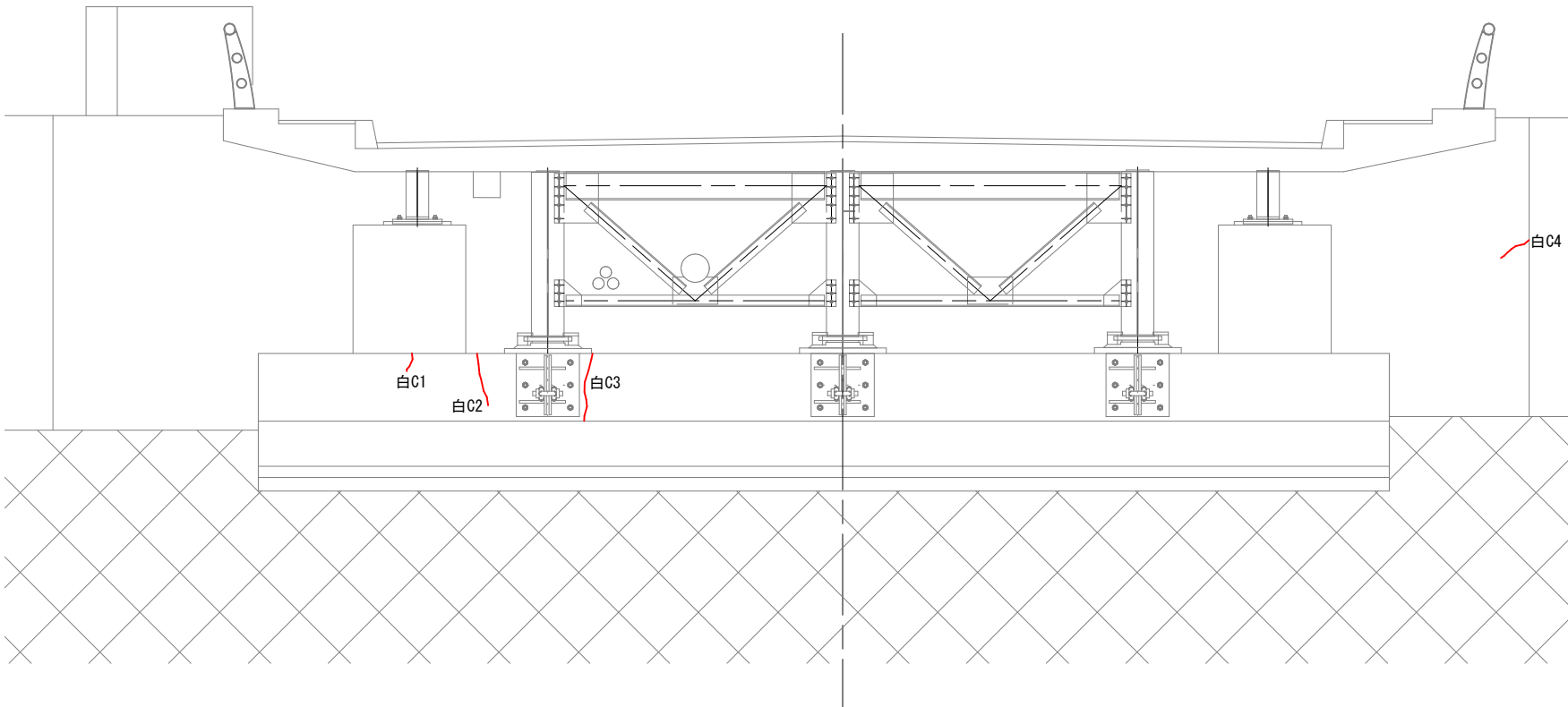
ひび割れ注入工

A 1 橋台 1 径間

平面図

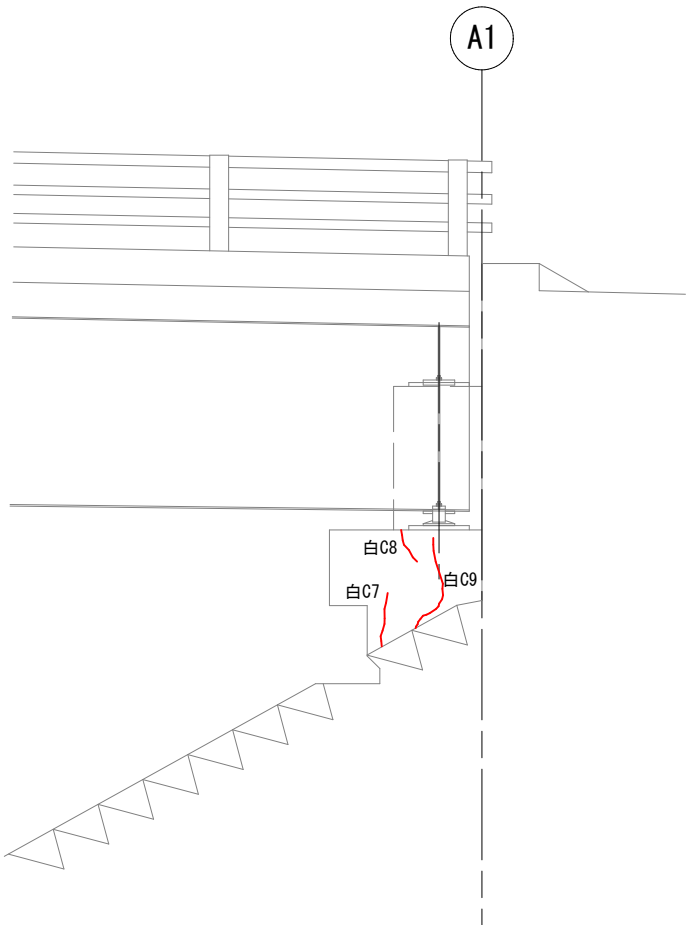


正面図



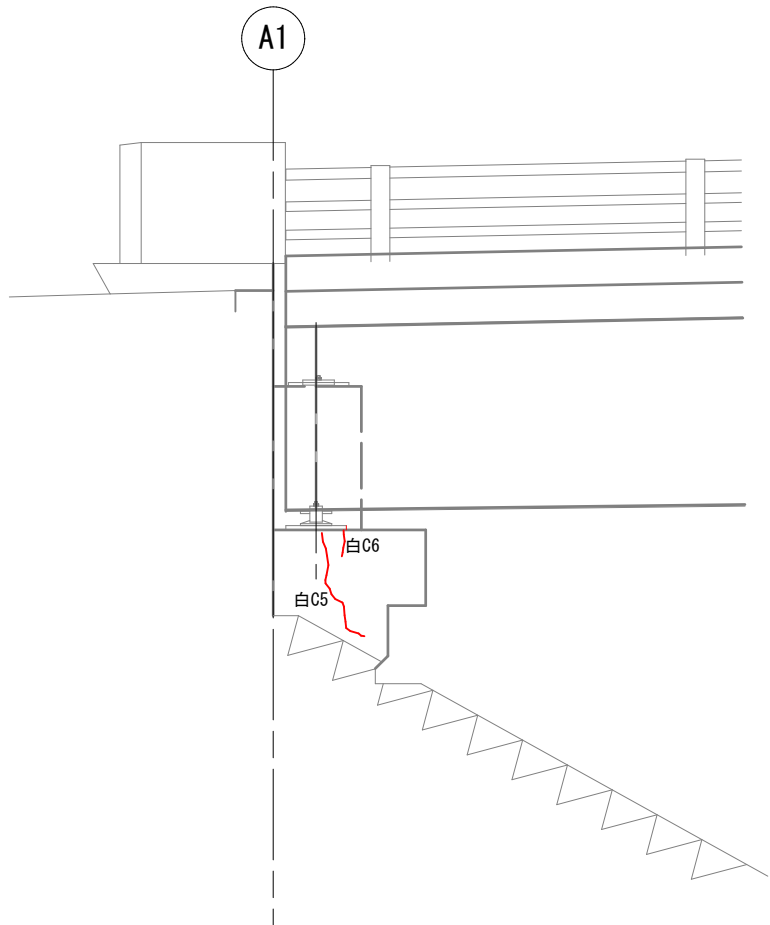
側面図

(下流側)



側面図

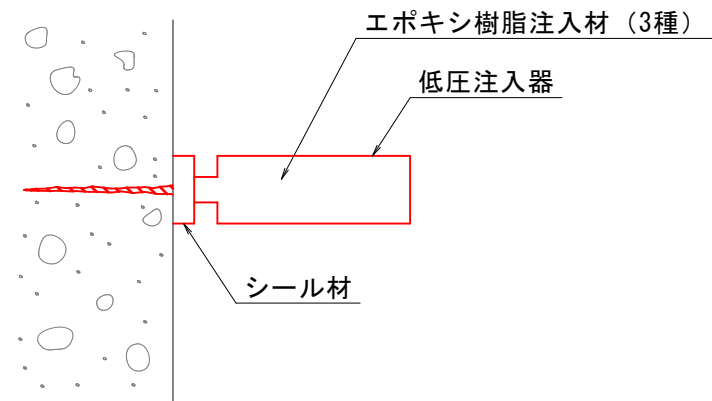
(上流側)



ひび割れ注入工

NonScale

(低圧注入工法)



- ※ 低圧注入器の取付ピッチは300mmを標準とする。
- ※ 注入深さは50mm程度を見込んでいる。
- ※ ケレン作業後、ひび割れ幅が0.2mm以上は補修対象とする。

凡 例		
表 示	種 別	総数量
	ひび割れ注入工（幅0.2～1.0mm未満）	6.7 m

ひび割れ注入材：上部工…エポキシ樹脂注入材 3 種

補修数量表（橋台）

ひび割れ注入工 A1橋台

部 材	番 号	幅 (mm)	延長 (m)	備考
拡幅部	白C1	0.5	0.15	
	白C2	0.5	0.45	
	白C3	0.5	0.60	
胸 壁	白C4	0.3	0.30	
	白C5	0.5	1.00	
側面上流	白C6	0.9	0.20	
	白C7	0.5	0.45	
側面下流	白C8	0.5	0.30	
	白C9	0.3	0.80	
	白C10	0.9	0.80	
橋 座	白C11	0.5	0.10	
	白C12	0.3	0.20	
	白C13	0.5	0.45	
合 計			5.8 m	

注）平均ひび割れ幅 0.6mm

08 公 共

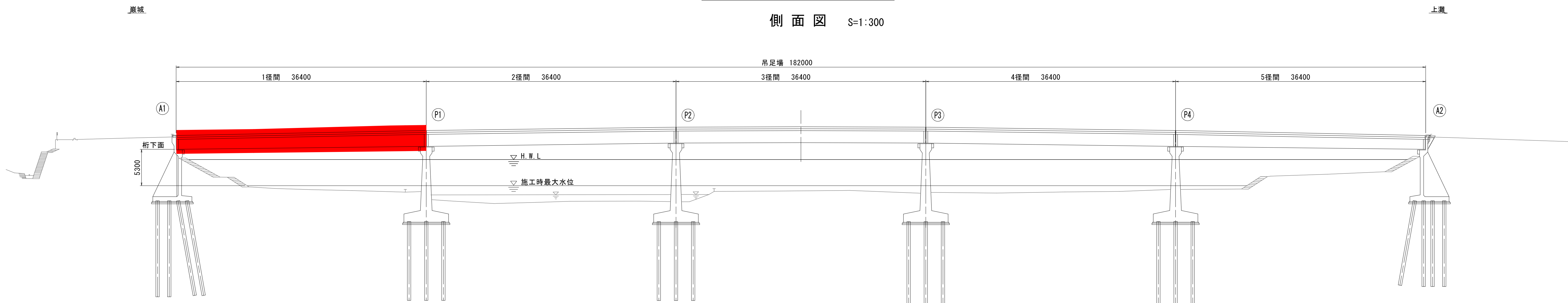
実施設計

巖城橋 車道橋

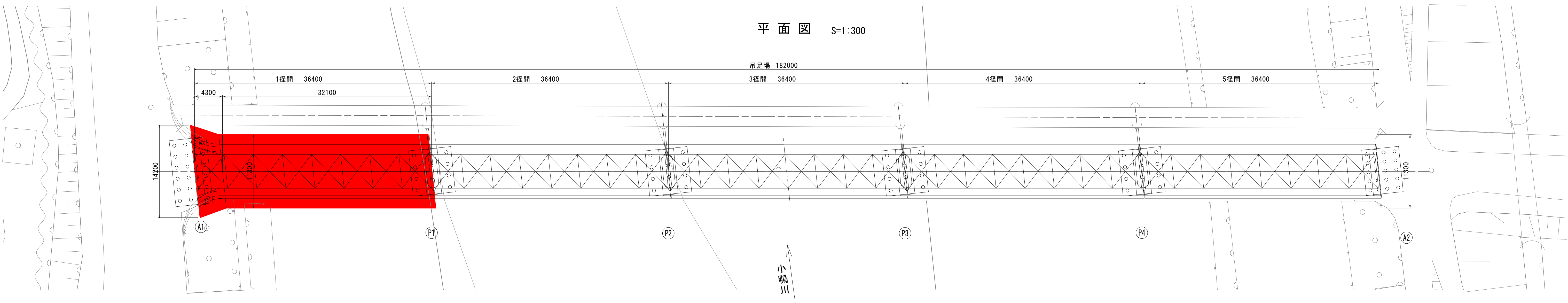
路 線 名	一般県道 巖城上灘線		
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城歩道橋）外橋梁補修工事 （Ⅱ区）（補助）		
図 名	橋台補修図		
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 22	葉中の内	21
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

足場仮設図(参考図)

側面図 S=1:300

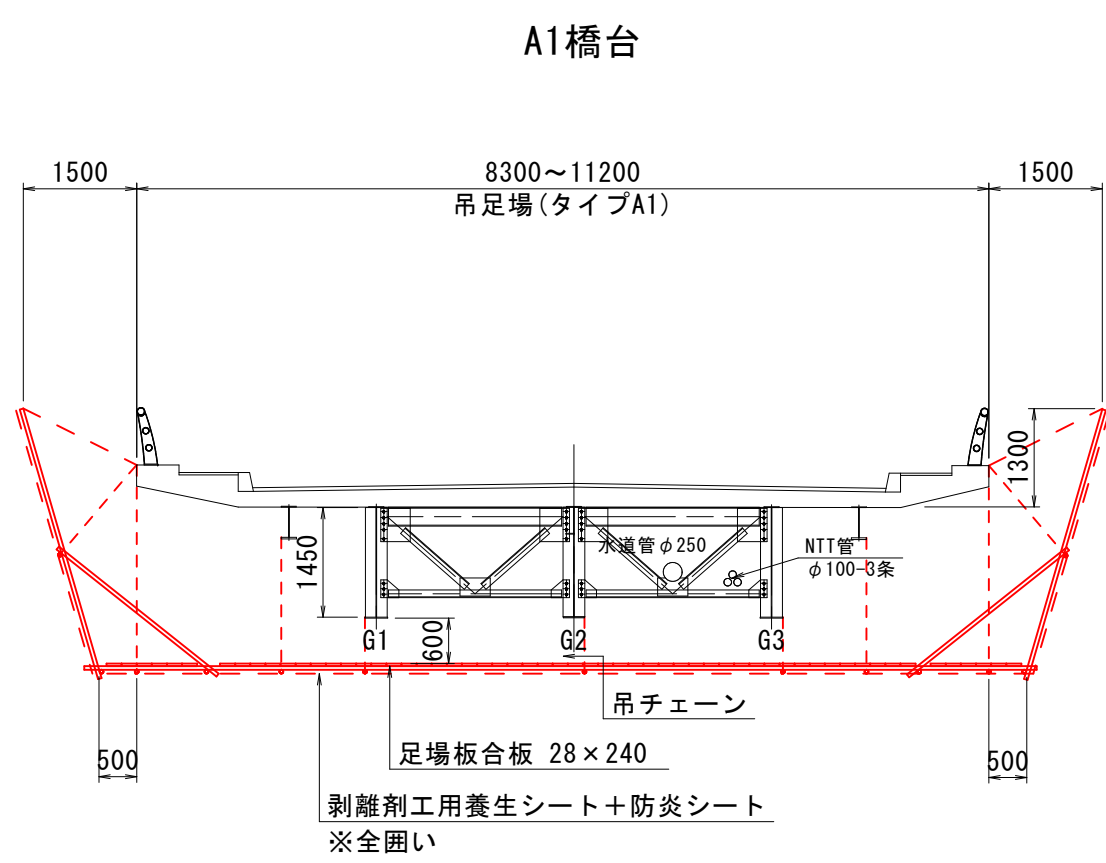


平面図 S=1:300

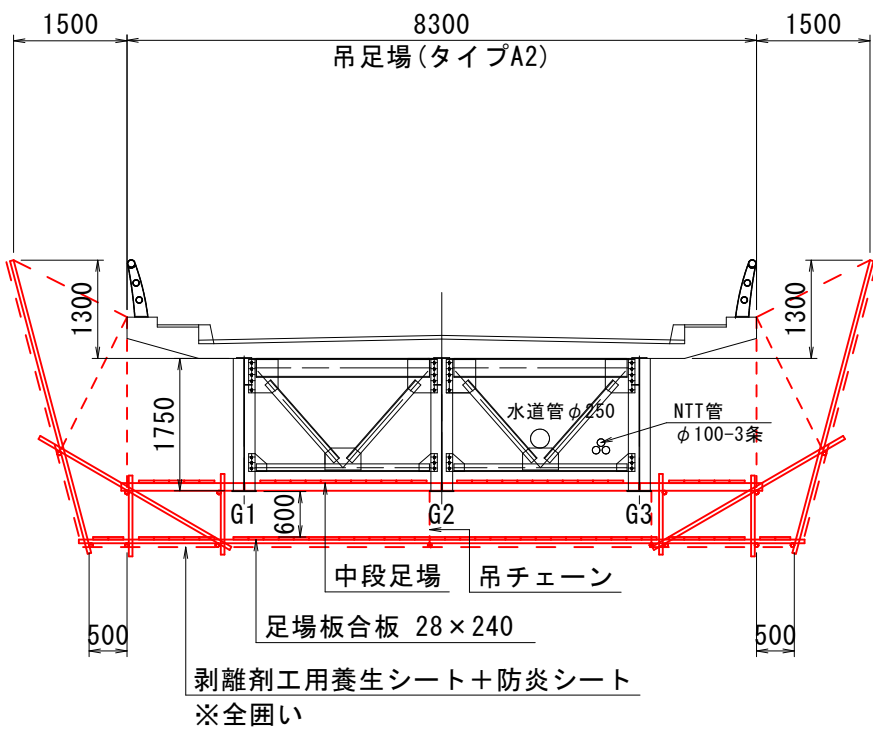


足場工 標準断面図

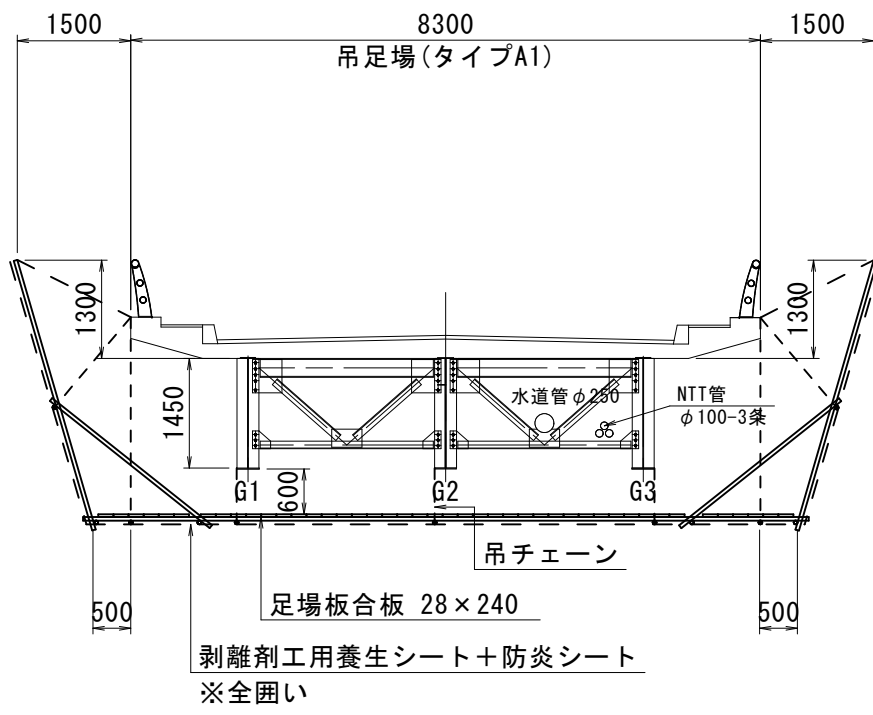
S=1:100



P1～P4橋脚

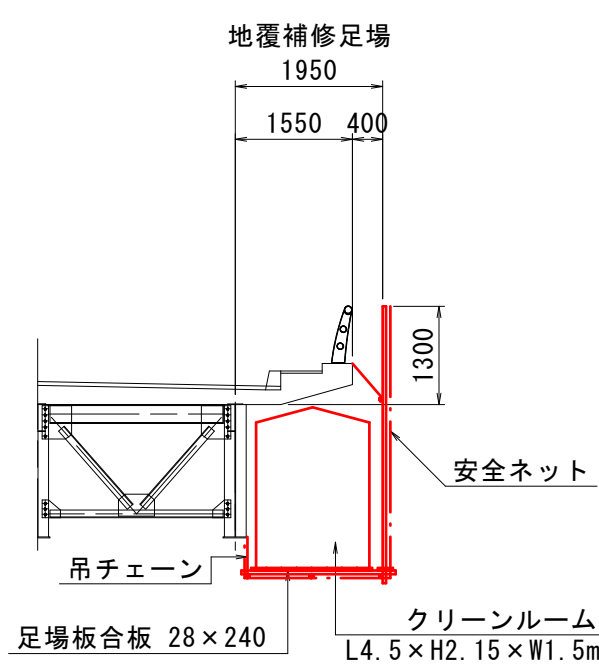


A2橋台



クリーンルーム設置部

S=1:100



※地覆補修足場延長 L=7m程度

凡 例

今回施工箇所（車道橋 1径間）

08 公 実施設計

巖城橋 車道橋				
路 線 名	一般県道 巖城上灘線			
工 事 名	県道巖城上灘線（巖城歩道橋）外構修繕工事 （Ⅱ区）（補助）			
図 名	足場仮設図（参考図）			
位 置	倉吉市巖城～倉吉市見日町			
縮 尺	図示	単 位	MM	
図 号	全 22	葉中の内	22	
令和 8 年度施行	鳥 取 県			
鳥取県中部総合事務所県土整備局				